

通教育科學全書

191

岡村增太郎編纂

日本地理新問答

吉岡發兌

特20
177

普通教育科學叢書

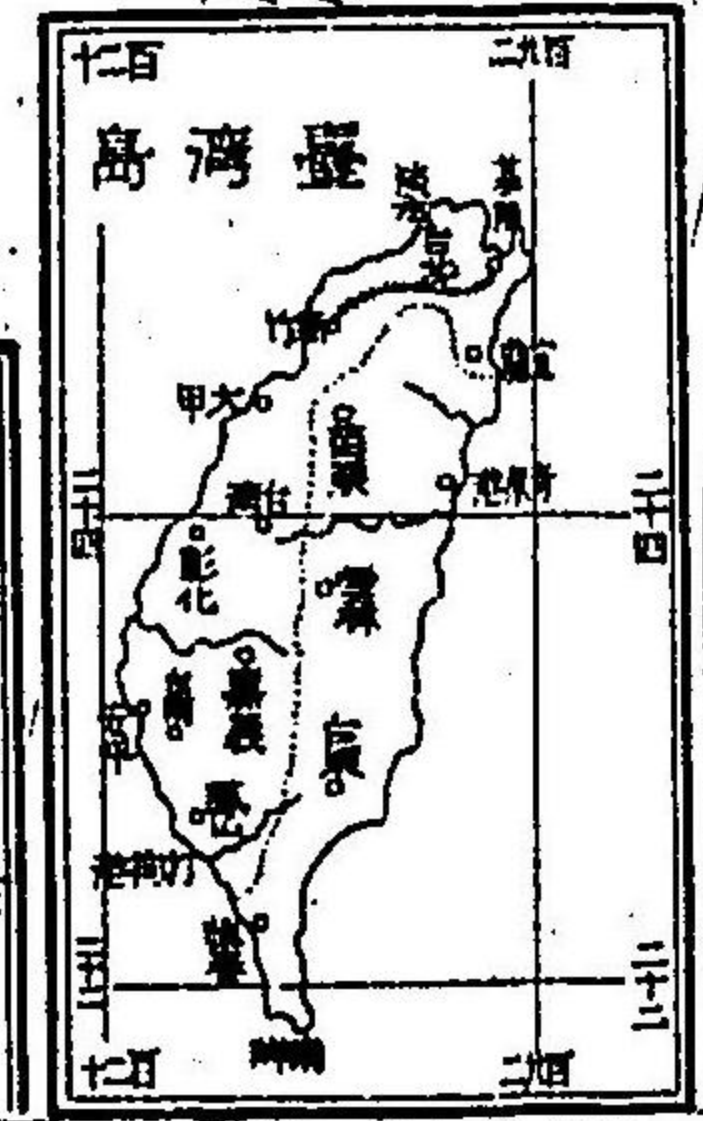
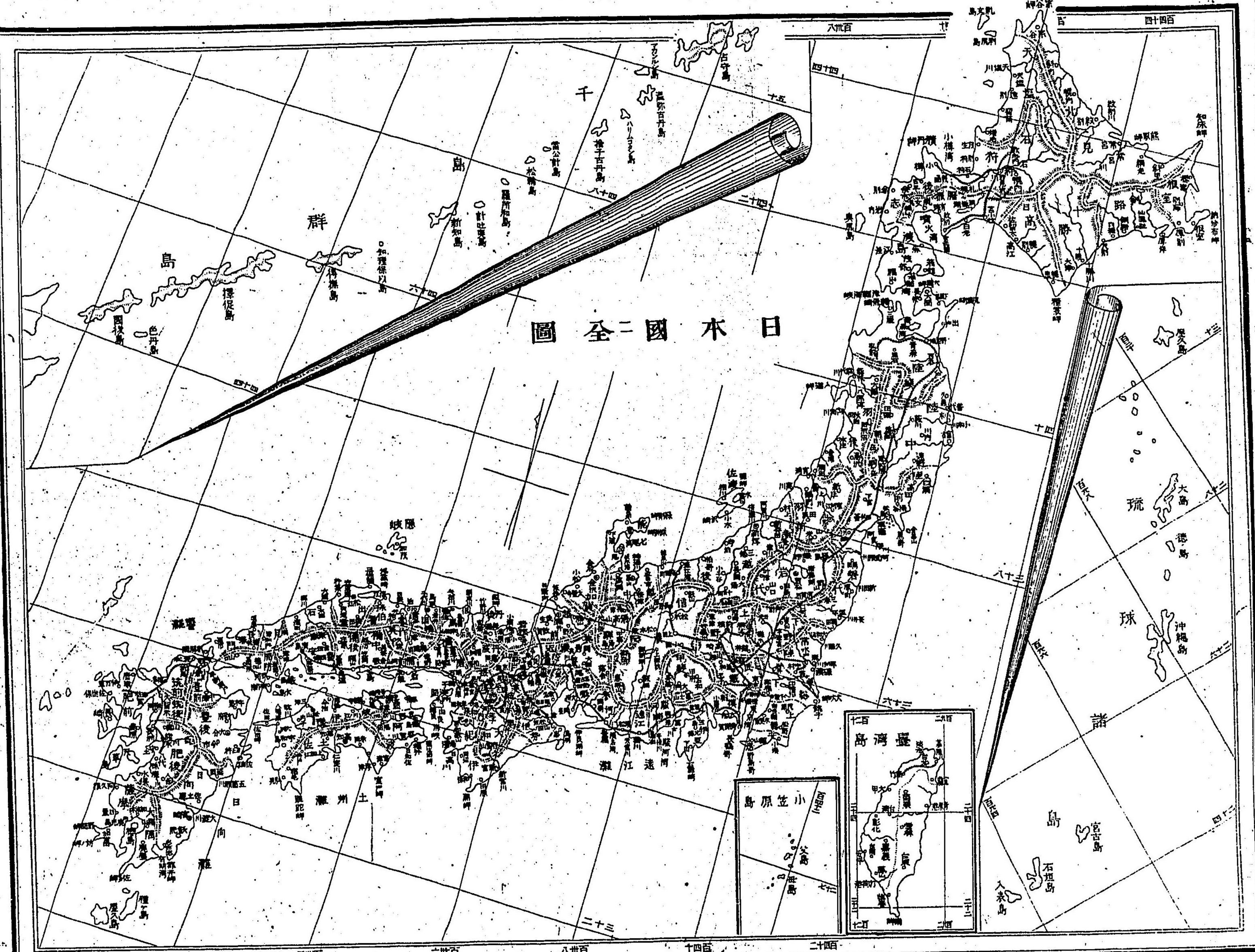
岡村增太郎編纂

日本地理新問答

吉岡發兌



日本國全圖



凡 例

一本書ハ、中等以上ノ教育ヲ受クル學生、又ハ、官公市立各學校ノ、入學試験ニ應ゼントスルモノ、爲ニ、日本地理ノ要ヲ摘ミ萃ヲ拔キ、問ヲ設ケテ解答ヲ附セリ。

一本書中ノ統計ニ關スルモノハ、第十五回日本帝國國勢一斑ト、日本帝國第十四統計年鑑ト、官報トニヨレリ。

一本書中ノ臺灣嶋ハ、陸軍參謀本部編纂ノ臺灣地誌ヲ基礎トシテ、官報、其ノ他四五ノ書ヲ參酌セリ

一設問ハ、本文一百九十五、欄外一百九十四ニシテ、通計三百八十九アリ。覽者、對照熟讀シテ、其ノ要領ヲ會得スベシ。

一本書ノ解答ハ、成ルベク諳記シ易カラシメントテ、間々、七五句調ノモノヲ挿メリ。

日本地理新問答

目次

	欄外 問題數	本文 問題數	ページ
第一編 總說	二七	五九	一
第二編 處誌			
第一章 北州嶋	三	三五	一〇九
第二章 本州嶋	三五	三三	一八
第三章 四國嶋	八	七	一四三
第四章 九州嶋	一〇	六	一五〇
第五章 臺灣嶋	三	三	一〇〇

日本地理新問答

岡村増太郎編

第一編 總說

(一) 我が大日本帝國ノ位置ト經緯度トヲ問フ

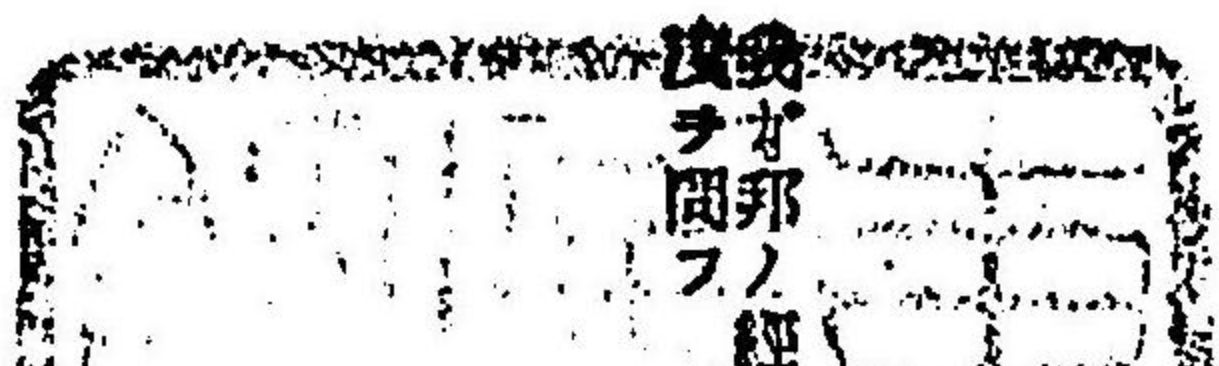
我が大日本帝國ハ、亞細亞洲ノ東方、太平洋ノ西北ニ位シテ、五個ノ大嶋ト數多キ小嶋トヨリ成レリ。極東ハ占守嶋ノ東端ニシテ、東經一百五十六度三十二分、極西ハ、臺灣嶋ノ西端ニシテ、東經一百二十度十五分ナリ。極南ハ臺灣嶋ノ南岬ニシテ、北緯二十一度五十三分、極北ハ、あらいと嶋ノ北端ニシテ、北緯五十一度五十六分ナリ。

(二) 大日本帝國幹部五大嶋ノ位置形狀ト經緯度トヲ詳述セヨ

答 北ニアルモノチ、北州嶋トス、即、蝦夷嶋ニシテ、北海道ノ本地トス、其形、鱈魚ノ尾ヲ振フガ如シ、東經一百卅九度四十六分ヨリ、一百四十五度四十八分ニ至

五大嶋ノ形
狀ヲ述ベヨ

我が大日本帝國ノ
位置ト經緯度トヲ問フ



リ、北緯四十一度廿四分ヨリ四十五度卅一分ニ至ル。本州嶋ハ、其ノ形、蛟龍ノ天ニ翔ルガ如ク、地幅、胴部ノ處、最、廣ク、首尾ニ至ルニ從ヒ、漸、狹シ、東經一百卅度四十四分ヨリ、一百四十二度十四分ニ達シ、北緯廿六度卅二分ヨリ、四十一度卅三分ニ達ス。四國嶋ハ、本州嶋ノ西南ニ横タハリテ、其ノ形、蝙蝠ノ兩翼ヲ張ルニ彷彿タリ、東經一百三十一度五十九分ヨリ、一百三十四度四十九分ニ至リ、北緯三十二度四十二分ヨリ、三十四度三十四分ニ至ル。九州嶋ハ、東經一百二十八度十五分ヨリ、一百三十二度四分ニ至リ、北緯二十六度五十九分ヨリ、三十三度五十八分ニ至ル、本州嶋ノ西ニ在リテ、其ノ形、猿猴ノ立チテ舞ヘルニ似タリ。臺灣嶋ハ、東經一百二十度十五分ヨリ、一百二十二度四分ニ至リ北緯二十一度五十三分ヨリ、廿五度十六分ニ至ル、其ノ形ハ水面ニ浮ヘル海鼠ニ相類ス。

(三) 大日本帝國ノ境域ト廣袤トハ如何

答 我が、大日本帝國ハ、四方、咸、海ヲ環ス、東ハ、渺茫タル太平洋ニシテ、北ハ、千嶋海峡ト、北海ト、宗谷海峡トヲ隔テ、亞細亞露西亞ト境シ、西ハ、日本海ト、朝鮮海峡ト、黃海ト、臺灣海峡トヲ挾ミテ、さいへりや、朝鮮、及、支

我が邦ノ長
幅トナ
トナ

那ニ隣リ、南ハ、海峡ヲ隔テ、すべいん領ノ、ひりつびん諸嶋ニ對セリ。我が國ハ、數多ノ嶋嶼ヨリ成ルモノニシテ、其ノ數ハ、四千有餘アリ、ユレチ大別スレバ、五大嶋、五中嶋、二列嶋、一群嶋トナスベシ。北州嶋、本州嶋、四國嶋、九州嶋、臺灣嶋ヲ、五大嶋トシ、淡路、佐渡、隱岐、壹岐、對馬ヲ、五中嶋トス。二列嶋トハ、千嶋ト琉球トナヒ、一群嶋トハ、小笠原嶋ヲ云フナリ。其ノ長サハ、一千數百里ニシテ、幅ハ、狹クシテ、六十里外ニ出ヅル處ナシ。

(四) 大日本帝國ノ現今ノ面積ト明治二十七年十二月ニ於ケル面積トヲ問フ

答 臺灣嶋ヲ、日本ノ新領土トセバ、其ノ總面積ハ、凡、二萬七千二百九十四方里ニシテ、明治二十七年中ニ於ケル面積ハ、大約二萬四千七百九十四方里三六ナリ。

(五) 太平洋岸ニ屬スル灣港灘ヲ列記セヨ

答 根室灣、厚岸港、膽振灣、函館灣、陸奥灣、野邊地灣、青森灣、宮古港、釜石港、牡鹿灣、松嶋灣、東京灣、横須賀港、横濱港、浦賀港、相模灣、下田港、遠州灘、駿河灣、清水港、島羽港、伊勢灣、渥美灣、知多灣、熊野灘、大阪灣、

太平洋岸ニ
屬スル著名
ナル港ヲ舉
ゲル

西海ニ屬スル灣名一ニナ問フ

土佐灣、白杵港、津久見港、細島港、内浦灣等ユレナリ。

(六) 西海ニ屬スル灣港灘ノ名稱ヲ問フ

答 鹿兒嶋灣、七嶋灘、大浦港、八代灣、天草灣、千々岩灣、嶋原灣、有明灣、長崎港、大村灣、伊萬里港、基隆港等トス。

(七) 南海ニ屬スル灣ハ何嶋ニテ何ト呼ブカ

答 臺灣嶋ニアリテ、南海ト呼ブ。

(八) 臺灣海峡ニ屬スル著名シキ港ヲ問フ

答 打狗港、安平港、鹿港、淡水港。

(九) 日本海岸ニ屬スル著名ノ港灣灘ハ如何

答 玄海灘、唐津灣、福岡灣、響灘、美保灣、若狹灣、舞鶴港、小濱港、敦賀港、七尾灣、富山灣、小樽灣等ナリ。

(一〇) 瀬戸内海ノ所在トユレニ屬スル著名ナル灘港灣ノ名稱トナ

問フ
答 本州ト、四國ト、九州トノ三大嶋ノ間ニ夾リ、赤間關海峡ニユリテ、日本海

瀬戸内海ノ所在ヲ野述セ

本州嶋ニ屬スル海峡ヲ問フ

ニ通シ、豊後ト、紀伊ト、兩海峡ニユリテ、太平洋ニ出ヅ、ユノ内海ヲ指シテ、瀬戸内海ト稱ス。ユレニ屬スルモノハ、播磨灘、兒嶋灣、水嶋灘、吳港、燧灘、硫黃灘、別府灣、周防灘等、ユレナリ。

(二) 我が國ノ重ナル海峡ヲ列舉セヨ

答 宗谷海峡、千嶋海峡、はつすうる海峡、櫻提海峡、丹根明海峡、根室海峡、津輕海峡、鳴門海峡、由良海峡、明石海峡、佐田海峡、赤間關海峡、大隅海峡、平戸海峡、壹岐海峡、對馬海峡、朝鮮海峡、臺灣海峡、澎湖海峡、ユレナリ。

(三) 千嶋列嶋ノ諸嶋ヲ北ヨリ順次ニ記セ

答 あらいと嶋、占守嶋、波羅茂知嶋、温彌古丹嶋、捨子古丹嶋、新知嶋、得撫嶋、擇捉嶋、色丹嶋、國後嶋、ユレナリ。

(三) 北州嶋所屬ノ嶋嶼如何

答 小嶋、大嶋、奥尻嶋、燒尻嶋、天賣嶋、利尻嶋、禮文嶋等トス。

(四) 本州嶋所屬ノ嶋嶼ヲ問フ

答 神子元嶋、大嶋、利嶋、新嶋、式根嶋、神津嶋、三宅嶋、御倉嶋、八丈嶋、

北太平洋諸嶋ヲ野述セ

青ヶ嶋、(豆南諸嶋)父嶋、兄嶋、弟嶋、母嶋、向嶋、平嶋、姉嶋、妹嶋、姪嶋、聳嶋、(小笠原群嶋)硫黃嶋、北硫黃嶋、南硫黃嶋、(硫黃諸嶋)答志嶋、菅嶋、渡鹿野嶋、(志摩諸嶋)大嶋、(紀伊)チ太平洋諸嶋トシ、淡路嶋、家嶋、西ノ嶋、向嶋、因ノ嶋、生口嶋、大崎上嶋、大崎下嶋、上蒲刈嶋、下蒲刈嶋、倉橋嶋、江田嶋、能美嶋、巖嶋、大嶋、平群嶋、屋嶋、上ノ關嶋チ、瀬戸内海諸嶋トシ、引嶋、青海嶋、見嶋、隱岐諸嶋、能登嶋、佐渡嶋、粟生嶋チ、日本海諸嶋トス。

(五) 四國嶋ニ屬スル著名ノ嶋嶼ヲ問フ
答 大毛嶋、小豆嶋、豊嶋、直嶋、鹽飽諸嶋、弓削嶋、大嶋、伯方嶋、大三嶋、忽那嶋、興居嶋、日振嶋、ユレナリ。

(六) 九州嶋ニ屬スル諸嶋嶼ヲ問フ
答 櫻嶋、種ヶ嶋、屋久嶋、河邊諸嶋、上甌嶋、中甌嶋、下甌嶋、(甌列嶋)大矢野嶋、上嶋、下嶋、長嶋、(天草諸嶋)宇久嶋、中通り嶋、奈留嶋、久賀嶋、福江嶋、(五嶋列嶋)彼杵諸嶋、平戸嶋、壹岐嶋、對馬嶋ナリ。西南諸嶋ニハ、とから群嶋、大嶋、喜界嶋、徳ノ嶋、(奄美群嶋)沖繩嶋、久米嶋、(沖繩群嶋)宮古列嶋、八

奄美群嶋ト如何

北州嶋ニ屬スル半嶋チ

重山列嶋、(先嶋列嶋)アリ。

(七) 臺灣嶋所屬ノ嶋嶼ヲ示セ

答 火燒嶋、江頭嶋、小琉球嶋、澎湖嶋、漁翁嶋、白沙嶋、(澎湖諸嶋)ユレナリ。

(八) 五大嶋ニ屬スル重ナル半嶋ヲ列擧セヨ

答 北州嶋ニテハ、知床半嶋、花咲半嶋、渡嶋半嶋。本州嶋ニテハ、斗南半嶋、房總半嶋、伊豆半嶋、渥美半嶋、知多半嶋、志摩半嶋、見嶋半嶋、能登半嶋、男鹿半嶋、津輕半嶋。四國嶋ニテハ、道後半嶋。九州嶋ニテハ、國東半嶋、大隅半嶋、南薩半嶋、嶋原半嶋、彼杵半嶋。臺灣嶋ニテハ、恒春半嶋ナリトス。

(九) 我が國ニ著シキ地峽アルカ

答 我が國ニハ、記スベキ程ノ地峽ナシ。唯、九州嶋ニ、彼杵半嶋ノ諫早地峽アルノミ。

(十) 我が國ニテ主要ナル地角ヲ明示セヨ

答 宗谷、知床、納沙布、襟裳、惠山、鹽首、矢越、白神、辨慶、神威、積丹、高嶋ノ十二脚ハ、北州嶋ニ屬シ、大間、尻矢、犬吠、野嶋、觀音、御前、湖ノ、球

四國嶋所屬ノ地角ハ如何

洲、入道、龍飛ノ十崎ハ、本州嶋ニ屬シ、蒲生田、室戸、陸院、(足摺)佐田、觀音ノ五崎ハ、四國嶋ニ屬シ、鶴望、都井、佐多、開聞、野母、速瀬ノ六崎ハ、九州嶋ニ屬シ、富基、三貂ノ二角ト、北斗、南西、南、香山ノ四岬トハ、臺灣嶋ニ屬セリ。

(三) 我が國ノ海岸線ノ長短及各嶋ノ海岸線ノ長短ヲ詳述セヨ

答 我が國ハ、狹長ノ嶋國ナレバ、陸地ト海水ト相接スル境界ハ、複雑ニシテ、屈折ノ一定セザル曲線ヲ成セリ。故ニ、岬角ノ突出、海水ノ灣入少カラズ。其ノ延長ハ大小ノ嶋嶼ヲ合算シ、凡、一萬五千餘里ニ及ベリ。

我が國ノ各大嶋ニ就キテ、ユレヲ詳察スルニ、太平洋沿岸ト、瀬戸内海沿岸トハ屈曲出入殊ニ多キヲ以テ、著名ノ港灣ヲ有スルコト、擧ゲテ數フルニ違アラズ。ユレニ反シテ、日本海ノ沿岸ハ、屈折少ナク、隨ヒテ港灣多カラズ。又、九州嶋ニ至リテハ、水陸ノ錯雜甚シク、故ニ、良港ヲ以テ、稱セラル、處少カラズ。北州嶋ト臺灣嶋トハ、其ノ海岸線、大ニ簡一ニシテ、彎曲、屈折至リテ乏シ。

(三) 潮流ノ氣候ニ關係アル概畧ヲ記セ

答 日本潮流、又、一ニ黒潮ト稱スルモノハ、赤道流ト名クル暖流ノ餘派ニシテ我が國ノ西南ナル、ひりつびん群嶋ノ邊ヨリ、臺灣嶋ノ東岸ニ沿ヒ、來リテ九州嶋ノ西南ニ達スルヤ、分レテ三派トナル、其ノ本流ハ東ニ向ヒテ進行シ、九州嶋ノ東南岸、及、四國嶋、并ニ、本州嶋中部ノ南岸ヲ洗ヒ、豆南諸嶋ノ間ニ於テ、黒瀬川チナシ、方向チ東北ニ轉シテ、漸、海岸ヲ遠ザカリ、太平洋ニ赴ク、而シテ、他ノ一派ハ、北ニ向ヒ、九州嶋ノ西岸ヲ洗ヒ、對馬ヲ過ギ、岐レテ二派トナル、一ハ、津輕海峽ヲ過ギ、一ハ、北海ノ西岸ヨリ、宗谷海峽ヲ過ギテ、おこつく海ニ入ル。

我が國、東北ノ近海ニ、寒冷ナル潮流ニアリ。其ノ一ハ、千嶋海流、又ハ、親潮ト云フ。千嶋列嶋、北州嶋ノ東岸ヲ洗ヒ、南ニ進ミ、金華山近傍ニ於テ、其ノ跡ヲ失フ。其ノ二ハ、おこつく海ノ北部ヨリ、發スルモノニシテ、樺太海流ト云フ。其ノ樺太嶋ニ達スルヤ、岐レテ二派トナル、一派ハ、樺太嶋ノ東岸ニ沿ヒテ流レ西派ハ、樺太海峽ヲ經テ、日本海ニ入ル。暖流ノ經過スル、土地ノ氣候ハ暖ニシテ、寒流ノ通過スル沿岸ノ氣候ハ寒シ。ユ

本州嶋ト北
州嶋トノ海
岸線ヲ比較
詳述セヨ

日本五大嶋
ノ輪廓ヲ描
キ黒潮ト親
潮トノ方向
ヲ示セ

樺太山系ト
支那山系ト
ノ結合ハ日
本ノ何レノ
地ノ

ノ、風雨ト、モニ我が國ノ氣候ニ、大ニ關係アルモノトス。

十

(三) 我が國ノ山系ヲ詳記セヨ

答 我が國ノ大ナル山系ハ、二條アリ。其ノ一ハ、東北樺太嶺ヨリ起リ、北州嶺ヲ縱斷シテ、本州嶺ニ入り、遂ニ信濃地方ニ至リテ、止ム處ノ樺太山系ト云フモノコレナリ。其ノ二ハ、亞細亞大陸ノ、支那山脈ノ餘派ニシテ、西南、臺灣嶺、及琉球諸嶺ヨリ進ミテ、九州嶺ニ入り、更ニ、二派ニ分ル。一ハ、四國ヲ、一ハ、中國ヲ、共ニ南北ニ橫斷シテ、亦、同シク信濃ト、飛驒トノ境上ニ至リ、樺太山系ト、相合スルモノナリ。コレヲ、支那山系ト稱ス。ユノ二大山系ノ相衝突スル處ハ、頗、複雑トナリテ、高山峻岳隆起シ、我が國ノ最高地トナル、ユレ、群山ノ信濃、飛驒ノ境上ニ、集衆セル所以ナリ。又、此ノ山系ノ相結合スル地方ニ、富士裂帶ト名クル、一山系アリテ、樺太、支那ノ二大山系ヲ橫斷セリ。ユノ、富士裂帶ト稱フル火山脈ハ、伊豆半島ヲ經テ、大平洋中ニ入り、豆南諸嶺小笠原群嶺、硫黃列嶺ヲ噴起シテ、遠ク南洋ノまゝりあな群嶺ニ達セリ。コレヲ、富士裂帶火山脈ト云フ。又、此ノ外ニ、二大火山脈アリ。一ハ、支那山系ノ西端ニ

連リ、彎形ヲナセルモノニシテ、南ノ方、臺灣嶺ヨリ來リテ、琉球列嶺、とから列嶺、奄美列嶺ヲ噴起シ、開聞岳、櫻嶺ヲ經テ、霧嶋山ニ至リ、稍、西北ニ折レ肥前ノ温泉岳ヲ經テ、多良岳ニ終ルモノナリ。コレヲ、霧嶋裂帶火山ト呼ブ。他ノ一ハ、樺太山系ノ北端ヲ、横過スルモノニシテ、露西亞ノかむさつかヨリ起リテ西南ノ方ニ進ミ、千嶋列嶺ヲ噴起シ、北州嶺ニ入りテ、東端、知床岬ヨリ、良牛岳、斜里岳、雌阿寒岳、雄阿寒岳等ヲ經テ、同嶺ノ内地ニ聳立スル、高峻ナル石狩、夕張、十勝等ノ諸山ニ連ルモノナリ。コレヲ、千嶋裂帶火山脈ト稱ス。此ノ三大火山脈ノ間ニハ、更ニ、數條ノ火山脈アリテ、各、兩山系ト並進シ、或處々ニ連結セリ。然レドモ、コレヲ別々バ、尙、他ニ七條ノ火山脈アルモノトス。故ニ、我が國ハ、火山、甚、多キ地方ト稱セリ。而シテ、彼ノ富士山、御嶽ノ如キ高山峻岳、及、其ノ他ノ奇峯ハ、多クハ上古ニ噴烟シテ、生シタル火山ナルヲ以テ、一種ノ形ヲ存シ、特ニ高峻ナル有様ヲナセル所以ナリ。他ハ、皆、樺太、支那ノ兩山系ヨリ、分岐セル支脈ニ外ナラザルナリ。

(四) 我が國五大嶺ニ於ケル活火山ト休火山トノ數ヲ示シ且其ノ主

十一

我が邦ニ存
在セル活火
山ノ數ヲ問
フ

ナル山名ヲ記セ

答 北州嶋、及、屬嶋ニハ、活火山八座ト、休火山三十八座トニシテ、頁牛岳、硫
黃岳、阿雌寒岳、樽前岳、(活火山)駒岳ヲ、主ナルモノトス。本州嶋、及、屬嶋ニ
テ、主ナルモノハ、恐山、岩木山、西香妻山、磐梯山、那須岳、(活火山)淺間山、
(活火山)三原山、(活火山)富士山、燒山ニシテ、活火山二十座ト、休火山七十七座
トアリ。四國嶋ニハ、僅ニ、休火山、三座アルノミ。九州嶋、及、屬嶋ニハ、活
火山九座ト、休火山十七座トアリテ。重ナル山ハ、由布岳、温泉岳、阿蘇山、(活
火山)霧嶋山、(活火山)櫻嶋等トス。臺灣嶋中、臺北縣管内ニ於ケル數條ノ山脈
ハ、大約、火山質ヲ帶ブ。其ノ最、著名ナルモノヲ、紗帽山ト云フ。硫黃瀝烟ヲ
噴出ス。

(三) 我が國五大嶋ニ於ケル温泉ノ種類ト著名ナル温泉トヲ列舉セ

答 我が國ハ、火山脈ノ通過セザル地ナシ、故ニ、至ル所トシテ、鐵泉ノ湧出ス
ルヲ見ル、而シテ鐵泉ハ、其ノ含ム所ノ主要ナル物質ノ如何ニヨリテ、炭酸泉、硫

本州嶋ニ於
ケル著名ノ
温泉ヲ問フ

黃泉、鐵泉、鹽類泉、食鹽泉等ノ五種ニ別ツベシ。本邦ニ於テ、最、多キヲ占ム
ルハ、硫黃泉ニシテ、ユレニ次グモノヲ、鹽類泉トス。其ノ著名ナルモノヲ、舉
グレバ、

北州嶋、惠山湯、久遠湯、登別湯、下湯川、湯有内、丈山谷。

本州嶋、草津、熱海、箱根、有馬、修善寺、和倉、鹽原、伊香保。

四國嶋、凡、九ヶ所アリテ、道後、最、名アリ。

九州嶋、武藏、別府、濱脇、柄崎、嬉野、古湯、小濱、山鹿、硫黃谷、湯ノ浦。

臺灣嶋、北部大半ハ、火山質ニ屬スルヲ以テ、北部ノ山中ニハ、各所ニ温泉多シ。

(三) 我が國ノ水系ヲ詳記シ河流中ノ主要ナルモノヲ示セ

答 我が國ハ、四周、海洋ヲ以テ、圍マレタル嶋國ニシテ、内地ト雖、僅ニ、五
六十里ノ距離ニ過ギズ、故ニ、巨川、長流、絶エテユレアラズ、而シテ、其ノ中
央ノ脊骨タル山脈間ヨリ發源シテ、北見海、大平洋、西海、日本海、内海ニ注ギ
入ル。其ノ五大嶋ニ於ケル、主要ノ河流ヲ示サンニ。

北州嶋、釧路川、十勝川、石狩川、天鹽川。

北州嶋第一
ノ長流ヲ問
フ

本州嶋、北上川、阿武隈川、利根川、荒川、富士川、大井川、天龍川、木曾川、淀川、旭川、太田川、石見川、射水川、神通川、信濃川、阿賀ノ川、最上川、四國嶋、吉野川。

九州嶋、筑後川、球摩川、川内川。

臺灣嶋、淡水河、下淡水溪、虎尾溪。

(三) 我が國ニ於ケル重ナル沼湖ヲ列擧セヨ

答 我が國ノ沼湖ニ四類アリ、平湖、谷湖、陷湖、山湖、ユレナリ。平湖トハ、大抵、海濱ニアルモノニシテ、海水ノ遺物ナリ。谷湖トハ、山谷ノ凹處ニ、水ノ滯留シタルモノナリ。陷湖トハ、地面ノ陷没セシ所ニ、水ノ滙積セシモノナリ。山湖トハ、火山ノ噴火口ニ、水ノ湛ヘタルモノナリ。

北州嶋、猿間湖、網走湖、楓蘆湖、屈茶路湖、洞爺湖、支笏沼。

本州嶋、小河原沼、十和田湖、北浦、霞ヶ浦、印旛沼、中禪寺湖、琵琶湖、安曇湖、中海湖、猪苗代湖、八郎瀨。

四國嶋、仁池。

人口ニ於テ
スル沼湖ニ
三ナリ

九州嶋、池田湖、鴨生田池。
臺灣嶋、水社湖、古家湖。

(三) 我が邦ノ地勢ヲ詳述セヨ

答 土地ノ高低ハ、氣候ノ適否、地味ノ肥瘠、灌溉ノ良否、交通ノ便否等ニ、大ナル關係ヲ有スルヲ以テ、人生ノ發達、百業ノ上進ニ、影響ヲ及ボスコト少カラズ。我が國ハ、到ル處、山岳重疊シ、峯巒起伏セルヲ以テ、平坦ナル土地ハ、極メテ僅少ナルコト、殆、全積ノ九分ノ一ニ當レリ。而シテ、其ノ平地タル、多クハ、山脈間ノ狹少ナル溪谷、或、山脈ノ海濱ニ向ヒテ、漸々、傾斜セル坂面等ニシテ、彼ノ大陸内地ニ於ケルガ如キ、曠野千里ノ觀ヲナセルモノ、絶エテユレアルコトナシ。其ノ稍、潤大ナルモノハ、皆、我が國ニテ、大河ト稱スル川流ノユレヲ貫ケルモノニシテ、謂ハユル河領地ニ在リトス。例ヘバ、石狩平原ノ石狩川。關東平原ノ利根川、荒川。尾濃平原ノ木曾川。越後平原ノ信濃川。陸奥平原ノ北上阿武隈ノ兩川。九州平原ノ筑後川。四國平原ノ吉野川。畿内平原ノ淀川、大和川ニ於ケル等ノ如シ。ユレ等ハ、概、十數里ヨリ、五六十里ノ幅員ヲ有スレドモ、其

我が邦ノ地
勢ヲ概説シ
テ重ナル平
野ヲ示セ

ノ間ニハ、又、丘陵、處々ニ起伏シテ、眞ノ原野ヲナス部分ハ、全ク、狭少ノ地ニ屬セリ。五大嶼ニ於ケル、著名ノ平野ヲ舉ゲレバ。

北州嶼、石狩平野、東南平野、十勝平野、釧路平野、根室平野。

本州嶼、北上平野、宮城野平野、阿武隈平野、最上平野、會津平野、越後平野、

關東平野、尾濃平野、畿内平野、津輕平野、秋田平野、東海地方沿岸平野、播磨平野、出雲平野。

四國嶼、讃岐平野、吉野平野。

九州嶼、曠漠タル平野ナク、諸川ノ沿岸平野ノミ。

臺灣嶼、平野少ナシ

(完) 我が國ノ氣候ヲ問フ

我が國ハ寒暑ノ理
其ノ由ヲ問フ

答 氣候ニ、大ナル關係ヲ及ボスモノハ、陰、晴、雨、雪、風向等ニシテ、其ノ原因ノ主ナルモノハ、緯度ノ高低、土地ノ高低、土地ノ狀態、海陸ノ關係、海流等ナリ。我が國ハ、北温帶ニ位スルヲ以テ、寒熱トモニ甚シカラズシテ、温暖中和ト稱スベシ。然レドモ、四周、繞ラスニ海洋ヲ以テシ、内地ハ、中央ヲ、貫通

セル大山脈ヲ有シ、狹長ナル土地ナルヲ以テ、地方ニヨリテハ、炎熱ヲ感ズルアリ、嚴寒ヲ覺ユルアリ。殊ニ、西北ニハ、廣大無邊ナル、亞細亞大陸ヲ受クルニヨリ、此ノ邦土ノ氣候ハ、大ニ、此ノ大陸ノ氣象ニ感化セラレ、爲ニ、同緯度ノ他ノ邦國ニ比スレバ、概シテ寒冷ナリトス。ユレ、寒期長ク、暑期ノ短キ所以ナリ。五大嶼ノ温度、

北州嶼、

地名	年平均	最高極度	最低極度
函館	九、〇	三〇、五	零下九、九
青都	八、八	三三、七	全 一二、四
札幌	七、三	三三、四	全 一二、三
上川	五、五	三一、二	全 三四、二
宗谷	六、三	二八、三	全 一六、七
網走	六、五	三〇、五	全 二〇、一
根室	六、二	二八、九	全 一四、五

北州嶼ニ於
最高温度
最低温度
を示セ

本州平均温度ニ於ケル示セ

銅路	五、三	三二、八	全	二五、八
襟裳	七、七	二五、一	全	一五、九
十勝	六、一	三六、〇	全	二九、二
本州嶋、				
和歌山	一五、九	三六、二	全	二、八
廣嶋	一五、四	三四、〇	全	四、九
大阪	一五、六	三六、四	全	四、〇
京都	一四、二	三六、四	全	一一、六
彦根	一四、四	三四、八	全	五、一
名古屋	一五、三	三六、四	全	五、五
岐阜	一五、三	三七、二	全	六、七
横須賀	一五、三	三六、五	全	三、二
東京	一四、八	三五、一	全	五、三
宇都宮	一二、八	三四、九	全	一一、三

金澤	一三、九	三四、四	全	六、二
長野	一一、四	三四、六	全	一五、三
新潟	一三、六	三五、一	全	六、八
山形	一一、五	三四、七	全	一三、六
秋田	一一、一	三二、〇	全	一七、二
福島	一二、四	三六、〇	全	一〇、七
青森	一〇、一	三三、一	全	一五、一
四國嶋、				
高知	一六、四	三五、九	全	四、七
徳嶋	一六、一	三五、一	全	二、四
松山	一五、五	三五、八	全	五、七
多度津	一六、三	三五、六	全	四、五
九州嶋、				
鹿兒嶋	一七、五	三五、二	全	三、八

北州最高
高州最高
灣州最高
溫州最高
差度如下
異如
何

九 最 高	月八		月七		月六		月五		月四		月三	
	最 低	最 高	最 低	最 高	最 低	最 高	最 低	最 高	最 低	最 高	最 低	最 高
二四	二三	三六	二一	三七	一九	三五	一五	三〇	九	三〇	九	一五
三五	二三	三八	一八	三八	一七	三四	一六	三三	一二	三一	九	二八
三四	一九	三七	一六	三五	一九	三三	一六	三二	一四	三〇	六	二六
三三	二三	三五	二二	三四	二六	三四	二二	三一	九	三一	七	二七
三四	二三	三四	二四	三六	一九	三三	一六	三一	九	二九	九	二四
三二	二四	三八	二二	三六	二〇	三四	一五	三一	一一	三〇	八	二四

三十一

臺灣
島

月二 最 低	月一		年 別	宮 崎	大 分	熊 本	佐 賀	長 崎	佐 世 保	福 岡
	最 低	最 高								
七	二四	九	明治二十年	一七、三	一六、二	一六、五	一六、二	一六、九	一六、七	一五、五
四	二三	五	全二十一年	三七、七	三六、〇	三六、九	三六、三	三六、七	三六、〇	三五、四
九	二三	一〇	全二十二年	全	全	全	全	全	全	全
九	二五	六	全二十三年	全	全	全	全	全	全	全
六	二七	六	全二十四年	六、一	三、五	六、五	四、〇	二、九	一、七	四、六
七	二四	七	平均							

三十一

北州ノ雨
北州ノ雪
北州ノ霜
北州ノ氷
北州ノ霧
北州ノ雹
北州ノ霰
北州ノ雪
北州ノ霜
北州ノ氷
北州ノ霧
北州ノ雹
北州ノ霰

三月	二月	一月	月二十 最低	月二十 最高	月一十 最低	月一十 最高	月十 最低	月十 最高	月 最低
一三四、〇	三六、三	三八、三	六	二四	一三	二七	一五	二八	二三
			一四	三三	一四	二七	一五	三二	二一
			八	二四	一三	二七	一七	三五	三六
			一〇	二七	一二	一八	一二	三二	一九
			一一	二七	一三	三一	一八	三三	二〇
			一〇	二四	一三	二八	一五	三二	二四

二十二

五大嶗ノ雨雪、
北州嶗、
函館

根室

四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月
八九、一	七二、五	一〇二、七	一九〇、六	一五七、一	二二六、九	一五五、二	一〇三、〇	五二、九
三四、九	一〇六、六	六〇、八	三七、四	三〇三、四	一〇五、八	三六、六	一一九、三	五七、九

本州嶗、	京都	東京	金澤	新潟
一月	三七、四	四二、五	二二七、五	一五二、四
二月	七〇、一	三三、一	一五二、八	九九、三
三月	一二六、五	一二二、四	一六七、一	九八、五

二十三

此知ニ於ク
平均年
平均年
平均年
平均年

四國橋、

四月	二二三、三	一七八、三	一三六、七	七九、〇
五月	四三、七	八四、三	一四五、一	九四、五
六月	一三三、一	五七、五	一三三、二	一五〇、三
七月	二二二、二	六一、六	一四六、六	五八、〇
八月	六五、八	一九九、五	一八七、〇	一五五、四
九月	一〇四、二	一四四、九	一五一、四	一二二、二
十月	八八、八	一九二、七	一〇〇、六	一〇八、九
十一月	七〇、八	九八、四	一五〇、一	一二九、九
十二月	五七、七	一一七、六	二六三、九	一七一、六
一月	二六、一			
二月	四七、三			
三月	一八五、八			

二十四

平均年
平均年
平均年
平均年

九州橋、

四月	二八四、一		
五月	一九六、三		
六月	一九二、〇		
七月	一二三、四		
八月	七、六		
九月	二五九、〇		
十月	九七、三		
十一月	一四〇、四		
十二月	五一、六		
一月	三〇、一	宮崎	長崎
二月	二〇、四		
三月	一五八、六		

二十五

五大島ニ於
ケル一月ノ
雨發チ間フ

臺灣嶋、	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	
	六	六、七	一二、七	三、二	一九四、〇	一四二、九	九三、四	一二九、一	六〇、八	二九九、六	一八七、八	一五〇、四	二六〇、六
					一六六、〇	七〇、二	四三、七	一一〇、四	二五、七	一五二、八	二六、二	九三、四	一一九、八

五大嶋ノ最多風向、	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月
	一三、八	一一、二	五、三	七、五	一七、三	一、三	四、六	二、四

北州嶋、

函館、	春都、	札幌、	上川、	宗谷、	網走、	根室、	釧路、
西	南	南東	西	南西	南	南	北
襟裳、	十勝、						
西	北西						

本州嶋

和歌山、山口、廣嶋、岡山、大阪、京都、横須賀、東京、

東 北東 北 北東 北東 北 北 北西

宇都宮、銚子、金澤、伏木、長野、新潟、山形、秋田、

北 北東 南東 南西 東 南 南西 西

福嶋、石巻、彦根、名古屋、岐阜、青森、

北西 北 北西 北西 北 西

四國嶋

高知、徳嶋、松山、多度津、

南西 北西 北西 西

九州嶋

鹿兒嶋、宮崎、大分、熊本、佐賀、長崎、佐世保、福岡、

北東 西 南 北 北東 北 北東 南東

臺灣嶋

北九州嶋トニ於ケル最多風向ヲ問フ

東北、及、西南ノ風、烈シトス。

温度、

西南諸嶋ハ、寒暑ノ差、著シカラザル暖國タルニ過ギズ。九州、四國ノ地方ハ、盛夏ノ候ニ當リテ、我が國ニテ、最高温度トナス所ノ點マデ、達スルユトアルモ、冬季ハ、甚、寒冷ナルユトナシ。本州嶋ノ南岸、及、東岸ニ瀕スル部分ハ、寒暑ノ差異烈シカラズ、温暖宜シキヲ得レドモ、日本海ニ面スル地方、及、東北部ハ、親潮ニ洗ハル、ヲ以テ、稍寒冷ナリ。中央ノ高地ハ、寒冷一層甚シ。北州嶋ハ、最、北部ニ位セルヲ以テ、寒威一層、凜烈ナリ。

我が國ニテ、南風ト北風トハ、大ニ、寒熱ノ氣候ニ關スルモノニシテ、南風吹ケバ、温暖ヲ感シ、北風吹ケバ、寒冷ヲ覺ユ、ユレ、南方ハ、熱帯地方ニシテ、北方ハ、寒帯地方ナレバナリ。而シテ、南風ハ、多ク春ヨリ夏ニカケテ吹き、北風ハ、秋ヨリ冬ニ多シ。又、西北風ハ、寒冷ニシテ、西南風ハ、温暖ナリ。ユレ、又、我が邦ノ西北ハ、亞細亞大陸、北部ノ寒威烈シキ地方ニアタリ、西南ハ、後印度

ノ炎熱強キ地方ニアタレバナリ。ユレ等ノ風ノ吹クモ、概、一定ノ季節アルモノ
ニシテ、寒期一月ハ、西風、最、多ク、二三月頃ハ、稍、南ニ傾キ、四月ハ、南
西風トナリ、五六月ノ候ハ、漸次、西チ避ケテ、南強ク、七月ニ至リ、全ク、南
風トナル、八月ニ至レバ、更ニ、東方ニ轉シ、東南風、最、多ク、九月ハ、全ク、
東風ニ移リ、十月、及、十一月ニ至レバ、北風トナリ、十二月ニ至リ、遂ニ、北
西風、及、西風トナリ、再、一月ノ西風ニ歸シ、恰、一年ニ、風位ノ東西南北チ
一周セルガ如シ。然レドモ、我が國ノ、最、多キ風ハ、西北風、及、西風ノ二ト
ス。又、我が國ハ、毎歲、二月、八月頃チ、海陸共ニ、風力ノ、最、強烈ニシテ、
變化多キ季節トナス、故ニ、舟子ハ、此ノ節チ戒心セリ。殊ニ、八月末、若クハ、
九月初ニハ、二百十日、二百二十日ナドイヘル季節アリテ、暴風ノ起ルユト多
キヨリ、農家ハ、一層戒心チ加フ。

雨量ノ多少モ、亦、氣候ニ關係スルモノニシテ、我が國ニテ、降雨ノ、最、多キ
地方ハ、加賀、能登、大隅、日向、土佐、阿波、及、紀伊ノ東岸等ニシテ、ユレ

ニ次ケハ、西海道ノ西岸、四國ノ南半、東海道沿岸、及、北越ノ大半ニアリ。而
シテ、最、雨多キ地方ハ、瀬戸内海ノ沿岸、本州中央ナル、信濃、上野ノ一部、
陸前、陸中ニ互ル東沿岸、及、北海道ノ東南部ニ在リトス。雨量ハ、夏多ク冬
少シ。十一月ヨリ、三月ニ至ル寒氣ハ、天氣清朗ノ日、過分ニシテ、四月ヨリ、
十月ニ至ル候ハ、陰濕ニシテ、降雨過多ナリ。殊ニ、六月、及、九月ハ、我が邦、
最、陰霖ノ季節ニシテ、六月ハ、謂ハユル梅雨ノ候ナリ。細雨濛々、三十餘日ニ
ワタレリ。九月ノ頃モ、亦、陰霖數旬ニ至レリ。ユレ、全國、一般ノ候況ニシテ、
北海道、函館地方ハ、此ノ季節ニ當リ、烟霖多シ。臺灣嶋ハ、秋冬ノ候、霖雨至
リテ、屋内ノ衣被ノ如キモ、殆、濕氣チ含ム。

(三) 我が國ノ天産物ニツキテ詳言セヨ

答 礦物ハ、其ノ種類少カラズト雖、其ノ産額ノ量チ、調査スルトキハ、有用ナ
ルモノニ乏シト云フモ、過言ニアラザルベシ。金屬中ニハ、金、銀、銅、鐵、あ
んちもにい等チ産スルモ、其ノ量多カラズ、稍、多キハ、獨、銅鐵ノミ。非金屬
中ニハ、石炭アリ、硫黄アリ、陶土アリテ、其ノ産額モ亦少カラズ。石炭ノ如キ

我が國ノ主
要ノ植物ヲ

ハ、其ノ質ノ佳良ナルモノ乏シキガ如シ。
我が國ハ、四面、海ヲ環シ、降雨順ニ、濕潤宜シキヲ得、故ニ、地トシテ肥沃ナ
ラザルハナシ。サレバ、植物ノ發育盛ナリ。木材ニハ、松、杉、樅、檜、檉、樺等
アリ。果樹ニハ、桃、李、杏、柿、柑、林檎アリ。花卉ニハ、櫻、梅、山茶花、茶梅アリ。
其ノ他、茶アリ、桑アリ、楮アリ、楡アリ、又、竹類アリ。海中ニハ、石花菜、羊
栖菜、黒菜、裙帶菜、海苔アリ。而シテ、五穀ノ成熟、頗、佳良ニシテ、烟草、甘蔗、甘
藷等モ、盛ニ成育セリ。

我が國土ハ、狹長ニシテ、深山、幽谷ニ乏シキガ故ニ、動物ノ蕃殖宜シカラズ。野
猪、猿猴、兎等ノ外、猛獸奇畜少ナク、熊、狼ノ如キ、數種アルノミ。鳥類モ、亦
其ノ種類少ク、鷲、鷹、雉、鳶、鳥、雀、鴨等アリ。四圍ノ海中ニハ、魚類ニ富メルコ
ト、世界有數ノ産魚地タリ。鮪、鯉、鯖、鰻、鱒等ヲ始メトシテ、鯨、鮭、鱈、鱈、鰯、鰱
等ノ生産、最、多シ。介類ニハ、鮑、板屋介、鳥介等アリ。獸類ニハ、鯨、豚、鹿
等アリ。

(三) 我が國ノ人口ヲ問フ

答 明治二十六年十二月末ノ調査ニレバ、四千一百三十八萬八千三百十三人ナリ
コレニ新領土ノ人口、大約三百八萬一千五百人ヲ加フレバ、實ニ、四千四百四十
六萬九千八百十三人トナル、各嶋嶼ノ人口ヲ列記スレバ、左ノ如シ。

北州嶋及屬嶋	三七、九〇九七
本州嶋及屬嶋	三一三八、四六七〇
四國嶋及屬嶋	二九〇、七二八〇
九州嶋及屬嶋	五八九、一六七一
臺灣嶋及屬嶋	三〇八、一五〇〇
佐 渡	一一、二二九〇
隱 岐	三、四八六一
淡 路	一八、九四五八
壹 岐	三、五四五七
對 馬	三、二二九四
琉 球	四一、九八四〇

吾人ノ百
比例ヲ示

小笠原嶋

一三九五

總計

四一三八、八三三

(三) 我が國ノ面積ヲ問フ

答 其ノ面積ハ、二萬四千七百九十四方里三六〇シテ、コレニ新領土ナル、臺灣本嶋ノ面積二千五百三十二方里一四ヲ加フレバ、實ニ、二萬七千三百二十六方里五トナル、今、コレヲ一々列記セバ左ノ如シ。

北州嶋

五〇五六方里七八

本地

五方里一二

屬嶋

千嶋^{三十一}

一〇三三方里四六

本州嶋

一、四四九二方里二一

本地

七八方里九一

屬嶋

四國嶋

北州嶋一方里ニ人口幾人ニ當ルカ

四國嶋ハ一

方里ニ人口幾何ナリヤ

本地

一一五二方里二四

屬嶋

二九方里四三

九州嶋

一三一一方里八六

本地

三〇五方里六八

屬嶋

臺灣嶋

一五三二方里一四

本地

未詳

屬嶋

佐渡

五六方里三三

本地

隱岐

一二方里八八

本地

屬嶋

〇方里〇一

淡路

淡路島ト一
方里ノ人口
等差如何

本地

三六方里五五

屬嶋

〇方里一四

壹岐

八方里五五

本地

〇方里〇八

對馬

本地

四三方里九五

屬嶋

〇方里七七

琉球 五十
五嶋

本地

一五六方里九一

小笠原嶋 十七
嶋

本地

四方里四

合計

二、七三二六方里五

(三) 我が國ノ人口ハ平均一方里ニ付何人ノ割合ナリヤ

我が國ノ人
種ニツキテ
詳述セヨ

●答 一千六百二十七人四分ノ割合ナリ。

(言) 我が國ノ人種及風俗ニツキテ詳述セヨ

答 本邦特有ノ美風トシテ、諸外國ニ比類ナキハ、國民ノ忠孝ノ道ニ深厚ナル一
事トス。ユレ畏クモ、我が皇祖皇宗ノ御遺訓ニシテ、億兆ノ一日モ、忽諸ニ附セ
ザル所ナリ。ユノ人民ハ、純然タル亞細亞人種ナルヲ以テ、歐米諸國ノ人種ニ比
スレバ、大ニ異レリ。即、鬚髯少ク、眼目頭髮トモニ純黒ナリ。其ノ性ニ至リテ
ハ、温厚篤實ニシテ、勇壯機敏ナリ。且、學問、技藝ニ巧ニ、克ク、業務ニ耐フ
ルハ日本人ノ專有トス。北海道中ニハ、あいに稱スル一種ノ土人アリ。長五尺
六七寸ニシテ、其容貌ハ、顔面圓ク、額長ク、瞳子黒ク、鼻廣ク、全身ニハ、毛
多ク、又、鬚長シ、太古ハ、今ノ奥羽地方ニマデ住セシコトハ、日本武尊ノ東夷
御征伐ニテモユレヲ知ルベク、又、田村藤公ノ征討アリシニユリテモ、ユレヲ知
ルベシ。然レドモ、今ハ、其ノ數極メテ少ク、北海道ノ内地ニ、數部落ヲナセル
ノミナリ。臺灣ノ住民ヲ大別スレバ、凡、三種ナリ。生蕃族、熟蕃族、支那移民
ユレナリ。

我が皇族ト平民トノ差
異ヲ述ベヨ

(三) 我が國ノ族制ヲ問フ

答 我が國民ノ族制ハ、皇族、華族、士族、平民ノ四級ニ分ツ。皇族ハ、列聖ノ御血統ニシテ、華族ハ、古來、皇室ニ勳功アリシ門閥ノ舊家、及、封建時代ノ諸侯タリシモノ多シ、又、王政維新ノ勳功、明治二十七八年日清戰役ノ功績ニヨリテ、新ニ華族ニ列セラレタルモノ等ナリ。士族ハ、概、舊幕府、或、舊諸侯ニ隸屬シテ、祿ヲ受ケシ武士ト稱セシモノナリ。平民ハ、古來、農、工、商等ニ從事シ、武士ノ籍ニアラザリシモノニシテ、全國ノ人口中、最、多數ヲ占ム。以上ノ四族中、皇族ヲ除クノ外ハ、唯、其ノ貧富ニヨリテ、自然ニ生活ノ度ヲ異ニスト雖、結婚、葬祭等ノ禮式ニ至リテハ、一般ニ、相通シテ、其ノ間、毫モ懸隔ナク、殊ニ士族ト平民トノ間ハ、唯、名稱ノ異レルノミニシテ、其ノ權利、義務ヨリ、公私ノ交際、及、諸税ニ至ルマデ、皆、平等ニシテ、一モ差別ナシ。

(三) 國民生活ノ狀態如何

答 國民生活ノ狀態ニ至リテハ、貴賤、貧富ニヨリテ、大差アレバ、一般ニ、通論シ難シト雖、其ノ食物ハ、多クハ、穀物、菜蔬、鳥獸、魚肉ヲ食シ、清酒、濁

我國民ノ食料如何

我が國民ノ衣服ヲ詳記セヨ

醪、及、燒酎、茶ヲ飲ム。禮典、祝儀ニ用キル所ノ食物調理ノ如キハ、頗、鄭重ニシテ、法式アルモ、平素、米、麥ヲ炊ギ、菜蔬ヲ煮、或、コレヲ鹽漬ニシ、或、鳥獸魚肉ヲ煮、若クハ、コレヲ炙リ、又ハ羹ニスル等ハ、甚、簡易輕便ナリ。衣服ハ普通ニ、綿布、若クハ、絹綿交織ヲ用キ、絹緬、綾羅ノ類ハ、中等以上ノモノニアラザレバ、常ニ、コレヲ用キルユト稀ナリ。近來、毛織物ヲ用キルモノ、亦、ユレアリ。夏服ニハ、麻布製ノモノヲ、着クルモノ多シ。故ニ、服様ハ、種々ニシテ、一定ノ規律ナシト雖、コレヲ大別セバ、日本服、西洋服ノ二種トス。日本服ハ、男女ニヨリテ、帶ノ幅ヲ異ニスレドモ、其ノ他ハ、概、同一ニシテ、唯、男子ハ吉凶、若クハ、官廳、學校等ニ出勤スルトキハ、袴ヲ穿チ、又、羽織ヲ着ク。然レドモ、女子ハ、平素、羽織ヲ着クルユトアルモ、式典ノ禮服ニハ、コレヲ用キズ。袴モ、女學生ノ穿ツモノ、間々コレアルモ、一般ノ風ニアラズ。西洋服ハ軍人ヲ始メ、文官ノ禮服等ニ用キ、其ノ他、中等以上ノ資格アルモノニシテ、苟社會ノ表面ニ立ツモノハ、コレヲ、着クルユト流行セリ。又、上流社會ノ婦人、及女學生ノ中ニモ、コレヲ用キルモノアリ。此ノ外、僧侶、若クハ、神官ノ祭服ノ

如キ、其ノ職業ニヨリテ、概シテ、舊套ノ服ヲ用キ、而シテ、人民大概ハ、頭ニ帽ヲ戴キ、履物ハ、草鞋、草履、木履、洋靴等、種々様々ナリ。家屋ハ、木造、土造多ク、屋上ニハ、瓦葺、藁葺、茅葺等ノ種類アリ。ユレ等ノ建築ハ、坐禮、坐樂ノ家ニシテ、疊、或、席筵ヲ設ケ、履物ヲ脱ギテ、起居ス。近來、都會大市ハ、西洋風ノ家裝流行シ、官衙、學校、病院、銀行、會社ヲ始メ、富豪ノ家ハ、多クユレナリ。ユレノ建築ハ、木造ノモノアレドモ、多クハ、煉瓦、又ハ、石材ヲ用キルナリ。然レドモ、要スルニ、各地、各處ニテ、氣候地質、及、習慣等ニヨリテ衣食住ノ狀態ヲ、異ニセリ。

(三) 我が國ノ教育制度ヲ問フ

答 我が國ノ教育ハ、往時、唯、士人以上ニ行レ、農、工、商ノ如キハ、其ノ恩惠ニ與ラザリシガ、明治維新以來、泰西ノ制度ニナラヒ、大ニ學政ヲ振興シテ、全國ニ小學ヲ起シ、治ク、士、農、工、商ノ兒童ヲシテ、學ニ就カシメ、又、中學、大學及、各種ノ高等專門學校、及、特殊學校ヲ起シテ、學科ノ蘊奧ヲ究メシメ、以テ、國利民福ヲ圖ラレシ以來、文學、技藝、駭々トシテ進ミ、旺盛ヲ極ム。而シテ、小

學校ハ、兒童ノ身體ヲ、成長壯健ナラシムル道、人ノ人タル道、日本人トシテ必要ナル事ノ基礎、及、成長シテ生活ニ、必須ナル普通ノ智識、技能ヲ授クル所ニシテ、尋常、高等ノ二ニ分チ、各地ノ情況ニヨリテ、各町村、又ハ、數町村ニ一校ヲ、設立スベキ定ナリ。又、一府縣下ニ、尋常中學校、尋常師範學校、及、高等女學校アリ。高等學校ハ、東京、(第一)仙臺、(第二)京都、(第三)金澤、(第四)熊本(第五)山口、鹿兒嶋ノ七所ニ設置セリ。ユレ、尋常中學ヲ卒リテ、更ニ、高等ノ教育ヲ受ケントスルモノ、或、進ミテ大學ニ入ラントスルモノ、爲ニ、設ケラントタルモノナリ。帝國大學ハ、東京ニアリ、法、醫、工、文、理、農ノ六分科大學ヨリ成ル。尙、其ノ上ニ、大學院アリ。此ノ外、帝國京都大學、東京工業學校、大阪工業學校、高等商業學校、美術學校、陸軍大學校、士官學校、幼年學校、海軍大學校、海軍兵學校、商船學校、電信學校、農學校等アリ。又、高等師範學校、高等女子師範學校、盲啞學校、學習院、華族女學校ノ如キ、特別ノモノアリ。或、公私立ノ專門學校、高等女學校、幼稚園等アリ。今、明治二十六年ニ於ケル、全國諸學校ノ總數ヲ擧グレバ、二萬五千六百十一校ニシテ、六萬九千一百二十五人ノ

教員ト、三百四十五萬九千四百四十六人ノ生徒トアリ。

(完) 我が國ノ宗教ハ如何

我が國佛教ノ宗名ヲ問フ

答 我が國ノ宗教ハ、大別シテ、神道、佛教、基督教ノ三種トス。神道ニ、神道大社教、實行教、修成教、神習教、神宮教、扶桑教、黑住教、大成教、御嶽教ノ十派ト、佛道ニ、天臺、真言、淨土、臨濟、曹洞、黃蘗、真宗、日蓮、時宗、融通念佛、法相、華嚴ノ十二宗ト、基督ニ、舊教、新教ノ二大別トアリ。中ニ就キテ其ノ最、盛ニ行ハル、モノハ、佛教ニシテ、神道コレニ次グ、基督教ニ至リテハ其ノ渡來ノ日、尙、淺キヲ以テ、僅ニ、社會ノ一小部分ニ行ハル、ノミ。

(完) 我が國ノ政體ヲ詳記セヨ

行政機關タル十名ノ名ト其ノ司ル所ノ事トヲ說明セヨ

答 我が國、現今ノ政體ハ、東洋唯一ノ立憲君主政體ニシテ、欽定憲法ヲ奉體ス而シテ、萬世一系ノ天皇ハ、親シク國政ヲ一統シ給ヒ、内閣ノ諸大臣コレヲ補佐シ、帝國議會コレヲ協贊シ奉レリ。内閣ハ、行政ノ最高府ニシテ、内務、外務、大藏、陸軍、海軍、司法、文部、農商務、拓殖務、遞信ノ十省大臣ヲ以テ組織シ、總理大臣コレヲ統一ス。又、十大臣入りテハ、國政ニ參與シ、出デテハ一省ノ長官

帝國議會ノ組織如何

トナリ、庶務ヲ總督シ、其ノ下ニ次官以下百官アリ。又十省ノ外ニ、宮内ノ一省アリ、獨立シテ皇室內外ノ政務ヲ司レリ。且、天皇ノ至高顧問府タル樞密院ハ、國家重大ノ事項アルニ當リ、天皇、親臨シテ諮詢シ給フ所トス。其ノ官ヲ、樞密顧問官トイヒ、國老ヲ以テコレニ充ツ。地方ノ行政ニハ、北海道ニ北海道廳、臺灣ニ總督府ヲ置キ、各一人ノ長官ト總督トアリ、府縣ニ知事、各一人ヲ置キ、其ノ管内ヲ統轄セシム。其ノ下ニ、市、區、及、郡役所、町村役場等アリ。亦、各、長一人ヲ置キテ、施政ノ任ニ當ラシム。別ニ、中央政廳ニ、會計検査院ヲ置キテ、帝國ノ會計ヲ監督セシム。帝國議會ハ、立法部ニシテ、貴族衆議ノ兩院ヨリ成立ス。貴族院ハ、皇族、華族、及、國家ニ功勞アルモノ、博學多識ナルモノ、民間ノ多額納稅者ヲ以テ組織ス。衆議院ハ、直接國稅十五圓以上ヲ納ムル、各府縣公撰者ヲ以テ組織スルモノナリ。此ノ他、府縣ニハ、府縣會アリ、郡、市ニハ郡、市會アリ、區、町、村ニハ、區、町、村會アリ。皆、民間公撰ノ議員ヲ以テ組成シ、各自ノ公共事務ヲ處理ス。又、司法權ハ、天皇ノ名ヲ以テ、法律ニヨリ裁判所コレヲ行フ。大審院、コレヲ總轄シ、七控訴院、其ノ下ニ屬シ、又、地方裁判所、又、區裁

判所アリテ、順次其ノ下ニ配シ、官吏ヲ終身官トシ、判事、檢事ノ二種トス、其ノ他、行政裁判所アリテ、行政官廳ノ違法處分ニ係ル事件ヲ、判決スル制モ、亦備レリ。

(四) 行政區劃ノ中畿道諸國ノ區劃ヲ示セ

答 全國ヲ大別シテ、畿内、九道トス。即、北州嶋ト、千嶋諸嶋トヲ以テ、北海道トイヒ、本州嶋ニ、佐渡、隱岐ノ二小嶋ヲ加ヘテ、コレヲ、畿内、及、東海、東山、北陸、山陰、山陽ノ一畿五道ニ劃シ。四國嶋ニ、淡路嶋ト、本州嶋ノ南端ナル一部トヲ合セテ、コレヲ、南海道ト稱シ、九州嶋ニ、壹岐、對馬ノ二小嶋、及琉球諸嶋ヲ加ヘテ、コレヲ、西海道ト名ケ。臺灣嶋ニ、澎湖諸嶋、其ノ他、一二ノ小嶋嶋ヲ合セテ、臺灣道トイフ。尙、臺灣道ヲ除キ、一畿八道ヲ分チテ、八十五國トシ、又、施政ノ便宜ヲ圖リ、コレヲ、一道廳、三府、四十三縣ニ分割シ、更ニコレヲ小別シテ、市、區、郡、町、村トス。臺灣道ニハ、一ノ總督府ト、嶋廳ト、二ノ縣トヲ置ク。

其ノ一

我が國ヲ幾ツニ區別ズルカ

畿内ノ國名ヲ問フ

畿内は五國、本嶋の。おほむねもなかに、位して。西のみやこの、山城や。神武のみかど、このかたの。都の跡も、いと多き。大和の國の、其の外に。河内和泉に、攝津なり。

其ノ二

東海道ノ國名ヲ云ヘ

東海道は、十五國。畿内の東に、連りて。太平洋に、向ひたり。その國々は何々ぞ。伊賀伊勢志摩に、尾張路や。三河の國に、遠江。駿河と伊斐と、伊豆相模。武藏下總、安房上總。常陸の國と、その外に。はるか沖なる、小笠原。伊豆の嶋々、數多し。

其ノ三

東山道ノ國名ヲ示セ

東山道は、十三國。東海道の、北に沿ひ。東北隅に、のびわたる。近江と美濃と、飛驒信濃。上野下野、岩代と。磐城陸前、陸中や。陸奥と羽前と、羽後の國。

其ノ四

北陸道は、七ヶ國。東山道の、北の方。日本海を、ひかへたる。若狹越前、

加賀の國。海につさいづ、半嶋の。その名も高さ、能登の國。越中越後、くがついさ。帆かけてかよふ、佐渡ヶ嶋。

其ノ五

山陰道は、八ヶ國。北陸道の、西の方。日本海に、うち臨む。丹波丹後や、但馬路に。因幡伯耆や、八雲たつ。出雲石見と、沖中に。はるか見わたす、隠岐の嶋。

其ノ六

山陽道は、八ヶ國。山陰道と、背を合せ。明石の浦の、夕げしき。其の名もしるき、播磨瀨。さて美作も、うちすきて。備前備中、備後安藝。周防長門と、連れり。

其ノ七

南海道は、六ヶ國。讃岐に伊豫に、土佐の國。音に鳴門の、阿波の國。沖にたいよふ、淡路嶋。本嶋されど、蜜柑もて。名高さ紀伊の、一國を。南海道と、いふぞかし。

南海道トノ四國名ヲ問フ

其ノ八

西海道は、十二國。其の名も特に、高千穂の。日向大隅、薩摩瀨。筑前筑後と、肥前肥後。豊前豊後に、離れたる。壹岐と對馬の、二小嶋。これに加ふる、琉球は。臺灣嶋に、程近し。

其ノ九

臺灣嶋は、一名を、其の名も高さ、たかさごや。明治二十、八年の。さつさ十日に、日本が。支那よりとりし、土地にして。生番界と、熟番界。東と西と、ふたわかれ。北の方より、南へは。臺北臺中、臺南と。みつの大なる、わからあり。

(四) 我が國ニ於テ海ニ瀕セザル土地アリ其ノ國名ヲ問フ答

海なきは、山城大和、河内伊賀、

丹波美作、岩代のくに。

近江路や、美濃飛騨信濃、甲斐の國、

畿内ニテ海ニ瀕セザル國アリヤ

上野下野、これを海なき。

(四) 現今ノ行政上極メテ必要ナル道廳府縣ノ名稱ト所在地ト管轄區域トヲ示セ

答

北州嶋、

北海道廳。 北海道一圓。 石狩國札幌。

本州嶋、

東京府。 武藏國一市九郡、伊豆七嶋、小笠原嶋。 武藏國東京。

京都府。 山城國、丹後國、丹波五郡。 山城國京都。

大阪府。 河内國、和泉國、攝津國一市七郡。 攝津國大阪。

神奈川縣。 相模國、武藏國一市三郡。 武藏國橫濱。

兵庫縣。 播磨國、但馬國、淡路國、攝津國一市五郡、丹波國二郡。 攝津國

神戸。

新潟縣。 越後國、佐渡國。 越後國新潟。

本州嶋ニ於ケル府縣名ヲ問フ

埼玉縣。 武藏國十七郡、下總國一郡。 武藏國浦和。

千葉縣。 安房國、上總國、下總國八郡。 下總國千葉。

茨城縣。 常陸國、下總國六郡。 常陸國水戸。

群馬縣。 上野國。 上野國前橋。

栃木縣。 下野國。 下野國宇都宮。

奈良縣。 大和國。 大和國奈良。

三重縣。 伊賀國、伊勢國、志摩國、紀伊國二郡。 伊勢國津。

愛知縣。 尾張國、三河國。 尾張國名古屋。

静岡縣。 遠江國、駿河國、伊豆國、七嶋ヲ除ク。 駿河國静岡。

山梨縣。 甲斐國。 甲斐國甲府。

滋賀縣。 近江國。 近江國大津。

岐阜縣。 美濃國、飛騨國。 美濃國岐阜。

長野縣。 信濃國。 信濃國長野。

宮城縣。 陸前國一市十三郡、磐城國三郡。 陸前國仙臺。

福嶋縣。 岩代國、磐城國十一郡。 岩代國福嶋。
 岩手縣。 陸前國一郡、陸中國一市十七郡、陸奧國一郡。 陸中國盛岡。
 青森縣。 陸奧國一市八郡。 陸奧國青森。
 山形縣。 羽前國、羽後國一郡。 羽前國山形。
 秋田縣。 羽後國一市八郡、陸中國一郡。 羽後國秋田。
 福井縣。 若狹國、越前國。 越前國福井。
 石川縣。 加賀國、能登國。 加賀國金澤。
 富山縣。 越中國。 越中國富山。
 鳥取縣。 因幡國、伯耆國。 因幡國鳥取。
 嶋根縣。 出雲國、石見國、隱岐國。 出雲國松江。
 岡山縣。 美作國、備前國、備中國。 備前國岡山。
 廣嶋縣。 備後國、安藝國。 安藝國廣嶋。
 山口縣。 周防國、長門國。 周防國山口。
 和歌山縣。 紀伊國一市八郡。 紀伊國和歌山。

四國島ト九
 州島下ニ於
 ナケル縣ノ名
 ナケルヲ

四國嶋、

德嶋縣。 阿波國。 阿波國德嶋。
 香川縣。 讃岐國。 讃岐國高松。
 愛媛縣。 伊豫國。 伊豫國松山。
 高知縣。 土佐國。 土佐國高知。

九州嶋、

長崎縣。 壹岐國、對馬國、肥前國一市六郡。 肥前國長崎。
 福岡縣。 筑前國、筑後國、豐前國六郡。 筑前國福岡。
 大分縣。 豐後國、豐前國二郡。 豐後國大分。
 佐賀縣。 肥前國一市十郡。 肥前國佐賀。
 熊本縣。 肥後國。 肥後國熊本。
 宮崎縣。 日向國九郡。 日向國宮崎。
 鹿兒嶋縣。 大隅國、薩摩國、日向國一郡。 薩摩國鹿兒嶋。
 沖繩縣。 琉球。 琉球國那覇。

臺灣嶋

總督府、臺灣群嶋、臺灣嶋臺北。

臺北縣、臺灣嶋北部、臺灣嶋臺北。

臺中縣、臺灣嶋中央部、臺灣嶋臺灣。

臺南縣、臺灣嶋南部、臺灣嶋臺南。

澎湖嶋廳、澎湖群嶋、澎湖嶋媽宮。

(三) 我が國地方廳ハ幾許アリヤ

答 一總督府、一道廳、一嶋廳、三府、四十六縣。

(四) 我が國ノ司法區ヲ示セ

答 東京控訴院ノ管内ニ、東京、横濱、千葉、水戸、宇都宮、浦和、前橋、靜岡
甲府、長野、新潟ノ十一地方裁判所ト、七十ノ區裁判所トアリ。大阪控訴院ノ管
内ニ、京都、大阪、奈良、神戸、岡山、大津、福井、金澤、富山、和歌山、徳嶋
高知、松山、高松ノ十四地方裁判所ト、八十六ノ區裁判所トアリ。名古屋控訴院
ノ管内ニ、名古屋、安濃津、岐阜ノ三地方裁判所ト、二十ノ區裁判所トアリ。廣

各控訴院ノ
所在ヲ問フ

嶋控訴院ノ管内ニ、廣嶋、山口、松江、鳥取ノ四地方裁判所ト、二十五區裁判所
トアリ。長崎控訴院ノ管内ニ、長崎、佐賀、福岡、大分、熊本、鹿兒嶋、宮崎、那
霸ノ八地方裁判所ト、四十八ノ區裁判所トアリ。宮城控訴院ノ管内ニ、仙臺、福嶋
山形、盛岡、秋田ノ五地方裁判所ト、三十四ノ區裁判所トアリ。函館控訴院ノ管
内ニ、青森、函館、札幌、根室ノ四地方裁判所ト、十八ノ區裁判所トアリ。即、一
ノ大審院ト、七ノ控訴院ト、四十九ノ地方裁判所ト、三百一ノ區裁判所トヨリ成
レリ。

(五) 我が國ノ兵備ヲ説ケ

答 我が國ノ兵備ハ、海陸ノ兩軍ヨリ成ル。陸軍ハ、陸地ヲ警衛シ、海軍ハ、領
海ヲ防護スルノ任務ニ當レリ。又、陸海ノ軍人ハ、徵兵令ニヨリテ、一般ノ國民
ヨリ、徵募シタルモノヲ以テ、コレニ充テ、一定ノ年限内、服役セシム。即、陸
軍ハ、現役三年、豫備役四年、後備役五年ニシテ、海軍ハ、現役四年、豫備役三
年、後備役五年ナリ。兵役ハ、總ベテ常備役、(陸海軍トモ、現役、豫備役ヲ合セ
テ七年。)後備役五年、國民役(十七年ヨリ、四十年マデ)ノ三ニ分タル。コレ大目

本帝國ノ臣民タルモノ、國家ノ爲ニ、盡スベキ一大義務ナリ。

(吳) 我が國ノ陸軍ノ編制ヲ詳記セヨ

答 陸軍ニ、五種ノ兵アリ。第一ヲ歩兵トシ、第二ヲ騎兵トシ、第三ヲ砲兵トシ

第四ヲ工兵トシ、第五ヲ輜重兵トス、ユノ外、更ニ憲兵アリ。

大日本帝國ヲ、十二師管區ニ區分ス。第一師管ノ聯隊區ハ、麻布、横濱、高崎、長野ノ四ニシテ、小笠原嶋ヲ警備隊區トナス。第二師管ノ聯隊區ハ、仙臺、福嶋、新野、和歌山ニシテ、佐渡ヲ警備隊區トナス。名古屋、津、豊橋、静岡ノ四聯隊區ヲ、第三師管トス。大阪、和歌山、大津、京都ノ四聯隊區ヲ、第四師管トス。第五師管ノ聯隊區ハ、廣嶋、尾道、山口、濱田ニシテ、警備隊區ヲ隠岐トス。熊本、大村、鹿兒嶋、宮崎ノ四聯隊區ト、大嶋、沖繩、五嶋、對馬ノ四警備隊區トナシ、第六師管トナス。第七師管ノ聯隊區ヲ、札幌、函館、根室、十勝ノ四トス。第八師管ハ、弘前、盛岡、秋田、山形ノ四聯隊區ナリ。第九師管ヲ、金澤、富山、敦賀、岐阜ノ四聯隊區ニ分ツ。第十師管ノ聯隊區ハ、福知山、神戸、姫路、岡山ノ四トナス。第十一師管ヲ、九龍、徳嶋、松山、高知ノ四聯隊區トス。小倉、大分

陸軍ノ兵種
ヲ同フ

憲兵管區ヲ

久留米、佐賀ノ四ノ聯隊區ヲ、第十二師管トナス。更ニ、本郷、宇都宮、佐倉、水戸ノ四聯隊區ヲ、近衛師管トス。各師管ノ管轄府縣ハ、今コレヲ省ク。

憲兵管區アリ、第一ヨリ第六マデトス。

第一憲兵隊、東京憲兵第一管區、東京憲兵第二管區、神奈川憲兵第一管區、神奈川憲兵第二管區。群馬憲兵管區。千葉憲兵管區。山梨憲兵管區。

第二憲兵隊、宮城憲兵管區。新潟憲兵管區。青森憲兵管區。秋田憲兵管區。

第三憲兵隊、愛知憲兵第一管區、愛知憲兵第二管區。石川憲兵管區。三重憲兵

管區。富山憲兵管區。

第四憲兵隊、大阪憲兵第一管區、大阪憲兵第二管區。京都憲兵管區。兵庫憲兵

管區。和歌山憲兵管區。

第五憲兵隊、廣嶋憲兵第一管區、廣嶋憲兵第二管區。愛媛憲兵管區。山口憲兵

管區。高知憲兵管區。嶋根憲兵管區。香川憲兵管區。

第六憲兵隊、熊本憲兵管區。長崎憲兵管區。福岡憲兵管區。鹿兒嶋憲兵管區。

宮崎憲兵管區。

又、砲工學校、士官學校、幼年學校、戶山學校、乘馬學校、砲兵射的學校、要塞砲兵幹部練習所、教導團、軍樂學舎、經理學校、軍醫學校、獸醫學校等ヲ設ケテ士官、下士、及、軍屬諸員ヲ教養ス。

(四) 我が國ノ海軍ノ編制ヲ詳述セヨ

答 我が、大日本帝國ハ、數多ノ嶋嶼ヨリ成リテ、四面、渺茫タル滄海ヲ、繞ラセルヲ以テ、海軍ノ擴張ト、軍艦ノ設備トハ、一日モユレヲ忽ニスベカラズ。軍艦ニ數種アリ。第一チ、甲鐵戰團艦トシ。第二チ、海防艦トシ。第三チ、巡洋艦トシ。第四チ、砲艦トス。其ノ他ニ、水雷艇アリ。水雷驅逐艦アリ。報知艦アリ。

戰團艦三隻。海防艦三隻。巡洋艦十二隻。砲艦十五隻。

水雷砲艦一隻。報知艦二隻。ユルヴェット四隻。

スルーフ六隻。風帆練習艦三隻。水雷艇二十六隻。

二十八年十月末ノ調査ニヨレバ、七十五隻ニシテ、此ノ中、堅牢ナルモノ、六隻ヲ撰ミテ、一ノ常備艦隊ヲ編成シ、其ノ他ノ諸艦ハ、横須賀、吳、佐世保ノ三鎮守府ニ於テ、分管セリ。

聯合艦隊ノ編制ト五海軍區トヲ問フ

第二海軍區ノ所管ヲ問フ

明治二十七八年、征清ノ事アルヤ、四艦隊ヲ編成セリ。其ノ編制左ノ如シ。

聯 本隊。松嶋(旗艦)、嚴嶋、橋立、扶桑、千代田、比叡。

合 第一遊撃。吉野、高千穂、浪速、秋津嶋。

艦 第二遊撃。金剛、高雄、大和、葛城、武藏、天龍。

隊 第三遊撃。筑紫、赤城、天城、磐城、摩耶、鳥海、愛宕、海門。

此ノ外ニ、若干ノ水雷艇ト、軍艦二隻ト、商艦五隻トヲ以テセリ。而シテ、我が帝國ノ領海ヲ、五海軍區ニ分チ、各海軍區ニ、軍港ト鎮守府トヲ置ケリ。

第一海軍區ハ、海岸ノ延長、一千五十七哩ニシテ、陸中國南九戸、北關伊兩郡ノ界ヨリ、紀伊國南牟婁、東牟婁兩郡ノ界マデノ海岸、海面、及、小笠原嶋ノ海岸海面ナリ。横須賀鎮守府ノ所管ニシテ、其ノ軍港ハ、相模國三浦郡横須賀ナリ。

第二海軍區ハ、紀伊國南牟婁、東牟婁兩郡ノ界ヨリ、石見、長門兩國ノ界ヨリ、九州東海岸ニ沿ヒ、日向國南那珂、南諸縣兩郡ノ界マデノ海岸、海面、及、四國ノ海岸、海面、并ニ内海ヲ限リ、海岸ノ延長、二千六十七哩アリ。吳鎮守府ノ所管ニシテ、安藝國安藝郡吳ヲ軍港トス。

第三海軍區ハ、筑前、豊前兩國ノ界ヨリ、九州西海岸ニ浴ヒ、日向國南那珂、南諸縣兩郡ノ界マデノ海岸、海面、及、豊岐、對馬、沖繩諸嶋ノ海岸、海面ニシテ其ノ延長、一千四百九十七哩アリ。佐世保鎮守府ノ所管ニシテ、肥前國東彼杵郡佐世保ヲ軍港トス。

第四海軍區ハ、石見、長門兩國ノ界ヨリ、羽後、陸奥兩國ノ界マデノ海岸、海面ト、隱岐、佐渡ノ海岸、海面トナリ。海岸ノ延長、一千五十五哩アリテ、舞鶴鎮守府ノ所管ニ屬シ、軍港ハ、丹後國加佐郡舞鶴ナリ。

第五海軍區ハ、北海道、陸奥、及、陸中國北九戸、南九戸兩郡ノ海岸、海面ニシテ、延長、二千二百七十六哩アリ。軍港ハ、膽振國室蘭郡室蘭トス。室蘭鎮守府ノ所管ニ屬ス。

舞鶴、室蘭ノ二鎮守府ハ、未、開廳セザルヲ以テ、第四海軍區中ノ越後以東、及第五海軍區ヲ、横須賀鎮守府ニ管セシメ、第四海軍區中ノ越中以西ヲ、吳鎮守府ニ管セシム。

海軍ニモ、亦、大學校、兵學校、機關學校、水雷術傳習所等アリテ、軍人軍尉ヲ

養成セリ。

(四) 我が國トノ條約國ノ名ヲ問フ

答 亞米利加合衆國。大不列顛國。露西亞。和蘭。佛蘭西。葡萄牙。獨逸。瑞西。白耳義。伊太利。丁抹。瑞典。諾威。西班牙。澳地利。洪喇利。布哇。清。秘露。朝鮮。暹羅。墨西哥ノ二十ヶ國ナリ。

(五) 我が公使館領事館ノ所在地ヲ示セ

答 公使館ノ所在ハ、米國華盛頓。英國倫敦。露國聖比德堡。和蘭國海牙。佛國巴里。獨國伯林。伊國羅馬。澳國維也納。朝鮮國京城。清國北京等。領事館ノ所在ハ、米國紐育。米國桑港。英國倫敦。露領哥爾薩港。佛國里昂。朝鮮國京城。朝鮮國釜山。朝鮮國元山。朝鮮國仁川。布哇國はのる。英領香港。英領新嘉坡。英領うあんくうばあ。墨西哥國めさして。英領孟買。清國上海。清國天津。清國芝罘。清國營口等。

(六) 我が國森林ノ狀況ヲ詳述セヨ

答 森林ニハ、山林ト、平林トアリ。又、山林、平林トモニ、天然林ト、樹藝林

歐羅巴ニ於ケル我が國トノ條約國ヲ問フ

東洋ニ於ケル我が國ノ公使館領事館ヲ示セ

トノ二種ニ區別スベシ。而シテ、其ノ所屬ニ關シテ、御料林、官林、官有林、民
有林ノ四種アリ。御料林トハ、帝室ノ御領チ云ヒ。官林トハ、農商務省ノ所轄ニ
シテ、保存林ト、共用林トノ二種アリ。道廳府縣ノ所轄ニ屬スルモノチ、官有山
林ト云ヒ。人民ノ私有ニ屬スルモノチ、民有林ト云フ。

御料林。木曾御料林。天城御料林。

官林。青森大林區、秋田大林區、宮城大林區、東京大林區、長野大林區、大阪

大林區、廣嶋大林區、高知大林區、福岡大林區、熊本大林區。

官有林ハ、四萬七千五十六ヶ所ニシテ、其ノ反別ハ、四百四十三萬五千三百七十

九町七ナリ。

民有林ハ、六百六十三萬八千八百五十二町アリ。

官林ノ保存林ト、供用林トノ箇所、反別ヲ擧ケレバ左ノ如シ。

保存林ハ、二萬三千四百四十箇所ニシテ、其ノ反別、十萬二千五百八十八町。共用
林ハ、九萬一千一百四十五ヶ所ニシテ、其ノ反別、七百二十三萬七千三百四十六
町ニアリ。

(五) 我が國ノ養畜ノ現況如何

答 家禽、家畜、蜜蜂等ヲ養フ事業チ、養畜業ト云フ。家禽トハ、鶏、あひるノ
類チ云ヒ。家畜トハ、牛、馬、豚、羊ノ如キモノチ云フ。ユノ養畜業ヨリ得ル所ノモ
ノハ、或、食料ニ供シ、或、工藝ニ用キ、或、勞役ニ服セシムルヲ得、ユレ人生ニ
缺クベカラザル生業ナリ。

牛 明治二十六年、十二月三十一日ノ農商務省ノ調査ニヨレバ、牝牡ヲ合セテ、一
百十萬五千二百一頭ニシテ、中、内國種ハ、一百五萬九百六十九頭、外國種ハ、九
千二百五十二頭、雜種ハ、四萬四千九百八十頭ナリ。而シテ、本州嶋中區ハ、十
萬八千五十六頭。本州嶋北區ハ、六萬二千三百十七頭。本州嶋西區ハ、四十九萬
一千八百八頭。四國嶋區ハ、十萬四千三十九頭。九州嶋區ハ、三十三萬三千九百
五十一頭ニシテ、但馬肥前ノ牛ハ、良種ナリト云フ。

馬 馬ハ、食用ニ供スルヲ目的トセズ、或、駄馬トシテ、荷物ヲ運送セシメ、或
農馬トシテ、田畑ヲ耕作セシメ、又ハ、乘馬トシテ、軍人旅客ノ騎行ニ用キルニ
アリ。明治二十六年、十二月三十一日農商務省ノ調査ニヨレバ、牝牡ヲ合セテ、

一百五十六萬一千三百七十三頭ニシテ、内國種ハ、一百五十四萬六千一百十四頭
外國種ハ、五百五十四頭、雜種ハ、一萬四千七百五頭ナリ。現時ノ馬ノ數、西海
東山ノ二道ニ多クシテ、東海、南海、及、山陽、北陸ニ少ナシ。概シテ、我が國
ニ産スル馬ハ、軀幹矮小ニシテ、優等ナラズ。而シテ、東北諸州ノ馬種ハ、性質
柔順ニシテ、西南諸州ノ馬ハ、性質剛強ナリ。
豚ヲ飼養スル、重ナル土地ハ、鹿兒嶋、沖繩、千葉、長崎、神奈川、宮崎等ト
ス。
羊ハ、飼養スル土地稀ニシテ、唯、大隅ノ群嶋中ニ、一ノ牧羊場アルノミ。
鶏、家鴨ノ類ハ、滋養ノ功多クシテ、味美ナレドモ、飼育、未、全ク行ハレズ。
蜜蜂ヲ飼育スルノ目的ハ、蜂蜜ト、蜜蠟トヲ得ルニ在リ。紀伊、薩摩、信濃、甲
斐ナドノ國々ニテ、僅ニ、コレヲ觀ル。

(五) 我が國ノ養蠶ノ概況ヲ説ケ

答 蠶蟲ニ、家蠶、天蠶、柞蠶等ノ數種アリテ、家蠶ハ、桑葉ヲ以テコレヲ養ヒ、
其ノ他ハ、櫻、檜等ノ葉ヲ以テ飼養ス。家蠶ノ飼養、盛ナルニツレテ、桑樹ノ栽

桑樹植附反
以上ノ土地歩
ハ如何

培殖多シ。明治二十七年、十二月ノ調査ニヨリテ、全國ニ於ケル、桑樹ノ植附反
別ヲ見ルニ、二十五萬三千八百八十九町八アリ。其ノ府縣ニヨリテ、一萬町歩以
上ノモノヲ舉グレバ左ノ如シ。

神奈川。埼玉。群馬。長野。山梨。岐阜。福嶋。山形。

コレニヨリテ得ル所ノ繭、玉繭、厨繭、出殻繭ヲ合セテ、一百八十萬五百九十
六石アリ。其ノ産額、十萬石以上ノ土地ハ、次ノ如シ。

埼玉。群馬。長野。福嶋。

繭絲ノ總産額ハ、一百七十七萬四千八百二十一貫ニシテ、産額、五萬貫以上ノ土
地、左ノ如シ。

東京。埼玉。群馬。長野。山梨。岐阜。福嶋。山形。

真綿ハ、總産額、五萬六千九百五十貫目ニシテ、産額、一千貫以上ノ府縣ハ、左
ノ如シ。

埼玉。群馬。長野。山梨。愛知。岐阜。滋賀。福井。新潟。福嶋。宮城。山形。
秋田。岩手。兵庫。

蠶絲ノ産出
地何

蠶卵紙ハ、總額、三百九萬一千二百二十二枚ナリ。十萬枚以上ヲ産出スル府縣ハ左ノ如シ。

埼玉。群馬。長野。滋賀。福嶋。

天蠶、柞蠶ハ、實ニ、僅少ニシテ、飼養戸數七百四十七戸、繭ノ數ハ、一千三百四十九萬一千粒ナリ。

(三) 我が國ノ水産ニツキテ詳説セヨ

答 我が國ハ、四周、繞ラスニ海洋ヲ以テシ、内ニハ、河、湖アリテ、魚、介、藻、苔ノ類ニ富メルヲ以テ、淡水ト、鹹水トナ問ハズ、水中ニ産スル所ノ動、植、礦ノ各種ヲ、採取ス。其ノ重要ナルモノハ、乾物類ニシテ、鱈節、鮪節、乾鰯、田作、乾鱈、乾鱈、乾鰯、乾鰯、鰯、煎海鼠、乾鰻、鱈鱈、乾鮑、貝柱等ナリ。鹽物類ニハ、鮭、鱈、鱈、鱈、鮪、鮪、鰻、鰻、鮪、鮪、昆布、海苔、荒布、和布、海糞、鹿角菜、石花菜等アリ。肥料ニハ、乾鰯、鰯、鮪、榨滓等アリ。其ノ他、魚油、魚蠟等アリ。

十萬圓以上ノ、鱈節ノ産額アル府縣ヲ擧ゲレバ、左ノ如シ。

十萬圓以上ノ産額アル府縣

千葉。静岡。三重。高知。長崎。鹿兒嶋。

十萬圓以上ノ、鰻ノ産出アル土地。

新潟。岩手。嶋根。長崎。北海道。

五萬圓以上ノ、乾鮑ノ産出スル土地。

千葉。

乾鰯、三萬圓以上ノ、産出アル土地。

千葉。三重。富山。京都。兵庫。廣嶋。山口。香川。愛媛。

熊本。

鮭、及、鱈ニ就キテ、三萬圓以上ノ、産出アル土地。

岩手。北海道。

一萬圓以上ノ、鱈鱈ノ産地。

山口。大分。

昆布ノ産出、最、多キハ、北海道ニシテ、ユレニアグチ、岩手、青森、大阪、トス。鰻、鮪、榨滓一萬圓以上ノ、産出アル土地。

一萬圓以上ノ産地如何

千葉。茨城。静岡。愛知。三重。石川。富山。岩手。青森。
愛媛。大分。北海道。

我が國、水産ノ概算金額ハ、實ニ、二千六百三十萬圓以上ナリ。

(吾) 我が國ノ製鹽ノ事業如何

答 製鹽ノ業ハ、瀬戸内海ノ、各沿岸ヲ以テ、最トス。就中、播磨ノ赤穂、讃岐ノ齋田、周防ノ三田尻ハ、尤、著名ナリ。其ノ他、下總、陸前、能登、三河モ、亦、多少製鹽ノ業アリテ、産出多シ。然レドモ、其ノ産額ハ、内國ノ需要ニ充ツルニ止リテ、外國ニ輸出スルコトナシ。世ニ、十州鹽田ト稱スルハ、瀬戸内海ノ沿岸地方ニアリ、イト隆盛ナ極ム。今、全國ノ統計ヲ記セン。

十州鹽田組合ノ國名ヲ問フ

鹽田。七千四百七十三町三反。

製鹽産額。一萬七千五十九。

食鹽産額。六百五十五萬五千四百九十五石。

食鹽價額。三百六十六萬六千三百四十九圓。

五萬圓以上ノ、産額アル府縣ヲ擧ゲナバ、左ノ如シ。

千葉。愛知。石川。宮城。兵庫。岡山。廣嶋。山口。徳嶋。
香川。愛媛。福岡。熊本。大分。鹿児島。

(吾) 我が國ノ農業ノ景況如何

答 我が國ハ、瑞穂國ト稱ヘ、農ヲ以テ國本トス。上、ユレテ獎勵シ、下、努力シテ耕耘ニ從事セシカバ、古昔ヨリ、此ノ業、特ニ、發達シ、生産力モ、亦、從ヒテ大ナルコト、他ノ事業ニ冠タリ。左ニ比較詳述セン。

田畑ノ反別、明治二十七年十二月末ノ調査ニヨレバ。

田地。二百七十四萬四千三百七十九町三反。

畑地。二百二十八萬四千八百四十一町九段。

田地、五萬町歩以上ノ府縣ハ、左ノ如シ。

千葉。新潟。兵庫。福岡。埼玉。茨城。栃木。長野。静岡。
愛知。三重。岐阜。滋賀。石川。富山。福嶋。宮城。山形。
秋田。岩手。青森。大阪。岡山。廣嶋。山口。嶋根。佐賀。
熊本。鹿児島。

田地ト畑トノ反別ヲ問フ

畑地、五萬町歩以上ノ府縣ハ、左ノ如シ。
 神奈川。埼玉。千葉。茨城。栃木。群馬。長野。静岡。愛知。
 新潟。福島。岩手。青森。愛媛。高知。長崎。福岡。熊本。
 宮崎。鹿児島。

一百萬石以上ノ米ノ收穫アル土地ヲ舉ゲル

主要ナル食料品ノ中、梗米、糯米、陸稻ノ三種ヲ合セテ、一百萬石以上ノ、收穫アル府縣ヲ舉ゲレバ、左ノ如シ。
 千葉。茨城。長野。愛知。三重。滋賀。石川。富山。新潟。
 福嶋。宮城。山形。秋田。大阪。兵庫。岡山。山口。福岡。
 大麥、裸麥、小麥ヲ合セテ、五十萬石以上ノ、收穫アル府縣ヲ舉ゲレバ、左ノ如シ。
 埼玉。茨城。神奈川。千葉。栃木。群馬。長野。静岡。愛知。
 兵庫。岡山。廣嶋。山口。愛媛。長崎。福岡。熊本。大分。
 其ノ他、雜類ニテ、著シキモノヲ舉ゲレバ。
 大豆。三百十一萬六千六百六十五石。
 粟。三百一萬六千六百七十八石。

稗。一百十三萬五千五百七十石。
 黍。二十七萬八千二百五十九石。
 蜀黍。十八萬四千三百十四石。
 蕎麥。一百十五萬六千二百六十一石。
 甘藷。五億六千八百三十七萬二千六百六貫。
 馬鈴。四千四十九萬四千四百三十一貫。
 實綿。一千二百五十八萬四千八百二十二貫。
 大麻。二百七十四萬五千八百二貫。
 苧麻。三十三萬四千九百二貫。
 菜種。一百二萬六千五百七十二石。
 葉烟。七百六十四萬三千二百三貫。
 藍葉。一千五百四十四萬七千八百二十二貫。
 甘蔗。一億三千二百三十三萬八千三百十六貫。
 生蠟。三百二十七萬二千一百二貫。

茶畑一千町
以上アル
府縣ハ如何

茶ノ産額多
キ土地ヲ
多ク

漆汁。二萬八千五百二貫。

農産製品中、主要ナル製茶、製糖、醸造ノ三ヲ舉ゲン。

茶畑、一千町歩以上ノ府縣ハ、左ノ如シ。

東京。埼玉。千葉。茨城。群馬。静岡。三重。岐阜。滋賀。新潟。京都。奈良。

兵庫。愛媛。高知。福岡。熊本。鹿児島。

製茶ニ、玉露、煎茶、紅茶、番茶、等ノ別アレドモ、コレヲ合セテ、十萬貫以上ノ、産出アル府縣ヲ、舉ゲレバ。

埼玉。茨城。静岡。愛知。三重。岐阜。滋賀。石川。新潟。京都。奈良。和歌山。

兵庫。岡山。廣嶋。山口。嶋根。徳嶋。愛媛。高知。福岡。熊本。大分。宮崎。

鹿児島。

砂糖ノ原料ハ、甘蔗ト、甜菜トノ二種ニシテ、其ノ種類ニハ、白下、黒砂糖、糖蜜

三益等アリ。産額多キ土地ヲ舉ゲレバ。

白下〔静岡。大坂。和歌山。岡山。廣嶋。徳嶋。香川。愛媛。高知。宮崎。鹿児島。〕
北海〔北海道。〕 臺灣。

砂糖ノ主産
地ヲ同フ

黒砂〔静岡。愛知。和歌山。高知。長崎。福岡。熊本。鹿児島。〕

糖蜜〔静岡。兵庫。岡山。廣嶋。徳嶋。香川。愛媛。高知。福岡。宮崎。鹿児島。〕

三益〔千葉。愛知。徳嶋。香川。〕

油ノ原料ハ、わらな、わたのみ、えのみ、とま等ニシテ、食料、又ハ、燈火用

工器用ニ供セリ。多額ノ産出アルハ。

大阪。福岡。三重。愛知。岐阜。等トス。

米、麥等ノ穀物ヨリ、醸造搾取スルヲ、醸造業ト云フ。酒類ニ、清酒、濁酒、焼

酎、酒精、白酒、味淋、及、銘酒アリ。

酒類ノ産石高、十萬石以上ノ府縣ハ。

茨城。長野。愛知。新潟。京都。大阪。兵庫。岡山。廣嶋。山口。愛媛。福岡。

等トス。

醤油産石高、五萬石以上ノ土地ハ。

千葉。茨城。愛知。兵庫。岡山。香川。等ノ如シ。

(五) 我が國ニ於ケル鑛業ノ一斑ヲ説ク

酒ノ産石高
十萬石以上
ノ土地ヲ列
シ

答 地中ニ、埋没セル諸礦物ヲ、採礦、冶金スルヲ、鐵業ト云フ。近來、大ニ、其ノ業、發達シテ盛ニ製煉スルニ至レリ。而シテ、其ノ坑數、及、産額、年々、歲々増加セリ。人世、礦物中、金銀ヲ以テ、至重至貴ノモノトナセドモ、人生ニ、直接ニ効用ヲ與ヘ、工業ノ發達上進ヲ助クル礦物ハ、鐵ト、石炭トニ及ブモノナシ。今、多額ノ産地ト、産額多キ礦物トナ、左ニ述ベシ。

官行鐵山

金 (六十一貫六百八十二匁) (佐渡) (八十一貫四百九十二匁)
十九貫八百一十一匁 (生野)

銀 (二千四百十九貫七百六十匁) (佐渡) (二千七百七十四貫六百九十六匁)
(二千三百五十四貫九百三十六匁) (生野)

銅 (二萬六千二百一十一貫) (佐渡) (三萬九千五百七十五貫)
(一萬八千九百五十四貫) (生野)

鉛 (二萬八千六百二貫) (佐渡) (四萬三千二百四十五貫)
(一萬四千六百四十三貫) (生野)

銑鐵 三十一萬五千六百貫 (廣嶋)

石炭 三千三百四十八萬斤 (筑前炭山)

佐渡生野
於ケル
金銀ノ
高チ開
出

一貫匁以上
ノ金ノ産出
アル土地ヲ
指シテ

民行鐵山

一貫匁以上ノ金ヲ、産スル土地ハ。

山梨、十一貫一百四十五匁。石川、四貫八百七匁。新潟、二貫二百二十三匁。福嶋、九貫五百八十八匁。宮城、一貫四百九十六匁。秋田、二十四貫五百四十四匁。岩手、一貫三百五十七匁。嶋根、二貫九百九十七匁。鹿兒嶋、五十四貫九百七十四匁。北海道、三貫七匁。臺灣、大約、七十三貫 等ナリ。

十貫匁以上ノ銀ヲ、産出スル土地ハ。
群馬、三十四貫四百五十五匁。岐阜、二千三百三十六貫四百八十一匁。福井、二百三十八貫三百四十五匁。富山、二十五貫五百六十四匁。福嶋、一千七百六十一貫五百七十九匁。宮城、四百四十四貫四百五十七匁。秋田、八千八百五十九貫七百三匁。兵庫、四百九十七貫四百三十七匁。岡山、五百三十五貫九百八十匁。嶋根、七百六十五貫七百五十一匁。鹿兒嶋、一百十貫四百五十二匁。北海道、三十五貫四百四十六匁。
銅ヲ産スルコト、一萬貫以上ノ土地ハ。

銅ト鐵トノ

栃木。群馬。岐阜。福井。石川。新潟。宮城。山形。秋田。岩手。奈良。和歌山。兵庫。岡山。山口。嶋根。徳嶋。愛媛。高知。福岡。熊本。宮崎。十萬貫以上ノ鐵ヲ、産スル土地ハ。岩手。廣嶋。嶋根。鳥取。等ナリ。石炭ノ産出、十萬斤以上ニ達スル土地ハ。茨城。群馬。長野。山梨。三重。岐阜。滋賀。石川。富山。新潟。福嶋。宮城。山形。秋田。和歌山。岡山。山口。嶋根。徳嶋。長崎。佐賀。福岡。熊本。沖繩。北海道。臺灣。等トス。硫黄ノ産出、十萬貫以上ニ達スル土地ハ。宮城。秋田。青森。北海道。臺灣。等ナリ。其ノ他、あんちもにい、まんがん、錫、綠礬、砒屬、水銀、石油、黒鉛、硫化鐵等ノ産地、産額、尠シトセス。而シテ、金屬ノ鑛區坪數ハ、六千五十九萬五千二百六十坪ナリ。非金屬ノ鑛區坪數ハ、一億二千六百四十一萬二千七百九十九坪ノ多キニ至レリ。又、陶磁器ノ原料ナル、陶土。産出モ、亦、頗、盛ナリ。

(吾) 我が國ニ於ケル工藝ハ如何

答 我が國ニ於ケル工藝ハ、未、充分ナル發達ヲ見ザレドモ、將來ニ於テハ、一ノ工藝國タルノ資格ヲ有セリ。ユレ他ナシ、我が國、其ノ原料ハ、夙ニ豊富ニシテ、又、國民ハ、美術ノ思想ニ富ミ、且、手藝ニ長ズレバナリ。然レドモ、從來、其ノ規模小ニシテ、宏大ナル製造場ニ乏シク、且、工業者ノ學術ニ疎キヨリ、カ、ル長所アルニモ係ラズ、他邦ニ比シテ、巨額ノ工藝品ヲ出サザルハ、最、遺憾トスル所ナリ。然ルニ、近來ハ、官民共ニ、此ニ注目シテ、我が短ヲ補フニ、彼ノ長ヲ以テシ、其ノ規模ヲ大ニシ、以テ皇國ノ工業ヲ隆盛ナラシメンコトニ孜々マレバ、其ノ隆盛ヲ見ルコト、近キニ在リ。

我が國ノ、古來ヨリ特ニ發達セル工業ハ、建築、及、彫刻ノ技ニシテ、コレニ次ケテ、織物、陶器、漆器金屬細工トス。近年ニ至リ、更ニ、造船、製鐵、製絨、製紙、紡績、硝子、煉瓦等ハ、專、蒸氣機關ノ力ヲ以テ、製造スルニ及ベリ。コレヲ要スルニ、我が國ノ工業ハ、專、美術上ノ手藝品ニ止リ、機械ヲ以テスルモノ、殆、僅ニ、手腕ノ勞ヲ省クニ過ギザル粗糲ノモノニシテ、彼ノ歐洲各國ニ於ケル

カ如キ、蒸氣、電氣ノ諸力ヲ以テ、終始、本末、機械ヲ使用スル所ノ機械工業ト
ハ、大ニ、其ノ趣ヲ異ニセリ。ユレ、今日ニ在リテハ、正ニ、彼ノ長所ヲ機械
工業ヲ盛ニシ、實用的製産物ヲ多量ニ製出スルユツ、富國ノ道ニ協フベケレ。
今、左ニ、各種工藝品、製出ノ統計ヲ記述セン。

綿絲業

綿絲産額。一千四百六十二萬八貫。(明治二十七年間)

紡績所名。

- 東京。
- 東京。鐘淵。
- 京都。
- 藤井。
- 大阪。
- 大阪。攝津。天滿。浪華。平野。金巾。泉州。朝日。福嶋。岸和田。堂原。
- 堺。明治。桑原。天滿織。

紡績所ノ多
キ土地ヲ示

- 兵庫。
- 尼ヶ崎。姫路。
- 栃木。
- 下野。
- 奈良。
- 郡山。前川。
- 三重。
- 三重。
- 愛知。
- 尾張。名古屋。愛知。
- 静岡。
- 嶋田。遠江。
- 山梨。
- 渡邊。

四國鳴下九
州鳴下ニ於
ケル紡績所
多キ土地ヲ
示セ

宮城。

宮城。

岡山。

岡山。玉崎。倉敷。下村。

廣嶋。

廣嶋。福山。

和歌山。

和歌山。

香川。

小豆嶋。

愛媛。

伊豫。松山。宇和。

福岡。

三池。久留米。

絹織物ノ總
反數トナリ
額トナリ

鹿兒嶋。

鹿兒嶋。

其ノ錘數ノ總計ハ、五十三萬七千四百本ニシテ、大阪ハ、各府縣ニ冠絶セリ。而シテ、孰レモ、洋製機械取ト、和製機械取トノ二種アリテ、洋製機械取、盛ニ行ハル。

織物業 本業ハ、日常、必須ナル布ヲ、供給スルノミニ止ラズ、又、裝飾的織物ノ需要ヲ充シ、海外諸國ニ輸出スルニ至レドモ、改良上進ノ餘地ナキニアラズ、營業者ノ、最、注意ヲ要スル所以ナリ。

反物。

絹

織 (六百八十六萬五千五百九十九反。)

木綿

織 (四千三百六十二萬二千九百六十四反。)

絹綿交織

(三百六十萬一千五百六十三反。)

其ノ他 (二百二十三萬八千三百二十三反。)

織物類 (三百二十六萬七千四百三十六反。)

帶地ノ反物
ト其ノ産出數
ト其ノ價格
明セ

右ノ四種類、産出價格、一百萬圓以上ニ達セル府縣ハ、左ノ如シ。
東京。埼玉。栃木。群馬。山梨。愛知。岐阜。滋賀。福井。石川。新潟。福
嶋。京都。大阪。奈良。和歌山。愛媛。
帶地。

絹織
男 三十七萬三千七百九十一本。
女 一百六十九萬四千四十五圓。
男 十五萬四千五百四十四本。
女 一百二十九萬五千七百二十六圓。

木綿
男 五十七萬二千三百九十八本。
女 十九萬一千二百九圓。
男 六十三萬九千九百三十一本。
女 四十二萬六千九百八圓。

交織
男 十萬三千一百一十二本。
女 二十六萬一千三百圓。
男 一百四十三萬七千二百七十一本。
女 三百五十六萬四千十七圓。

製出價格、一百萬圓以上ノ府縣ヲ舉ゲレバ、左ノ如シ。
東京。埼玉。栃木。群馬。山梨。愛知。岐阜。滋賀。福井。石川。新潟。福嶋。
京都。大阪。奈良。和歌山。愛媛。

帶地ノ産額
多ク土産ナ
示セ

窯業ノ盛ナ
ル土地ハ如
何

織物製造高總價格、一億九百八十九萬九千三百七十九圓。

窯業、陶器、磁器、七寶器、玻璃器、煉瓦、石炭等ヲ製出スルナ、窯業ト稱ス。

陶磁器製造價格、一萬圓以上ノ府縣、左ノ如シ。

東京、(二六六三九圓)。茨城、(一七三二五圓)。栃木、(二二八七二圓)。長野、
(一〇六九五圓)。愛知、(九九二一〇二圓)。三重、(五二七五〇圓)。岐阜、(一
一三三九一三圓)。滋賀、(三一九一九圓)。石川、(二八六二七五圓)。新潟、(一
四四二四圓)。福嶋、(七八五二〇圓)。山形、(一二五四〇圓)。京都、(三一四
一八四圓)。大阪、(三〇三五二圓)。兵庫、(六七四六三圓)。岡山、(一八〇五
三圓)。山口、(三四三五九圓)。嶋根、(三八〇三六圓)。徳嶋、(一〇七七五圓)。
香川、(一〇五八六圓)。愛媛、(九七一九六圓)。長崎、(二〇九一八圓)。佐賀、
(四九七六二二圓)。福岡、(二六三八三圓)。熊本、(一五六〇三圓)。鹿児島、
(二八〇八一圓)。

陶器ノミ、製出價格、一萬圓以上ノ府縣、左ノ如シ。

東京。茨城。栃木。長野。愛知。三重。岐阜。滋賀。石川。新潟。福嶋。

京都。大阪。兵庫。岡山。山口。嶋根。徳嶋。香川。佐賀。福岡。熊本。鹿兒嶋。

磁器ノミ、製出價格、一萬圓以上ノ府縣、左ノ如シ。

愛知。岐阜。石川。福嶋。京都。兵庫。愛媛。長崎。佐賀。

陶磁器價格。

三百九十三萬一千三百八十四圓。

陶器。

一百十九萬一千四圓。

磁器。

二百七十四萬三百八十圓。

玻璃器製作ノ業ハ、進歩著シカラズト雖、煉瓦、石灰ノ製造ハ、日チ逐ヒテ、隆盛ニ赴クノ兆アリ。

摺附木製造。摺附木ハ、其ノ價、至リテ廉ナレドモ、需用夥シキヲ以テ、其ノ産額ハ、五百萬圓以上ニ達セリト云フ。營業者、勵精一番、改良上進ヲ計リ、愈々

陶器ト磁器トノ價格ノ差如何

摺附木ノ産額多キ土地ハ如何

輸出ヲ勉メ、益、信用ヲ得ルニ至ラバ、國利民福ヲ増進スルニト、豈ニ難シトセシヤ。

摺附木産額 一千九百四萬五千三百六十クross。四百六萬八千三百十四圓。

一萬圓以上ノ、産額アル府縣ハ、左ノ如シ。

東京。 三〇一五五二圓。

神奈川。 二九一〇〇圓。

静岡。 九二三四七圓。

愛知。 三三五六二二圓。

石川。 三六二八八圓。

大阪。 六三二二七一圓。

兵庫。 二四七八八〇五圓。

岡山。 二五五〇九圓。

廣嶋。 三六四七一圓。

香川。 二二三三四圓。

愛媛 一八三五九圓。

和紙ノ産額多キ府縣ハ如何

其ノ他、製紙業ハ、我が國、往昔ヨリ存在セル生業ノ一ニシテ、其ノ原料ニ供セシハ、楮、三桠、雁皮等ナリ。和紙ニハ、半紙、美濃紙、杉原、奉書、烏子ナドノ種類アリテ、其ノ質、堅韌ナリ。近來、當業者ガ、銳意熱心、改良ヲ計畫シツ、アルヲ以テ、改良半紙、改良美濃、模造紙等アリテ、活潑美麗ナリ。洋紙ハ、其ノ質、脆弱ニシテ、原料ハ、樅、桑、柳、莖、稗、澁襖等ヲ用サルヲ通例トス。和洋紙産額ハ、五百八十九萬圓ナリトス。和紙ノ産額多キ府縣ハ、高知、愛媛、静岡、岐阜、長野。洋紙ノ産額多キハ、東京、兵庫、大阪、福岡ナリ。漆器ハ、宇内萬國ニ比類ナキ、本邦特有ノ技藝ナリ。然レトモ、未、著シキ改良上進ヲ見ズ、故ニ、其ノ産額モ、僅ニ、二百萬圓内外ナリ。産地ノ主ナルモノハ、京都、福岡、東京、和歌山、大阪、静岡、石川、福井、沖繩等ナリ。皮革ヲ製スル事業ハ、本邦、元來、牧畜ノ業振ハザルト、穢多、非人ノ業トシテ、賤シミタルトナリテ、進歩發達セズ。現今ハ、洋靴、革包、革細等、行ハル、チ以テ、牛皮、馬革ノ需用、日一日トシテ増スチ以テ、其ノ事業ノ上進ヲ見ル近キ

皮革ノ主要ナル産地ヲ

ニアラン。主要ナル産地ハ、東京、大阪、兵庫等ニシテ、其ノ産額、蓋、一百四十萬圓内外ナラン。

圓筒、三角筒トイヘル二種ノ植物ヲ以テ、製作セル日用ノ必需品アリ。即、墨表、吳座ナリ。圓筒ニテ、編ミタルモノハ、柔軟ニシテ、光澤アリ。三角筒ヲ以テ、編ミタルモノハ、堅韌ニシテ、光澤ナシ。重ナル産地ハ、岡山、廣嶋、大分、静岡、沖繩等ニシテ、産額ハ、殆、二百萬圓ナリ。其ノ事業モ、亦、改良進歩セバ、海外ニ輸出スルユトヲ得ベシ。

將來、進歩發達ヲ希圖スベキモノ、枚擧ニ遑アラズ、今、左ニ、其ノ大要ヲ述ベン。麥稈紐。銅器。鐵器。刃物。金物。木具。竹細工。蝙蝠傘。傘。扇子。團扇。提灯。書籍。筆。墨。活版。石版。銅版。電氣版。錦繪。等トス。

(五) 我が國商業ノ概況ヲ述ベヨ

答 商業ハ、數多ノ生業中ニ於テ、最、有力ニシテ、最、有望ナルモノナリ。ユノ業ヲ大別スレバ、二種アリ、日、内國商業、日、外國商業ユレナリ。内國商業ハ、國內、各處ニ行ハル、處ノ商業ニシテ、日ニ増シ、發達シツ、アルモノ、如

内國商業ト外國商業トノ區別ト明セ

シ、ユレ、蓋、日ニ月ニ交通ノ便ノ開クルト、商品ノ改良増加ト、該業者ノ發達
 妨礙トノ三番、大ニ與リテ方アルセシ。外國商業、即、貿易業ハ、東洋ノ諸國ハ
 勿論、南洋、及、西洋ノ各國ヲ敵手トシテ、彼我ノ物品ヲ貿易賣買スルモノナレ
 バ、内地人ヲ接遇スルト、大ニ其ノ趣ヲ異ニス、故ニ、營業者ハ、膽大ニシテ、
 活潑敏捷、能ク彼我ノ事情ニ通セザレバ、莫大ノ利潤ヲ、占ムルコト能ハサルヤ
 必セリ。而シテ、内國商業ト、外國商業ト、隔離スベキモノニアラズ、恰、車ノ
 而輪、鳥ノ兩翼ニ於ケルガ如ク、唇齒輔車ノ關係大ナレバ、相共ニ、提携進歩セ
 サルベカラズ。

輸出入總額 ※ハ輸出超過

年次	輸出品	輸出入全額	輸出超過
明治二七	一、二一三、〇八九	一、二一三、〇八九	八三六、八二六
全二六	九〇四、九九九	二、三四九、六二六	一〇六、四七五
全二五	九一七、八五五	一、七九七、五三三	一五三、二〇九
全二四	七九五、五五三	一、六七三、〇八九	一五七、四〇一
全二三	五六六、八七〇	一、三三三、三六〇	二五、四九一
全二二	七〇七、九八九	一、三三三、三六〇	三九四、三七八
全二一	六五七、六五一	一、三三三、三六〇	二、七九〇

明治二十七年
 輸出ニ於ケル
 輸入ノ如何ナル
 感アリヤ

年次	輸出品	輸出入全額	輸出超過
明治二七	五二四、〇七六	一、〇四一、〇七五	七〇、七九一
全二六	四八八、〇五二	八六五、〇七六	一一三、三三三
全二五	三七一、〇五七	六九八、五七四	四三、六三三
全二四	三三九、八四〇	六六一、四〇四	一八、八三三
全二三	三八五、六一〇	七〇五、〇六五	六五、〇一五
全二二	三九四、九三三	七三三、四二六	六五、五〇〇
全二一	三三〇、三六二	六八三、三三〇	三〇、五〇六
全二〇	二九三、七三〇	七〇四、五三三	一一、八三三
全一九	二八七、二七二	六五九、四四八	八二、〇〇〇
全一八	九〇八、八二二	一、八〇五、五五九	一一七、九七六
全一七	九〇八、八二二	一、八〇五、五五九	一一七、九七六
全一六	九〇八、八二二	一、八〇五、五五九	一一七、九七六
全一五	九〇八、八二二	一、八〇五、五五九	一一七、九七六
全一四	九〇八、八二二	一、八〇五、五五九	一一七、九七六
全一三	九〇八、八二二	一、八〇五、五五九	一一七、九七六
全一二	九〇八、八二二	一、八〇五、五五九	一一七、九七六
全一一	九〇八、八二二	一、八〇五、五五九	一一七、九七六
全一〇	九〇八、八二二	一、八〇五、五五九	一一七、九七六
全九	九〇八、八二二	一、八〇五、五五九	一一七、九七六
全八	九〇八、八二二	一、八〇五、五五九	一一七、九七六
全七	九〇八、八二二	一、八〇五、五五九	一一七、九七六
全六	九〇八、八二二	一、八〇五、五五九	一一七、九七六
全五	九〇八、八二二	一、八〇五、五五九	一一七、九七六
全四	九〇八、八二二	一、八〇五、五五九	一一七、九七六
全三	九〇八、八二二	一、八〇五、五五九	一一七、九七六
全二	九〇八、八二二	一、八〇五、五五九	一一七、九七六
全一	九〇八、八二二	一、八〇五、五五九	一一七、九七六
總計	九〇八、八二二	一、八〇五、五五九	一一七、九七六

年次	輸出品	輸出入全額	輸出超過
明治二七	三三六、七九〇	二、八三六、八九一	六三三、〇九五
全二六	二二五、九〇〇	一一二九、一一八	一一九、九二一
全二五	九九五、五九九	三三〇、五三七	一三〇、七六五
全二四	一八八、一一四	一四〇、五九〇	一一七、七九三
全二三	二五、九五四	一四一、二八六	一一七、七九三
全二二	五三〇、七四九	一四二、五〇七	八九、〇七五
全二一	七九四、四九九	八七、九三三	八四、九八〇
全二〇	一一〇、四五二	一一〇、二五三	八、二九九
全一九	九七九、九四五	一〇五、一九三	七五、二四七
全一八	四五〇、六六六	八六、六三六	四一、九六九
全一七	五三三、八〇〇	六二五、九三三	九二、一三七

全一六	三三五、八四七、八	六五八、四二二、七	三三二、五七三、八
全一五	四六七、四一四、五	七〇四、九三三、七	二二七、五一九、二
全一四	七九五、二八〇、一	二二七、一三三、六	五五八、一七六、五
全一三	一四三六、九六七、五	三八〇、八四四、九	一〇五六、一三三、六
全一二	一三三三、七六二、三	三三二、八〇〇、四	一〇四〇、九六一、九
總計	一、六二三九、〇五八、四	一、六〇八三、四九五、四	五五、五六三、〇

前表ノ如ク、我が國ノ貿易ノ現象ハ、大畧、輸出額ノ輸入額ニ超過スルハ、喜ブベキガ如シト雖、退キテ、輸入品ト輸出品トチ、詳細ニ查察スレバ、憂苦措ク能ハズ。コレ輸入品ハ、工藝的製作物夥多ニシテ、輸出品ハ、原料的物夥多ナルヲ以テナリ。加之、日用必需ノ輸出品少ク、多クハ、奢侈贅澤ニ屬スルモノ多シ。内外ノ商業ニ從事スルモノ、共同一致、コレガ改良進歩チ、希圖セザルベカラズ。

輸出品ノ、主要ナルモノ。

生絲類。絹布類。茶類。穀物類。燃料類。日用品類。(摺附木)金屬器類。魚介類。金屬類。編物類。陶器類。磁器類。玻璃類。染料類。海草類。綿類。綿布類。裝飾品類。

輸入品ノ重用ナルモノ。

輸出品ノ主要ナルモノ

重用ナル輸

入品ハ如何

我が國ノ貨物ヲ購入スル諸國ハ

綿花類。砂糖類。綿絲類。穀物類。粉類。毛絲類。毛織類。綿布類。金屬類。油類。機械類。製革類。交織類。染料類。車輛類。船艦類。皮革類。金屬器類。

我が國ノ貨物ヲ、購入スル重ナル諸國。

北米合衆國。英領亞米利加。英吉利。佛蘭西。獨逸。瑞西。白耳義。伊太利。澳地利。土耳其。露西亞。樺太嶋。西班牙。瑞典。諾威。和蘭。英領東印度。暹羅支那。香港。朝鮮。比律賓諸嶋。布哇。濠太刺利。等

輸出入物品元價、各港別左ノ如シ。(二十七年)

横濱	輸出	七三〇一、五六七八圓
神戶	輸出	五〇四四、七三七二圓
大阪	輸出	二九四三、八一三三圓
長崎	輸出	五九九一、〇五〇三圓
函館	輸出	七六、四三六八圓
長崎	輸入	四〇一、四八一三圓
函館	輸入	三五五、八七一三圓
長崎	輸入	五四一、三七四八圓
函館	輸入	六六、八四七三圓
函館	輸入	五、五四二二圓

九州鳴門於
ケル輸出
ケル輸入
物品元價ノ
各港別チ價ノ
ヲ別チ問フ

新 潟	輸 入	二、二五五三圓
輸 出	二、一八一四圓	
宮 津	輸 入	五二〇圓
輸 出		
下ノ 關	輸 入	二三四、三五七〇圓
輸 出	五三、六五九一圓	
博 多	輸 入	三三八四圓
輸 出	一、五六七五圓	
嚴 原	輸 入	一、三一八五圓
輸 出	三、一四〇七圓	
鹿 見	輸 入	九八九〇圓
輸 出	六一五三圓	
佐須奈	輸 入	七六一六圓
輸 出	五〇五三圓	
口ノ 津	輸 入	一五六、八〇五二圓
輸 出		
唐 津	輸 入	二五、二八四二圓
輸 出		
門 司	輸 入	一四一、七九五九圓
輸 出		

貿易港三種
ノ別チ問フ

三 角	輸 入	二、二一八八圓
輸 出		
伏 木	輸 入	一、〇七三九圓
輸 出	一、七三二四圓	
小 樽	輸 入	一九、九六一一圓
輸 出	六〇九一圓	
室 蘭	輸 入	二、八六二七圓
輸 出		
總 計	輸 入	一、二三三四、六〇八六圓
輸 出	一、二七四八、一九五五圓	

商港トハ、商品ノ運輸ニ從事スル船舶ノ出入碇繋スル處ニシテ、コレチ別チテ、二種トス。一般商船ノ出入スル處チ、普通商港ト云ヒ、通商貿易ニ從事スル船舶ノ碇繋スル處チ、貿易港ト云フ。

貿易港チ別チテ三トス、普通貿易港、特別貿易港、特別輸出港、コレナリ。
普通貿易港トハ、我が國ト、通商條約ヲ締結シタル各國ト、普通一般ノ貿易賣買ニ從事スル處チ云フナリ。

特別貿易港トハ、一國、若クハ、一港チ限リテ、普通ノ貿易賣買ニ從事スル處チ

普通貿易港
ヲ示セ

云フナリ。
 特別輸出港トハ、特別ノ物品ニ限り、大日本帝國臣民ノ輸出スルモノヲ得ル處ヲ
 云フナリ。
 普通貿易港ハ、六アリ。
 神奈川縣、武藏國、橫濱港。
 兵庫縣、攝津國、神戸港。
 大阪府、全、大阪港。
 長崎縣、肥前國、長崎港。
 北海道廳、渡嶋國、函館港。
 新潟縣、越後國、新潟港。
 特別貿易港モ、亦、六アリ。
 京都府、丹後國、宮津港。
 朝鮮ト、露西亞ノ浦鹽斯德トニ限ル。
 山口縣、長門國、下ノ關港。

特別貿易港
ヲ示セ

福岡縣、筑前國、博多港。
 長崎縣、對馬國、嚴原。
 全、全、鹿見。
 全、全、佐須奈。

特別輸出港ハ、十港アリ。
 ユノ五港ハ、朝鮮ノミニ限ル。

山口縣、長門國、下ノ關港。
 福岡縣、筑前國、博多港。
 長崎縣、肥前國、口ノ津港。
 全、全、唐津港。
 福岡縣、豐前國、門司港。
 長崎縣、肥前國、三角港。
 富山縣、越中國、伏木港。
 北海道廳、後志國、小樽港。

特別輸出港
ヲ示セ

三重縣、伊勢國、四日市港。
北海道廳、釧路國、釧路港。

ユノ十港ハ、米、麥、麥粉、石炭、硫黃ノ五品ニ限レリ。

前記、貿易港二十ヶ所ノ輸出入全計金額ノ多數ニヨリ、順次ニ記載スレバ、左ノ如シ。

横濱、神戸、大阪、長崎、下ノ關、門司、口ノ津、函館、唐津、小樽、盛原、新潟、鹿見、三角、博多、伏木、佐須奈、宮津、四日市、釧路。

五港ノ一ナル新潟港ノ如キハ、虚稱ノミ。

(五) 我が國ノ交通ニ關シテ詳細ニ記述セヨ

答 交通ノ目的ハ、旅客ノ往復、音信ノ發着、百貨ノ運輸、軍隊ノ送迎等チシテ速ナラシムルニ在リ。其ノ機關ノ主ナルモノハ、陸路ト水路トナリ。

道路 道路ニ、國道、縣道、里道ノ三種アリ。

國道 國道ハ、分チテ三等トス。其ノ一等ハ、東京ヨリ、各開港場ニ達スルモノニシテ、幅、七間ナリ。二等ハ、東京ヨリ、伊勢ノ大廟、及、各府縣廳、各

國道ト縣道トノ區別ヲ明記セヨ

師團本部ニ通ズルモノニシテ、幅、六間ナリ。三等ハ東京ヨリ、各府縣廳ニ達シ、及、各府縣廳、各師團本部チ接続スルモノニシテ、其ノ幅、三間ナリ。

縣道 縣道ハ、各府縣廳チ連接シ、又、各師團本部ヨリ、其ノ分營ニ達シ、及、各府縣廳ヨリ、郡、市、區役所ニ達スルモノニシテ、ユレチ二等ニ分チ、其ノ幅チ、四間、乃至、五間トス。

里道 里道ハ、唯、其ノ地ノ便利ニ從ヒ、一定ノ成規ナキモノナリ。

京都ハ、維新以前、歴代帝都ノ地ナリ。東京ハ、現今ノ首府タルチ以テ、諸國ノ道路ハ、皆、ユノ二府チ起點トシテ、四方、八面ニ分派通達セリ。

鐵道 鐵道ハ、交通チ輔クル必要ナルモノニシテ、其ノ有無、及、線路ノ長短ハ實ニ、一邦國ノ商業貿易ハ勿論、工業等ノ盛衰隆替チ、左右スルモノ、第一ナリ殊ニ、歐米大陸ノ如キハ、海ノ遠キチ以テ、最、其ノ必要チ見ルナリ。ユレニ反シ、我が國ハ、海近キガ故ニ、鐵道ノ布設、尙未、普カラザルモ、船舶チ以テ、其ノ便チ補ヒ得ベシ。然レトモ、内地トノ交通、及、太平洋沿岸ヨリ、日本海沿岸ノ諸地方ニ到ル場合ノ如キハ、大ニ、鐵道ノ便ニシテ、船舶ノ迂遠ナルヤ明ク

シ。況ヤ、日本海ハ、結氷ノ妨アレバ、一歲中、其ノ過半ハ、航行ノ絶ユルコトアルニ於テチヤ。凡、鐵道ニハ、單線ト、複線トノ二様アリテ、其ノ用便ノ最、多キハ、複線ノ制ニ成レルモノトス。

我が國鐵道ノ開始ハ何年ナリヤ

官設鐵道ノ線路ヲ明記セヨ

私設鐵道株式會社アリヤ若

我が國ノ鐵道ハ、明治五年、始メテ東京ト、横濱トノ間ニ官設セシヨリ、尋ギテ神戸、大阪、及、京都ノ間ニ開通シ、其ノ後、年々、私立鐵道會社相踵ギテ起リ線路、日ニ月ニ延長シ、一層交通ノ便ヲ關キタリ。官設、私設ノ各鐵道(明治二十八年三月三十一日調査)
官設鐵道、新橋ヨリ、神戸。大船ヨリ、横須賀。大府ヨリ、武豐。米原ヨリ、金ヶ崎。高崎ヨリ、直江津。馬場ヨリ、大津。深谷ヨリ、長濱。福嶋ヨリ、弘前、青森。敦賀ヨリ、富山。
線路長 九七九哩六六〔既成線 五八〇哩八六 未成線 三九八哩八〇〕
私設鐵道株式會社
日本、秋葉ノ原ヨリ、青森。品川ヨリ、赤羽。大宮ヨリ、前橋。宇都宮ヨリ、

我が國ノ最長キ鐵道線路ヲ示セ

日光。小山ヨリ、那珂川。岩切ヨリ、鹽籠。尻内ヨリ、湊。田端ヨリ、友部。水戸ヨリ、岩沼。
線路長 七九九哩八二〔既成線 五九六哩八一 未成線 二〇三哩〇一〕
山陽、神戸ヨリ、赤間ヶ關。兵庫ヨリ、和田崎町。
線路長 三三二哩五九〔既成線 一九一哩五八 未成線 一三〇哩〇一〕
九州、門司ヨリ、三角。鳥栖ヨリ、長崎。有田ヨリ、佐世保。宇土ヨリ、八代。小倉ヨリ、行橋。
線路長 二七二哩〇七〔既成線 一四六哩三一 未成線 一二四哩七六〕
北海道炭礦、室蘭ヨリ、歌志内。追分ヨリ、夕張。手宮ヨリ、幌内。幌内太ヨリ、幾春別。砂川ヨリ、空知太。
線路長 二〇四哩八九〔既成線 二〇四哩八九〕
關西、草津ヨリ、名古屋。龜山ヨリ、津。柘植ヨリ、奈良。
線路長 一一三哩一七〔既成線 六六哩四四 未成線 四六哩七三〕
筑豊、若松ヨリ、金田。直方ヨリ、飯塚。小竹ヨリ、幸袋。飯塚ヨリ、白井。

甲武鐵道
總武鐵道
比較如何

線路長 三八哩五九〔既成線〕 三四哩二五
〔未成線〕 四哩三四

大阪、湊町ヨリ、奈良。王寺ヨリ、櫻井。天王寺ヨリ、梅田。

線路長 四五哩三〇〔既成線〕 三八哩五九
〔未成線〕 六哩七一

兩毛、小山ヨリ、前橋。

線路長 五二哩二一〔既成線〕 五二哩二一

甲武、八王子ヨリ、飯田町。

線路長 二六哩九六〔既成線〕 二六哩四六
〔未成線〕 〇哩五〇

總武、本所ヨリ、佐倉。

線路長 三一哩五〇〔既成線〕 三一哩五〇

參宮、津ヨリ、宮川町。

線路長 二三哩七三〔既成線〕 二三哩七三

播但、飾磨ヨリ、生野。

線路長 三一哩四五〔既成線〕 二三哩
〔未成線〕 八哩四五

阪界鐵道
川越鐵道
所在ヲ云

阪堺、難波ヨリ、堺。

線路長 六哩二八〔既成線〕 六哩二八

讃岐、九龜ヨリ、琴平。

線路長 一〇哩一九〔既成線〕 一〇哩一九

川越、國分寺ヨリ、川越。

線路長 一八哩五〇〔既成線〕 一八哩五〇

攝津、尼ヶ崎ヨリ、池田。伊丹ヨリ、生瀬。

線路長 一四哩四四〔既成線〕 八哩四四
〔未成線〕 六哩〇〇

釧路、標茶ヨリ、跡佐登。

線路長 二六哩八四〔既成線〕 二六哩八四

伊豫、高濱ヨリ、平井河原。立花ヨリ、森松。

線路長 一三哩〇三〔既成線〕 一〇哩二四
〔未成線〕 二哩七九

青梅、青梅ヨリ、立川。日向、和田ヨリ、青梅。

線路長 一三哩〇九〔既成線〕 一哩五〇
〔未成線〕 一哩五九

官設鐵道ト
私設鐵道ト
ノ線路ノ比
較如何

佐野、葛生町ヨリ、越名河岸。
線路長 九哩六八〔既成線 九哩六八〕
奈良、奈良ヨリ、京都。
線路長 二五哩六六〔未成線 二五哩六六〕
南和、高田ヨリ、五條。
線路長 一六哩五〇〔未成線 一六哩五〇〕
房總、蘇我町ヨリ、大網町。
線路長 一一哩九四〔未成線 一一哩九四〕
豐州、四日市ヨリ、伊田。
線路長 四二哩〇〇〔未成線 四二哩〇〇〕
太田、太田ヨリ、水戸。
線路長 一二哩二三〔未成線 一二哩二三〕
南豫、松山ヨリ、郡中。
線路長 六哩七一〔未成線 六哩七一〕

日本全國ノ
鐵道ノ線路
長如何
但シ臺灣
ヲ除ク
我が國ノ水
路ノ一般ヲ
示セ

道後、道後御寶町ヨリ、古町。
線路長 三哩〇九〔未成線 三哩〇九〕
浜邊、大阪ヨリ、北條。
線路長 八哩一六〔未成線 八哩一六〕
初瀬、奈良ヨリ、櫻井。
線路長 一二哩二一〔未成線 一二哩二一〕
合計
線路長 一二二一〇哩八三〔既成線 一五三七哩四四〕
未成線 六七三哩三九〕
總計
線路長 三一九〇哩四九〔既成線 二二一八哩三〇〕
未成線 一〇七二哩一九〕
水路 水路モ、亦、大ニ、交通上、裨益ヲ與フルユト著シ、我が國ノ如キハ、殊ニ
然リトス。而シテ、水路ノ中ニハ、航海アリ、航河アリ、航湖アリ、或、人工ヲ
以テ、開掘シタル運河ト稱スルモノアリ。
我が國ハ、嶋嶼國ナルヲ以テ、海運ノ便ニ富メルハ、自然ノ結果ニシテ、其ノ航

路ニ、沿岸航路ト、遠洋航路トノ二種アリ。
 陸地内ノ河流モ、亦、往々、小蒸氣船ヲ通ズルモノアレドモ、多クハ、其ノ下流
 チ、來往スルノミニシテ、中流以上ニ湖ルモノ稀ナリ。ソレ、河運ノ利用、未、盛
 ナラザル所以ナリ。
 沼湖ニシテ、漕運ノ利便ヲ與フルモノハ、琵琶湖、霞ヶ浦、北浦、猪苗代湖、宍
 道湖、中海等ノ數者ニ過ギス。
 運河ニ至リテハ、僅ニ、大阪、東京、京都、其ノ他、都會ノ地ニ於ケルモノ、及
 利根ノ堀割等ナリ。

西洋形商船

五十噸未満

蒸氣 三百七十隻。

風帆 五百六隻。

五十噸以上、一百噸以下、

蒸氣 一百三十八隻。

西洋形蒸氣船ノ總數ヲ問フ

風帆 一百四十一隻。
 百噸以上、五百噸未満、
 蒸氣 一百四十六隻。
 風帆 七十一隻。
 五百噸以上、

蒸氣 九十一隻。

風帆 四隻。

合計

蒸氣 七四五隻、噸數、一六、九四一四、

風帆 七二二隻、噸數、四、三五二一、

日本形商船

五十石以上、一百石未満、

八二三〇隻。

一百石以上、五百石未満、

八三二〇隻。

五百石以上、一千石未満、

五八〇隻。

一千石以上、

一〇八隻。

合計

船數

一、七二三八隻。

石數

二八六、五七五九隻。

日本郵船株式會社所有船舶

船數、七二隻。噸數、五、四八七二。馬力、八八三〇。

大阪商船株式會社所有船舶

船數、五七隻。噸數、一、一五九八。馬力、二三三三。

日本郵船株式會社收入

船客 二四、〇二三五人。

荷物 一三九、二四八〇噸。

運賃 四三七、四三三八圓。

大阪商船株式會社收入

船客 九九、九四四二人。

日本郵船株式會社
大阪商船株式會社
業務ノ景況
如何

我が國沿岸
航路ノ主幹
ナルモノヲ
示セ

荷物 五六〇、七四九三噸。

運賃 一〇三、二二五八圓。

沿岸航路ノ主幹ナルモノ、左ノ如シ。

横濱—神戸—赤間ヶ關—長崎 七一七哩

横濱—荻濱—函館—小樽 七五四哩

其ノ他、各要港ト、各地トノ間ニアル航路ハ、夥多ニシテ計フルニ遑アラズ。

船舶ノ航行ハ、日夜ノ別ナキヲ以テ、其ノ航路ノ適宜ナル地岬、若シハ、嶋嶼ニ

燈臺ヲ設ケテ、航海者ノ便ニ供シ、又暗礁アルヲ示ス爲ニ、浮標ヲ設置セル處少

カラズ。

燈臺、及、浮標ノ構造ニハ、其ノ形色種々アレドモ、要スルニ、遠見分明ナラシム

ルニアリ。

内國通運株式會社

貨幣取扱高 一三五八、六二八一圓。

荷物 三、〇五六六、〇五四七斤。

陸運會社ノ
種類ヲ舉ゲ

運賃 一八三、九五七五圓。

日本運輸株式會社

荷物 三四九六、三三三九圓。

運賃 一一、七二八二圓。

郵便 郵便ハ、明治四年、始メテ、三府ノ間ニ線路ヲ開キテヨリ、相尋ギテ、東京ト、横濱トノ間ニ設ケ、ユレヨリ、漸次ニ、各地ノ都邑ニ連接シ、僅ニ、十有餘年ヲ經テ、寒村僻地ニ至ルマデ、相通セサル處ナク、數百里ノ遠キモ、數日ヲ出デスシテ、音信ヲ通ズルユトヲ得ルニ至レリ。

郵便線路

實里數

普通道路 一、一六七六里三二。

鐵道 二〇〇四哩八六。

延里數

普通道路 一二三六、八九九四里。

我が國郵便ノ開始ヨリノ發達ノ景況ヲ説ケ

郵便線路ノ實里數ヲ問フ

鐵道 四四三、一六〇一哩。

郵便局所

郵便電信局 六三八。

郵便局 三〇八〇。

郵便受取所 五三五。

電信・電信ハ、明治二年、東京ト、横濱トノ間ニ架設シタルヲ始トシテ、明治五年ニ、京都ト、大阪トノ間、及、東京市中ニ架シ、ユレヨリ、年々、線路ヲ延長シ今日ニテハ、著名ノ都邑、港浦、到ル處トシテ、其ノ便ヲ得サル土地稀ナリ。

電信線路

線路延長 三八四六里〇五。

線路延長 一、一五〇二里七九。

電信局所

郵便電信局 五八九。

電信局 四六。

電信ト電話トノ開始ノ年ヲ問フ

海底電信ノ
線路長ヲ問フ

電信取扱所

八〇。

百八

海底線

線條長

二九二哩三一。

心線延長

三五七哩三二。

電話 電話ハ、明治二十三年十二月、東京ト、横濱トノ二局ニ創設シ、尋ギテ、明治二十六年三月、大阪ト、神戸トノ二局ニ開始セリ。

電話線路

線路延長

一七六里〇三。

線路延長

一八九四里一九。

電話局所

電話交換局

四。

電話所

二四。

郵便電信電話等ノ收入

六四八、七六八八圓(明治二十六年)。

遞信費支出

五〇八、七〇四七圓(全)。

電話ノ延長
線路ヲ問フ

北州嶋ノ位
置ヲ問フ
ナリ
ナリ
ナリ

第二編 處誌

第壹章 北州嶋

(一) 北州嶋ノ位置ト形狀トヲ問フ

答 北州嶋ハ、其ノ形、恰、鱈魚ノ海中ニ躍ルガ如ク、其ノ尾ハ、本州嶋ニ接セリ。本州嶋ノ東北端ニアリテ、東、及、南ハ、太平洋ニ臨ミ、西南ハ、日本海ニ面シ、東北ハ、おこづく海ニ枕メリ。

(二) 北州嶋ノ區劃ハ如何

答 北州嶋本地ト、東北海上ニ羅列セル列嶋トナリ、併セ總稱シテ、北海道ト云ヒ之ヲ、區分シテ、十一ヶ國トナシ、一ノ道廳ヲ置キテ統治ス。

(三) 道廳ノ位置ト管轄區域トヲ問フ

答 北海道廳ハ、石狩國、札幌區ニアリテ、渡嶋國、後志國、石狩國、天鹽國、北見國、膽振國、日高國、十勝國、釧路國、根室國、千嶋列嶋ノ十一ヶ國ヲ管治ス。

(四) 北州嶋ノ地勢ヲ概説セヨ

答 北州嶋本地ハ、石狩ヨリ、苫小牧ニ至ル平原ニヨリテ、東西ノ兩部ニ區別ス

北州嶋ノ地

勢ト北海道
ノ所在ト
ナクハ

ベシ。東部ハ、中央ニテ、樺太山系ト、千嶋帶山脈ト、相結合スル所、山勢高峻ナリ。西部ハ、東部ヨリモ、海岸屈曲多ク、内地、山岳到ル處ニ起伏スレドモ、其ノ山河ノ形勢、險要ナル處少ク、平原曠野ニ富ミ、海岸ハ、概、平坦ナリ。千嶋列嶋ノ東北端ノ一嶋ハ、露領、かむさつかト、一帯水ヲ隔テ、其ノ嶋數、凡、三十二アリ。

(丙) 北州嶋ノ主ナル山岳ヲ問フ

答 後志ノ後方羊蹄山ハ、一ニ、蝦夷富士ト稱ス、膽振ノ國境ニ峙テリ。石狩ノ石狩岳ハ、北州嶋ノ中央、最高點ニ位セリ。石狩岳ノ北ニ、天鹽ノ天鹽岳アリ、其ノ南ニ、十勝ノ十勝岳アリ。北見ノ東境ニ、斜里嶽アリ。神威嶽ハ、十勝ト、日高トノ堺ニアリ。釧路ノ雄阿寒、雌阿寒ノ兩岳、及、同國ノ硫黃岳、膽振ノ樽前岳、渡嶋ノ駒岳等ハ、有名ノ噴火山ナリ。

北州嶋ノ火
山ト平原ト
ヲ示セ

(丁) 北州嶋ニ於ケル高原平野ヲ問フ

答 石狩川灌域ハ、石狩平原ト稱ス、全嶋第一ニシテ、二部ニ分レ、我が國、稀有ノ曠野トス。十勝ノ原野ハ、國ノ中央ヨリ、東南海岸ニ亘リ、廣袤、甚、潤シ。

北州嶋ノ五
大河ヲ問フ

釧路ノ原野ハ、海岸一帯ノ地ニシテ、根室ノ原野ト、相接ス。北見ノ原野モ、天鹽ノ原野モ、皆、大ナリ。

(癸) 北州嶋著名ノ河川ヲ問フ

答 石狩ノ石狩川(延長里程二百六十七里)ハ、全嶋、無二ノ巨川ニシテ、我が邦、第一ノ長流タリ。源チ、石狩ト、十勝トノ間ニ發シ、西南ニ流レ、石狩原野ヲ環流シ、石狩港ニ至リ、日本海ニ入ル、河口ハ、鮭漁、盛ニシテ、船舶、常ニ集レリ。天鹽川ハ、北州嶋中、第二ノ長流ニシテ、石狩ト、十勝トノ間ニ發源シ、西北ニ流レテ、日本海ニ注グ。大津川ハ、源チ、十勝岳ニ發シ、十勝ノ中央チ、貫流シテ、太平洋ニ放水ス。久壽里川ハ、釧路ノ北境ナル、久壽里沼ニ發源シ、南流シテ、太平洋ニ朝宗ス。後志川ハ、源チ、膽振ノ北境ナル山中ニ發シ、西流シテ、後方羊蹄山ノ麓ヲ過ギ、磯谷灣ニ歸注ス。以上ハ、北海道、五大河ノ稱アリ、ユ他、後志ノ利別川、膽振ノ遊樂部川、日高ノ厚別川、根室ノ西別川、北見ノ富別川等ハ、各、其ノ國ニ於テ、著名ナル江河ナリ。

北州嶋ニテ
著名ナル河
水五ト沼湖
ヲ示セ

(甲) 北州嶋ニ於ケル主ナル湖沼ヲ問フ

答 北見ノ猿間湖ヲ、全嶋、第一ノ大湖トス。次ハ、根室ノ楓遠湖ナリ。其ノ他
膽振ノ洞爺湖、支笏湖、十勝ノ喜門沼、北見ノ網走湖等、亦、名アルモノナリ。

(六) 北州嶋ニ於ケル岬灣ヲ問フ

答 岬角ヲ、北方ヲ指スモノニ、北見ノ宗谷アリ。日高ノ襟裳岬ハ、南方ヲ指セ
リ。北州嶋ノ東隅ニ、東ニ向ヒテ、開ケルヲ、根室灣トス、根室ノ納沙布岬ト、北
見ノ知床岬ト、左右ヨリ突出セリ。納沙布岬ヲ、南ニ廻リテ、釧路ノ海岸ニ出ヅ
レバ、原岸灣ノ、一小灣入アリ。西隅ハ、最、出入多キ處ニシテ、其ノ南北ニ、擴
出セルハ、後志ノ神威岬ト、膽振ノ繪鞆岬トナリ。渡嶋半嶋ノ盡頭ハ、凹字形ヲ
ナシテ、左右ニ、惠山岬ト、白神岬トアリ、其ノ凹ノ處ヲ、渡嶋灣トス。渡嶋半
嶋ト、繪鞆岬トノ間ニ、一ノ海灣アリ、ユレテ、或、火山灣ト云ヒ、或、噴火灣
ト稱シ、或、内浦ト呼ブ。其ノ他、根室ニ、野付岬、北見ニ野斜布岬、後志ニ辨
慶岬、壽都灣等アリ。

(七) 北州嶋所屬ノ嶋嶼ヲ問フ

答 千嶋ハ、三百餘里ニ、羅列セル三十二個ノ列嶋ノ總稱ニシテ、其ノ主ナルモ

北州嶋本地
ニテ北ト南
トヲ指セル
岬角ノ名ヲ
問フ

ノハ、國後、擇捉、色丹、得撫、新知、捨子古丹、温祿古丹、幌筵、及、占守ノ
諸嶋トス。北見ノ海上、宗谷岬ニ近ク、禮文嶋ト、利尻嶋トアリ。後志ト、渡嶋
トノ海上ニ、奥尻嶋ト、大嶋トアリ。

(八) 北州嶋ニ於ケル要港ヲ問フ

答 渡嶋ノ函館港ハ、外國互市場ノ一ニシテ、渡嶋灣頭ニアリ、四時共ニ、風濤
ノ患少キ良津ナリ。後志ニ、小樽港アリ、大船ヲ泊シ得ベシ。膽振ニ室蘭港アリ、
ユレ、海軍鎮守府所在ノ軍港ニシテ、實ニ、北門ノ鎮鎗タリ。其ノ他、渡嶋ノ江
差港、根室ノ根室港、釧路ノ厚岸港等、皆、良泊ト稱ス。

(九) 北州嶋ニ於ケル著名ノ鑛山ヲ問フ

答 今ヤ、發見採掘セル鑛山、十有餘ニシテ、其ノ中、最、著名ナルモノハ、石
狩ノ幌内、空知、夕張等ノ炭山ト、渡嶋ノ惠山硫黃坑トナリ。

(十) 北州嶋ニ於ケル著名ノ鑛泉ヲ問フ

答 鑛泉ノ湧出スル處、三十有餘アリ、其ノ中、名高キモノハ、渡嶋ノ惠山硫黃
泉、河汲炭酸泉ト、後志ノ雷電硫黃泉ト、膽振ノ登別硫黃泉トナリ。

北州嶋ノ要
港ト著名ノ
鑛山トヲ問
フ

(三) 北州嶋ノ地味ヲ概説セヨ

答 北州嶋ハ、未、開墾、全カラザル土地多クレドモ、概シテ、穀類、桑、麻等ノ栽培ニ適スル肥沃ノ地多シ、殊ニ、石狩平原ノ如キハ、多ク、沃饒ノ原野ナリ。

(四) 北州嶋ノ氣候ヲ述ベヨ

答 北海道ハ、一般ニ、寒冷ナレドモ、南ト、北トニテハ、自、氣候ニ差違ナキヲ得ズ。西南ト、東南トノ地方ハ、寒威、稍、緩クシテ、積雪ノ量、一尺ヨリ三四尺ノ間ニ過ギズ。西北ヨリ、東北ニ至リテハ、寒威凜烈トシテ、肌膚ニ硬シ、氷雪推積シテ、四月ニ至ルモ、尙、融ケズ。根室ト、北見トノ海岸、及、千嶋列嶋ノ如キハ、寒氣極メテ甚シ、夏季ハ、一般ニ、暑強ク、本州嶋ニ異ナラザレドモ、其ノ期間短クシテ、朝夕ハ、忽、冷涼ヲ覺ユト云フ。

(五) 北海道ニ於ケル著名ノ都市ヲ列擧セヨ但人口一萬以上ノモノ

答 渡嶋ノ函館區(六萬六千三百三十三人)ハ、渡嶋灣ノ北岸ニ臨ム、開港場ノ一ニシテ北海道廳出張所ノアル處ナリ、全道ノ物産、蒐集ズル處ニシテ貿易、甚、盛ナリ。石狩ノ札幌區(二萬八千一百五十一人)ハ、石狩ノ南西部ニ位シ、石狩河

(六) 北海ノ居民ノ生業如何

口ヲ距ルユト遠カラズ、北海道廳所在ノ土地ニシテ、市街殷賑ナリ。渡嶋ノ福山町(二萬五千四百七十六人)ト、江差トハ、其ノ國ノ名邑ナリ。後志ノ小樽ト、舊、開拓使廳ノアリシ釧路ノ根室トハ、共ニ、市街隆盛ナリ。

答 人民ハ、概シテ、内地ヨリ、移住セシモノニシテ、舊來ノ土人ハ、あゝぬト稱シ、今ハ、生存競争ニ、打テ勝ツコトハ能ズシテ、年々、歳々、其ノ數ヲ、減セリト云フ。土人ノ生業ハ、男子ハ、概、弓箭漁具ヲ執リテ、山川ニ漁獵シ、或、漁獵者ニ使役セラレ、女子ハ、家ニアリテ、衣ヲ織リ、又ハ、食品ノ調理ニ從事シ、農耕ノコトハ、甚、迂遠ナリシガ、移住民ノ來リテ、拓地、墾土ニ從事スルニ及ビ、往々、コレニ看倣フモノアリ、其ノ他ノ住民ハ、漁業、耕作、牧畜、探礦、商業等ヲ營メリ。

(七) 北海道ニ於ケル農産物ノ景況如何

答 土地ノ肥瘠ト、適否トニヨリテ、收穫ニ、多少ハアレドモ、西部地方ニテハ、大豆、小豆、大麥、小麥、馬鈴薯、蕎麥ノ如キ、相當ノ收穫アリ、其ノ他、大麻、

甜菜、葡萄、林檎等、利益少カラズ、殊ニ、麻ハ、全道、概、適セザルノ地ナシト云フ。天然ノ桑樹ニ富メルヲ以テ、養蠶ノ事業モ、誘導セバ、大ニ發達スベシ。牧畜ハ、著シキ進歩ヲ見ズト雖、全道ニ、最、適應スベキハ、牧畜ニアリ。

(六) 北海道ノ主ナル水産物ヲ問フ

答 魚類ニハ、魚粕ヲ、魁トシテ、鮭、鱒、鱈、鱈、鱈、鮑、烏賊、河豚、海鼠、魚油等ナリ。海藻ハ、昆布、第一トス。海獸ニハ、鷹虎、海豹、鼠、鯨等アリ。

(五) 北海道ニ於ケル林産ノ景況如何

答 落葉松、椴松、厚朴、檜、樺、桑等ノ樹木茂生シテ、良材ニ乏シカラズ。森林、又ハ、山中ニハ、熊、鹿、狐、貂、及、鷲、鷹等ノ鳥獸夥シ。

(四) 北海道ニ於ケル鑛産ノ重ナルモノハ何カ

答 本道ハ、金、銀、石炭、石油、硫黃、其ノ他ノ諸鑛物ニ富メリ、殊ニ、石炭ト、硫黃トハ、其ノ質、佳良ニシテ、其ノ産額ノ量モ、極メテ多シ。

(三) 北海道ニ於ケル製造品ノ重ナルモノヲ問フ

答 製造品ノ重ナルモノハ、麥酒、砂糖、麻布、紗那罐詰、及、製氷、煉瓦、紡織、漁網等ニシテ、諸工業、日ニ月ニ、將ニ増加セントス。

(二) 北海道ニ於ケル主幹ノ道路ヲ問フ

答 北州嶋本地ハ、開拓、未、普カラザルヲ以テ、完全ナル驛路、備ハラザレドモ、南岸街道ト、北岸街道トノ二通路アリ。

南岸街道。

函館ヨリ、北ニ進ミ、森ニ至リ、火山灣ヲ航シテ、膽振ノ室蘭ニ渡リ、太平洋ノ南岸ニ沿ヒ、苫小牧ヨリ、西北ニ進マバ、石狩ノ札幌ニ達スベシ。西北ニ進マズシテ、尙、海岸ヲ進マバ、日高ノ浦河、十勝ノ大津、釧路ノ厚岸ヲ經テ、根室ニ至ルヲ得ベシ。

北岸街道。

函館ヨリ、福山、及、江刺ヲ經テ、後志ニ入り、日本海ノ海岸ニ沿ヒ、小樽ヲ過ギテ、札幌ニ至ルベシ。札幌ヨリ、北方海岸ニ沿ヒ、天鹽ニ入り、増毛、及、留萌ヲ經テ、北見ノ宗谷ニ出テ、おこつく海濱ヲ通過シテ、根室ニ達スベシ。ユノ

北海道ノ重ナル水産ト問フ

北海道ノ主ナル鑛産ト問フ

二街道ニモ、往々、峻嶮ノ地アリテ、車馬ノ通セザル所アリ、内部ハ、峻坂、嶮路多シ。

(三) 北州嶋ニ於ケル鐵路ノ景況ヲ記セ

答 北海道炭礦鐵道ハ、室蘭ヨリ、歌志内マデ。追分ヨリ、夕張マデ。手宮ヨリ、幌内マデ。幌内太ヨリ、幾春別マデ。砂川ヨリ、空知太マデノ線路ナリ。釧路鐵道ハ標茶ヨリ、跡佐登マデノ一線ナリ、專、硫黃ノ運搬ニ供ス。

(四) 北海道ニ於ケル航通如何

答 日本郵船會社ノ濠船ハ、函館、小樽、宗谷、室蘭、厚岸、根室等ノ諸港ニ廻航ス。ユノ外、水運業ニ、從事スルモノ、七箇所アリテ、皆、盛ニ、貨物ノ運漕ヲナセリ。

第二章 本州嶋

(五) 本州嶋ノ位置ヲ問フ

答 本州嶋ハ、大日本帝國嶋嶼ノ中央ニアリテ、北ハ、北州嶋ニ對シ、西南ハ、四國嶋、及、九州嶋ニ面ス。其ノ形、恰、守宮ノ南ヨリ北ニ向ヒテ、匍匐スルガ

如シ。

(六) 畿内ノ位置ヲ問フ

答 畿内ハ、一ニ、五畿内トモ云フ。本州嶋ノ中央ヨリ、稍、西南、即、守宮ノ下腹部ニアリテ、其ノ形ハ、四字チ、左横ニ向ケタルガ如シ。東ハ、東海ト、東山トノ兩道ニ界シ、南ハ、南海道ナル、紀伊國ニ接シ、西北ハ、山陰ト、山陽トノ兩道ニ連リ、西方ノ一部ハ、海ニ枕ム、ユノ海ヲ茅渚海ト云フ。

(七) 東海道ノ位置ヲ示セ

答 東海道ハ、畿内ノ東ニ横タハリ、南ノ方、海ニ瀕シ、北ハ、東山道ニ界シ、東南ハ、大平洋ニ面シ、西ハ、畿内ニ接ス。

(八) 東山道ノ位置ヲ示セ

答 東山道ハ、東海道ノ北邊ヨリ、本州嶋ノ東北ニ延長セル長大ノ土地ニシテ、西ハ、畿内、及、山陰道ニ接シ、西南地方ノ南ノ方ハ、連山ヲ以テ、東海道ト界シ、其ノ北境ハ、北陸道ニ隣リ、東北地方ノ東ノ海岸ハ、大平洋ニ臨ミ、其ノ西面ハ、日本海ニ向ヒ、北端ハ、津輕海峽ヲ隔テ、北州嶋本地ニ對ス、其ノ近江、

本州嶋ノ位置ヲ問フ

東海道ト東山道トノ位置ヲ問フ

美濃、飛騨、信濃、上野、下野ノ六國ハ、東海ト、北陸ト、兩道ノ間ニ狹ル、ユ
レチ、中山道ト云ヒ、磐城、岩代、陸前、陸中、陸奥、羽前、羽後、七國ノ中、
岩代ヲ除クノ外ハ、太平洋ト、日本海トノ水ニ洗ハル、ユレチ、奥羽、又ハ、陸
羽七州ト云フ。

(六) 北陸道ノ位置ハ如何

答 北陸道ハ、西ノ方、山陰道ニ連リ、南ノ方、中山道地方ニ接シ、東ノ方ハ、
奥羽地方ニ界ス、若狹、越前、加賀、越中、越後ノ五國ハ、日本海ニ面シ、能登
ハ、北海中ニ突出セル一大半嶋ナリ。佐渡ハ、海水ヲ隔テ、一孤嶋ヲナス、其
ノ形、法馬ノ如シ。

(七) 山陰道ノ位置ヲ説明セヨ

答 山陰道ハ、東ノ方、北陸、東山ノ兩道ト、畿内トニ接シ、南ノ方ハ、山脈ニ
ユリテ、山陽道ト、腹背ヲナシ、北ノ方一帶、日本海ニ面ス、八ヶ國ノ中、丹波
ノミ、獨、陸地ニ圍マレ、陰岐ハ、海中ノ一孤嶋ナリ、本道ト、山陽道トヲ併セ
稱シテ、中國ト云フ。

山陰道ト山陽道トノ位置ヲ示セ

(八) 山陽道ノ位置ヲ説ケ

答 山陽道ノ地タル、本州嶋ノ西南部ニ位シ、東ハ、僅ニ、畿内ニ接シ、北ハ、
中國山脈ヲ以テ、山陰道ト、向背ヲ分チ、南面一帶、瀬戸内海ニ臨ムデ、四國ト
相對シ、西端ノ一國、長門ハ、日本海ト、朝鮮海トニモ向ヒ、美作ノミ、獨、陸
地ヲ以テ圍マル。

(九) 本州嶋ノ區劃如何

答 本州嶋ハ、一畿、五道ニ分ツ外、又、屬嶋ヲ併セテ、ユレチ、五十六國ニ區劃
シ、三府、三十一縣ヲ置キテ、ユレチ分轄セシム。

(十) 本州嶋中ニアル府縣名ト所在ト管轄區域トヲ示セ

答 東京府ハ、武藏國、東京市ニアリテ、武藏ノ内一市九郡ト、伊豆ノ内七嶋ト、
小笠原嶋トヲ支配ス。京都府ハ、山城國、京都市ニアリテ、山城國ト、丹波ノ内
五郡ト、丹後國トヲ管ス。大阪府ハ、攝津國、大阪市ニアリテ、攝津ノ内一市七
郡ト、河内國ト、和泉國トヲ管轄ス。神奈川縣ハ、武藏國、横濱市ニアリテ、武
藏ノ内一市三郡ト、相模國トヲ管轄ス。兵庫縣ハ、攝津國、神戸市ニアリテ、攝

本州嶋ノ區劃ト府縣名トヲ示セ

津ノ内一市四郡ト、播磨國ト、但馬國ト、丹波ノ内二郡ト、淡路國トヲ管轄ス。
 新潟縣ハ、越後國、新潟市ニアリテ、越後國ト、佐渡國トヲ管轄ス。埼玉縣ハ、
 武藏國、浦和町ニアリテ、武藏ノ内十七郡ト、下總國ノ内一郡トヲ管轄ス。千葉
 縣ハ、下總國、千葉町ニアリテ、安房國ト、上總國ト、下總ノ内八郡トヲ管轄ス。
 茨城縣ハ、常陸國、水戸市ニアリテ、常陸國ト、下總ノ内六郡トヲ管轄ス。群馬
 縣ハ、上野國、前橋市ニアリテ、上野國ヲ管轄ス。栃木縣ハ、下野國、宇都宮町
 ニアリテ、下野國ヲ管轄ス。奈良縣ハ、大和國、奈良町ニアリテ、大和ヲ管轄ス。
 三重縣ハ、伊勢國、津市ニアリテ、伊賀國ト、伊勢國ト、志摩國ト、紀伊ノ内二
 郡トヲ管轄ス。愛知縣ハ、尾張國、名古屋市ニアリテ、尾張國ト、三河國トヲ管
 轄ス。静岡縣ハ、駿河國、静岡市ニアリテ、伊豆國(豆南諸嶋ヲ除ク)ト、駿河國
 ト、遠江國トヲ管轄ス。山梨縣ハ、甲斐國、甲府市ニアリテ、甲斐國ヲ管轄ス。
 滋賀縣ハ、近江國、大津町ニアリテ、近江國ヲ管轄ス。岐阜縣ハ、美濃國、岐阜市
 ニアリテ、美濃國ト、飛騨國トヲ管轄ス。長野縣ハ、信濃國、長野町ニアリテ、信
 濃國ヲ管轄ス。宮城縣ハ、陸前國、仙台市ニアリテ、陸前ノ内一市十三郡ト、磐

奥羽六縣ノ

管轄區域ヲ示セ

城ノ内三郡トヲ管轄ス。福嶋縣ハ、岩代國、福嶋町ニアリテ、磐城ノ内十一郡ト、
 岩代國トヲ管轄ス。岩手縣ハ、陸中國、盛岡市ニアリテ、陸中ノ内一市十七郡ト、
 陸前ノ内一郡ト、陸奥ノ内一郡トヲ管轄ス。青森縣ハ、陸奥國、青森町ニアリテ、
 陸奥ノ内一市八郡ヲ管轄ス。山形縣ハ、羽前國、山形市ニアリテ、羽前國ト、羽
 後ノ内一郡トヲ管轄ス。秋田縣ハ、羽後國、秋田市ニアリテ、羽後ノ内一市八郡ト、
 陸中ノ内一郡トヲ管轄ス。福井縣ハ、越前國福井市ニアリテ、若狹國ト、越前國
 トヲ管轄ス。石川縣ハ、加賀國、金澤市ニアリテ、加賀國ト、能登國トヲ支配ス、
 富山縣ハ、越中國、富山市ニアリテ、越中國ヲ管轄ス。鳥取縣ハ、因幡國、鳥取
 市ニアリテ、因幡國ト、伯耆國トヲ管轄ス。嶋根縣ハ、出雲國、松江市ニアリテ、
 出雲國ト、石見國ト、隱岐國トノ三ヶ國ヲ管轄ス。岡山縣ハ、備前國、岡山市ニ
 アリテ、美作ト、備前ト、備中トノ三ヶ國ヲ管轄ス。廣嶋縣ハ、安藝國、廣嶋市
 ニアリテ、備後ト、安藝トノ二ヶ國ヲ管轄ス。山口縣ハ、周防國、山口町ニアリ
 テ、周防ト、長門トノ二ヶ國ヲ管轄ス。和歌山縣ハ、紀伊國、和歌山市ニアリテ、
 紀伊ノ内一市八郡ヲ管轄ス。

山陽道ニ屬スル縣名ト管轄區域トヲ示セ

(畜) 本州嶋ノ地勢ヲ詳述セヨ

答 山脈ハ、國ノ形ニ準シテ、中央ヲ貫キ、其ノ左右ハ、海岸ニ向ヒテ、漸、傾斜セリ。故ニ、海岸ヨリ内地ニ進ムニ隨ヒ、地勢、次第ニ高ク、遂ニ、中央ニ達スレバ、山岳、峯巒、重疊起伏セル高地トナル、殊ニ、信濃地方ヲ、最高地トス。又、河流ハ、概、狹少ナリト雖、其ノ數、頗、多ク、各地ニ流通セリ。平野ハ、巨川ノ近傍、若クハ、海岸地方ニ多シトス。

(盜) 本州嶋中ニアル著名ノ山岳ヲ列舉セヨ

答 我が國ハ、山岳ニ富メルヲ以テ、名山高峯モ、亦、頗、多シ。富士山ハ、駿河、甲斐ニ跨リテ、其ノ高サ、一萬二千三百七十尺アリ、我が國、第一ノ高山ニシテ、其ノ形、白扇ノ倒ニ懸レルガ如ク、秀麗言ハソ方ナシ、眞ニ海内無二ノ壯觀ナリ。信濃ニ、赤石山(一萬二百四十四尺)、錫杖嶽(九千二百四十尺)、前嶽(九千一百八尺)、四阿山(八千九百七尺)、立科山(八千三百四十九尺)、淺間山(八千二百三十尺)、横手山(七千九百五十四尺)、まぶし嶽(七千八百四十五尺)、駒ヶ嶽(七千八百八尺)、吾妻山(七千七百八十八尺)、岩菅山(七千五百七十二尺)、小嶽

本州嶋ノ地勢ヲ觀キテ七千尺以上ノ山名ヲ舉ゲヨ

北陸道ニ於ケル高山ヲ示セ

(七千二百六十四尺)、笠嶽(七千八十八尺)等ノ名山アリ。甲斐國ニ、白根山(一萬二千二百二十尺)、駒ヶ嶽(九千九百五尺)、八ヶ嶽(九千一百一十六尺)、地蔵ヶ嶽(八千八百五十七尺)、金峯山(八千五百四十九尺)等ノ諸山アリ。越中ニハ、北陸道中、第一ノ高峯ト稱スル、大逆華山(九千八百七十一尺)アリ。大逆華山ノ山脈ニシテ、信濃ト、越中トノ境ニ跨リタル高山アリ、ユレテ逆華山(九千二百八十三尺)ト云フ。乗鞍ヶ嶽(九千一百九尺)ハ、飛驒ト、信濃トノ境ニ聳エタリ。加賀國ニハ、東南隅ニ、有名ナル白山(八千九百四十七尺)アリ。國師ヶ嶽(八千五百五十三尺)ハ、甲斐ト、信濃ト、武藏トノ三國ノ境上ニ聳立セリ。駿河ニハ、寶永年中ニ、噴出シタル寶永山(八千二百三十三尺)アリ。下野ニハ、男體山(八千一百九十六尺)、赤雞山(七千九百五尺)等アリ。大無間山(七千六百九十三尺)ハ、駿河ト、遠江トノ境上ニ聳エタリ。美濃ノ惠那山(七千三百九十三尺)モ、亦、名アリ。岩代ノ國ニモ、亦、駒ヶ嶽(七千三百三十尺)ト稱スル山アリ。御月山(七千一百二十二尺)ト、苗場山(七千一百二十二尺)トハ、越後國ノ高山ナリ。白根山(七千六十九尺)ハ、信濃ト、上野トノ境ニアリ。武藏ト、信濃トノ境上ニ、十文字嶺(七千五十五

尺)アリ。今、茲ニ、擧ゲタルモノハ、高サ七千尺以上ノモノニシテ、ユノ外、高山峻岳ヲ以テ、目セラル、モノ、頗、多シ。

(六) 本州嶋中ニ屬スル著名ノ活火山ニ二三ヲ擧ゲヨ

答 陸奥ノ忍山、岩木山、下野ノ那須岳、信濃ノ淺間山、大嶋ノ三原山、八丈嶋ノ甕峯等ハ、恒ニ、噴烟セル活火山ナリ。

(七) 本州嶋ニ於ケル平原廣野ヲ記セ

答 我が國ハ、山岳丘陵、到ル處ニ起伏セルヲ以テ、平原、廣野ト稱スベキモノ少シト雖、海岸、及、山脈ノ峽間、河湖ノ近傍ニハ、亦、平野少カラズ。

今、本嶋ニアルモノヲ擧ゲレバ、關東ノ平野ハ、武藏、上野、下野、常陸、下總ノ諸國ニ跨リ、五六十里ノ間ニ連リ、北上、阿武隈ノ二平野ハ、磐城、岩代、陸前、陸中ノ四國ニ連レリ。ユレニ次グモノハ、美濃、尾張ニアル沃野ナリ。越後ノ平野ハ、越後ノ大半ヲ占メ、最上ノ平野ハ、羽前ノ中央ニ亘レリ。又、畿内ノ平野ハ、尤、舊ク開ケタルモノニシテ、著名ナリ。凡ベテ、我が國ノ平野ハ、皆、地味肥沃ニシテ、米穀、蔬菜ノ産出多シ、ユノ他ノモノハ、概、地域狹小ナリ。

本州嶋中ノ活火山ト著名ノ平原ヲ問フ

(八) 本州嶋中ニ於ケル重ナル河流ヲ問フ

答 我が國ノ河ハ、概、中央ナル大山脈ノ溪間ニアル泉源ヲ、水源トナスモノ多クシテ、皆、舟楫ノ便大ナリ。北上川(七十六里九町)ハ、最、舟筏ノ航通里程長クシテ、其ノ源ハ、陸中ノ北部ニ發シ、南流シテ陸前ニ入り、石巻ニ至リテ海ニ入ル。利根川(七十二里十一町)ハ、一ニ、坂東太郎ト云フ、上野、武藏、下總、常陸ノ四ヶ國ヲ貫流ス、其ノ源ハ、上野ノ文珠山ニ發シ、下流ニ派トナリ、本派ハ、下總ノ銚子ニ至リテ海ニ注ギ、分流ハ、江戸川トナル。信濃川(六十三里二町)ハ、上流ハ、千曲川、犀川ノ名アリ、越後ニ入りテ、信濃川ト稱シ、新潟ノ東ヲ經テ、海ニ入ル。天龍川(五十六里七町)ハ、信濃ノ諏訪湖ヨリ發シ、遠江ノ中央ヲ貫キテ海ニ注グ。木曾川(五十五里四町)ハ、信濃、飛驒、美濃、尾張、伊勢ノ五ヶ國ヲ貫流ス、先、源ヲ信濃ノ木曾山中ニ發シ、奔流シテ美濃ニ入り、飛驒川、長良川等ト會シ、尾張ト、伊勢トノ間ヲ過ギテ、海ニ入ル。最上川(五十四里)ハ、上流ヲ、松川ト云フ、源ヲ、羽前ノ南境ナル大日岳ニ發シ、北ニ流シテ、夥多ノ小川ヲ容レ、羽前ト、羽後トノ境ヨリ、日本海ニ注グ。阿賀野川(四十五里二十町)

本州嶋中五里以上ノ河流ヲ問フ

ハ、源チ、下野ト、岩代トノ境ニ發シ、北流シテ、會津川、日橋川ト合シ、越後ニ入リ、海ニ朝ス。紀ノ川(三十七里十二町)ハ、大和ノ吉野川ノ下流ニシテ、紀伊ノ北邊ヲ西流シ、和歌山ノ北ヲ過ギテ、海ニ入ル。神宮川(三十七里十二町)モ、亦、大和、紀伊ヲ貫流ス。雄物川(三十五里三十三町)ハ、雄勝郡ノ山溪ニ發源シ、南秋田郡、太川村ニ至リテ海ニ入ル。阿武隈川(三十五里十八町)ハ、上流、磐城ヨリ來リ、岩代ノ境ヲ出入シ、再、磐城ニ入リ、遂ニ、陸前ト、磐城トノ境ニ至リ、海ニ注グ。荒川(三十二里十八町)ハ、源チ、武藏ノ秩父山中ニ發シ、武藏ノ平原ヲ環流ス、隅田川トハ、其ノ下流ナリ。日高川(三十一里八町)ハ、紀伊ノ西邊ヲ流ル、大和界ノ山中ニ發源シ、曲流シテ、鹽屋浦ニ至リテ、海ニ注グ。富士川(二十九里十四町)ノ上流ハ、甲斐ノ笛吹、釜無、蘆ノ三川ヨリ成リ、南ニ流レテ、駿河ノ中央ヲ貫キ、田子浦ニ注グ。陸中ノ米代川(二十六里二十一町)ハ、羽後ノ能代川ノ上流ナリ。桂川(二十六里)ノ上流チ、大堰川ト云フ、丹波ヨリ來リテ、清瀧川ヲ合セ、嵐山ノ麓ヲ南流シ、鳥羽ニ至リ、山城ノ北境ヨリ、來レル鴨川ト會シ、遂ニ、淀川ニ歸ス。駿河ノ西境ニ、大井川(二十五里二十八町)ノ流アリ。

本州中二
十五里以上
ノ流域ノ河
ヲ問フ

リ。吉井川(二十五里)ハ、一ニ、西大寺川ト云ヒ、又、東大川ト云フ、上流ハ、美作ニ在リテ、津山川ト呼ブ、兒嶋灣口ニ放水ス。鬼怒川(二十四里二十九町)ハ、一ニ、絹川ニ作ル、下野ヨリ來リ、常陸國ヲ貫通ス。那珂川(二十三里二十六町)ハ、下野國、那珂郡ノ西北ニ發シテ、各地ノ諸水ヲ併セテ、常陸國ニ入リ、湊村ニ至リテ、放水ス。越前ノ九頭龍川(二十四里十町)ハ、大野郡ノ山谷ニ發源シテ、西北ニ流レ、日野川ヲ合セ、坂井港ニ至リテ、放水ス。陸前ニ玉造川(二十三里二十六町)、備前ニ旭川(二十三里)、伊勢ニ櫛田川(二十二里二十三町)、石見ニ郷ノ川(二十二里二十二町)、岩代ニ鶴沼川(二十二里二町)、出雲ニ斐伊川(二十一里二十四町)、三河ニ矢作川(二十一里十町)、紀伊ニ北山川(二十一里八町)、信濃ニ犀川(二十里三十一町)、播磨ニ加古川(二十里二十三町)、安藝ニ太田川(二十里十四町)、備前ニ高梁川(二十里)、陸奥ニ岩木川(二十里)等アリ。

(先) 本州嶋ニ於ケル著名ノ沼湖ヲ問フ

答 琵琶湖(周圍七十三里三十一町)ハ、近江國ノ中央ニアリ、其ノ形ノ肖タルヲ以テ名ク、實ニ、我が國、第一ノ大湖ナリ。常陸ノ霞浦(周圍三十六里)ノ下流ハ、

本州中周
回三十里以上
ノ沼湖ヲ
問フ

利根川ニ合シテ、海ニ入ル、其ノ他、瀧沼(周圍七里)、牛久沼(周圍六里六町)アリ。猪苗代湖(周圍十六里二十一町)ハ、岩代ニアリテ、其ノ水、流出シテ日橋川ニ合ス。中ノ海湖(周圍十六里十一町)ハ、出雲ニアリテ、一方ハ、宍道湖(周圍十三里二町)ト通シテ、海ニ注グ、八郎瀧(周圍十五里)ハ、羽後ニアリ、其ノ水、南ニ流レテ、海ニ入ル。陸奥ニハ、小河原沼(周圍十三里二十四町)、十輪田湖(周圍十里)、鷹架沼(周圍六里二十三町)、十三瀧(周圍六里十八町)等アリ。下總ノ印旛沼(周圍十二里)、下野ノ中禪寺湖(周圍八里)、赤間沼(周圍四里)、加賀ノ河北沼(周圍六里二十町)、陸前ノ品井沼(周圍五里二十四町)、越前ノ北瀧ノ入江(周圍五里二十二町)、相模ノ箱根蘆ノ湖(周圍四里三十町)、薩摩ノ池田湖(周圍四里二十九町)、佐渡ノ加茂湖(周圍四里廿三町)、信濃ノ諏訪湖(周圍四里廿町)、甲斐ノ川口湖(周圍四里十八町)、山城ノ巨椋池(周圍四里十一町)等、亦、有名ナリ。

(三) 本州嶋ニ屬スル灣及灘ヲ示セ

答 東京灣ハ、相模ト、上總ト相對シテ成レリ。相模ノ三崎ノ西ニハ、相模灣アリ。遠江ト、伊豆トノ間チ、駿河灣ト云フ。尾張ト、三河トノ間ニ、三河海アリ

本州嶋ニテ
著名ナル灣
ト港トナリ
トナリト問

其ノ東部チ、渥美灣トシ、其ノ西部チ、知多灣トス。伊勢ト、尾張トノ間ニ入りタル内海ハ、伊勢海ニシテ、和泉、攝津ト、淡路嶋トノ間チ、大阪灣ト云フ。陸奥ノ北端ニ、陸奥内海アリテ、其ノ東部チ、野邊地灣ト云ヒ、西部チ、青森灣ト云フ。陸前ノ南東ニハ、仙臺灣アリ。其ノ他、備前ノ兒嶋灣、丹後ノ舞鶴入江、若狹ノ小濱灣、越前ノ敦賀灣、能登ノ七尾灣等アリ。本州嶋ノ南岸ニアルモノチ、鹿嶋灘、相模灘、遠州灘、熊野灘ト云フ。北岸ニアルモノチ、響灘、石見瀨、能登海ト云フ。瀬戸内海ニ、播磨灘、水嶋灘、周防灘等アリ。

(四) 本州嶋ニ於ケル著名ノ要港ヲ問フ

答 東京灣ノ中ニ、横濱港アリ、ユレニ次グモノチ、大阪ノ富嶋ト、其北方ナル神戸港ナリ。越後ニ、新潟港。相模ニ、横須賀港。伊豆ニ、下田港。駿河ニ、清水港。尾張ニ、半田港。伊勢ニ、四日市港。志摩ニ、鳥羽港。安藝ニ、吳港。長門ニ、下ノ關港。丹後ニ、舞鶴港。越前ニ、敦賀港。能登ニ、七尾港。越中ニ、伏木港。羽後ニ、酒田港。陸奥ニ、青森港。陸前ニ、石巻港アリ。ユレ等ノ諸港ハ、皆、繁盛ノ良港ナリ。横須賀ト、吳ト、舞鶴トノ三港ハ、近來、軍港トナリ

本州嶋ニテ
著名ナル灘
ト岬崎トテ
間フ

テ、横須賀ト、吳トノ二港ニハ、既ニ、鎮守府ノ設アリ。
(三) 本州嶋ニテ名アル岬崎ハ如何

答 下總ノ犬吠岬。安房ノ野嶋岬。上總ノ富津岬。相模ノ觀音岬、及、三崎。伊豆ノ石廟岬。遠江ノ御前岬。三河ノ伊良胡岬。志摩ノ大王岬。紀伊ノ潮岬。出雲ノ美保岬。能登ノ珠洲岬。陸奥ノ龍飛岬、及、尻矢岬等ナリ。

(四) 本州嶋ニ屬スル嶋嶼ノ有名ナルモノヲ列舉セヨ

答 伊豆ノ海上ニ七嶋アリ、其ノ中、最、大ナルモノチ、大嶋、及、八丈嶋トシ、又伊豆ノ南方、太平洋中ニ、小笠原群嶋アリテ、父嶋ト、母嶋トチ、最、大ナルモノトス。瀬戸内海ニテ、最、大ナルモノハ、周防ノ大嶋、備後ノ因ノ嶋、安藝ノ倉橋嶋、江田嶋、嚴嶋等ナリ。能登ノ東ニ、能登嶋アリ。

(五) 本州嶋中著名ノ鑛山二三ヲ記セ

答 下野ノ足尾銅山。岩代ノ半田銀山。陸中ノ小坂、及、尾去澤。羽後ノ院内、及阿仁。但馬ノ生野等ナリ。

(六) 本州嶋中名高キ鑛泉ト多キ土地トヲ示セ

答 東山道、最、多クシテ、北陸道、コレニ次ギ、畿内、山陰、山陽、又、コレニ次ニテ。攝津ノ有馬。伊豆ノ熱海。相模ノ箱根七湯。上野ノ伊香保。下野ノ鹽原等、有名ノ鑛泉ナリ。

(七) 本州嶋中ノ各道ニツキ地味ノ大概ヲ述ベヨ

答 本州嶋ハ、概シテ、地味豊沃ナリ。畿内ハ、淀川ト、大和川トノ沿岸ノ地、最肥饒ニシテ、米穀、茶、綿等ニヨロシ。東海道ニテハ、關八州ノ平野、及、尾濃ノ低原、殊ニ、膏腴ナリ。東山道中ニ於テハ、陸奥ト、最上トノ兩平野、及、美濃ノ平野、肥饒ナリ。北陸道ハ、肥瘠一ナラザレドモ、越後ト、越前トノ平原、最、肥ユ。山陰道ハ、一般ニ、礫礫ト云フベシ。山陽道ニ於ケル海岸ノ地ハ、大抵、肥沃ナリ。

(八) 本州嶋ニ於ケル氣候ノ大概ヲ各道ニツキテ述ベヨ

答 本州嶋ハ、寒暖、其ノ宜シキヲ得タリト雖、地勢、狹長ナルガ故ニ、各地、多少ノ差違ナキユトヲ得ズ。畿内ハ、寒暄、好適ノ地ナレドモ、山地ハ、寒冷ナリ。東海道モ、亦、寒暖共ニ宜シキヲ得レドモ、海岸ト、山地トハ、相異ナレリ。而

本州嶋ニテ
名高キ鑛山
ト鑛泉トテ
間フ

本州嶋ノ地
味ノ氣候ト
ノ概ヲ述ベ
ル

シテ、南方、八丈嶋、及、小笠原諸嶋ハ、炎熱甚シ。東山道ハ、概、山脈起伏セルヲ以テ、各地ノ氣候ニ差異アリ、近江、美濃地方ハ、稍、温暖ナルモ、飛騨、信濃地方ハ、寒威烈シク、嚴寒ノ際ハ、諏訪ノ湖面、氷結シテ、人馬、其ノ上ヲ往來スルニ至ル、陸羽地方ハ、尙、一層寒威凛烈ニシテ、風雪、殊ニ甚シク、街路、人跡ヲ絶ツコトアリ。北陸道モ、亦、寒威凛烈ニシテ、冬期ハ、積雪、丈餘ニ達スルコトアリ。山陰道モ、寒冷ニシテ、雨雪ノ量、亦、多シ。山陽道ハ、氣候、温和ニシテ、降雪ノ量モ、甚、少シ、唯、美作ノ山間ト、長門ノ北海岸トハ、稍、寒冷ヲ覺ユ。紀伊ノ山地ハ、寒冷ニシテ、積雪多クレドモ、南海岸ハ、頗、温暖ナリ。

(三) 本州嶋ニテ人口三萬以上アル都市ヲ列擧セヨ

畿内ト東海
道ニテ人口
三萬以上ノ
都市ヲ示セ

答 武藏ノ東京市。攝津ノ大阪市。山城ノ京都市。尾張ノ名古屋市。武藏ノ横濱市。攝津ノ神戸市。安藝ノ廣嶋市。加賀ノ金澤市。陸前ノ仙臺市。越中ノ富山市。紀伊ノ和歌山市。備前ノ岡山市。越後ノ新潟市。和泉ノ堺市。越前ノ福井市。駿河ノ静岡市。上野ノ前橋市。下野ノ宇都宮町。長門ノ赤間關。出雲ノ松江市。甲斐ノ甲府市。近江ノ大津町。美濃ノ岐阜市。信濃ノ長野町。陸中ノ盛岡市。播磨ノ

姫路市。陸奥ノ弘前市。伊勢ノ津市。越中ノ高岡。上野ノ高崎町。常陸ノ水戸市。

(二) 本州嶋ニ於ケル生業ノ一斑ヲ説ケ

山陰山陽ノ
生業ヲ詳記
セヨ

答 畿内ノ人民ハ、多ク、農業ニ從事スト雖、西京ノ如キハ、美術工藝ニ從事スルモノ多シ、大阪ハ、商業、工業トモニ、頗、盛ナリ。東海道ノ地味、肥沃ナル處ニテハ、耕種ヲ業トシ、海邊ノ人民ハ、漁耕ヲ兼テ、其ノ他、養蠶、機械ヲ管ミ或、茶ヲ栽培ス。東山道ノ中部ノ諸國ニ於テハ、耕作ノ外ニ、養蠶、製絲ニ從フモノ多シ、其ノ他、茶ヲ栽エ、或、鑛業ニ從フモノアリ、又、沿海ノ地ハ、専、漁業ヲ營メリ。北陸道ノ人民ハ、農耕ノ外、或、製茶、製漆、製陶ニ、或、養蠶、漁業、採礦ニ從事シ、又、機械等ヲ管ムモノアリ。山陰道ノ地味良好ナル處ニテハ、耕作ヲ業トシ、山間ノ人民ハ、牧、樵、採礦ニ從ヒ、其ノ他、製紙、製麻、製鐵ヲ職トシ沿海ハ、漁業ニ從事ス。山陽道ハ、農業、尤、多ク、商業、漁業、製鹽業、ユレニ次ギ、山間ニテハ、採礦、製紙ヲ事トスルモノ多シ。

(三) 本州嶋ニ於ケル農産物中ノ重ナルモノヲ擧ゲヨ

答 米ハ、越後ヲ第一トシ、全嶋、皆、産セサルノ地ナシ。麥ハ、武藏ヲ首トシテ

上野、常陸モ、亦、頗、多額ナリ。養蠶ノ盛ナルハ、上野、信濃ヲ、第一トシ、岩代、武藏、近江、ユレニ次ク。製茶ハ、山陰、加賀、三河、伊勢ヨリ産スルモノ巨額ナリ。綿ハ、尾張、三河、河内ノ諸國ニ多シ。藍ハ、尾張、武藏ヲ推ス。烟草ハ、常陸、相模、尤、名アリ。大豆ハ、武藏、常陸、陸前、越後ニ多ク産ス。小豆ハ、武藏、常陸、上野ニ多シ。甘蔗ハ、和泉ヲ、第一トシ、遠江、駿河、ユレニ次ク。甘藷ハ、安藝、紀伊、武藏等ヲ、首トス。菜蔬、楮、桑、麻等ハ、概、各地ニ産ス。甲斐ノ葡萄、下野ノ麻、羽後ノ蔴、紀伊ノ密柑等モ、亦、名アリ。山陰ノ兩道ハ、多ク、牛ヲ産シ、東山道ノ北部ニハ、多ク馬ヲ産ス。

(三) 本州嶋ニ於ケル水産物ノ主ナルモノヲ記セ

答 畿内ニテハ、攝津ノ鰹、鯛、鰯等、良品ナリ。東海道ニテハ、伊勢蝦、時雨蛤、駿河ノ興津鯛、相模ノ鰹、上總ノ鰻、最、著名ナリ。東山道ニハ、海産少ク、唯、仙臺ノ鮪、及、鰹等、名アルモノニシテ、河産ニ、鮒、鯉、鱒、鮭、鮎アリ。北陸道ニハ、若狹ノ鯛、能登ノ鯛、越後ノ鮭、其産ナリ。山陰道ハ、因幡ノ白珊瑚、出雲ノ鱈アリテ、其ノ名、高シ。山陽道ハ、安藝ノ牡蠣、長門ノ鮭、主品ニシテ、紀伊モ

亦、鯨、盛ナリ。沿海ノ地ニハ、海苔、海藻等ノ産アリ。瀬戸内海中、赤穂、三田尻ハ、精良ノ食鹽ヲ製出ス。

(三) 本州嶋ニ於ケル林産如何

答 畿内ニハ、大和ノ山林アリテ、杉、榎、樅、檜、檜、柏ノ類ニ富メリ。東海道ニハ伊勢ノ山林、遠江ノ大山林、伊豆ノ山林等アリテ、孰モ、榎、杉、樅、檜、山毛榉、梅等ノ大樹繁茂セリ。東山道ニハ、信濃ニ、著名ナル木曾ノ大山林アリ、檜ヲ、主木トシテ、榎、杉ノ類、ユレニ次ギ、我が國、第一等ノ良林ナリ。上野、下野ニモ、亦、有名ノ山林、數多アリ。陸奥ノ山林ハ、檜、松、杉、羅漢柏等アリ。羽後ノ山林ハ、榎、栗、桂、其ノ他ノ雜木アリ。北陸道ニハ、越中ノ森林アリ。山陰、山陽ノ兩道ニハ、サマデ、大ナル山林ナシ。紀伊ニハ、松、杉、檜、等ノ巨木、鬱々タル大山林アリテ、最、良材ニ富ム。

(三) 本州嶋ニ於ケル礦産ヲ問フ

答 東山道、最、豊富ナリ、中ニ就キテ、下野、岩代、陸中、羽後ノ諸國ハ、銅、鐵、銀、鉛等ニ富ム。山陽道ニハ、銅、鐵、及、燧石ノ産アリ。北陸道ハ、金、銅、及、石炭

石油ヲ産ス。山陰道ハ、銀、銅、鐵ヲ産セリ。畿内、及、東海道ハ、東山、北陸、山陰、山陽ノ四道ニ、稍、下ルモ、大和ハ、銅産多ク、尾張、三河ノ陶土、伊豆ノ根府川石等、名アリ。

(二) 本州嶋ニ於ケル製造品ノ主ナルモノヲ問フ

答 畿内ニ、京都ノ西陣織、鴨川染、清水焼。大和ノ奈良晒、吉野紙、吉野葛。河内ノ木綿、和泉ノ刃物、堺段通。攝津ノ紡績絲、織物、池田、灘、伊丹ノ酒、及、炭アリ。東海道ニテハ、伊勢ニ、萬古焼。尾張ニ、瀬戸焼、七寶焼、鳴海絞、名古屋扇。駿河ニ、駿河半紙、安倍茶。甲斐ニ、甲斐絹、郡内織。伊豆ニ、八丈絹、武藏ニ、秩父絹、八王子織物、千住羅紗、東京錦繪。下總ニ、結城紬、銚子縮、野田醬油、佐倉炭、流山味噌。常陸ニ、紙、銅器アリ。東山道中、主要ナル製造品ハ、近江ノ長濱縮緬、八幡蚊帳。美濃ノ美濃紙、岐阜提灯。信濃ノ上田織。上野ノ桐生絹。下野ノ日光塗。陸前ノ仙臺平、埋木細工。陸中ノ南部紬。羽前ノ米澤織等ナリ。北陸道ニ於ケル、製造品ノ著名ナルモノハ、若狹ノ若狹塗。越前ノ奉書紬、紙類。加賀ノ九谷焼、象眼細工。能登ノ輪嶋塗。越中富山ノ賣藥。越後

ノ越後紬、五泉平等トス。山陰道ニテハ、但馬ニ、柳行李。伯耆ニ木綿。石見ニ半紙アリ。山陽道中、播磨ニ、姫路草細工、龍野醬油。美作ニ雲齋織。備前ニ備前焼、長船ノ刀劍。備後ニ疊表。周防ニ、岩國縮、及、半紙等アリ。紀伊ニ、綿ふらんねる、高野紙アリ。

(三) 本州嶋ニ於ケル道路ノ主ナルモノヲ擧ゲヨ

答 京都ハ、明治以前、歴代ノ帝都ニシテ、東京ハ、現今ノ首府タルヲ以テ、諸國ノ道路、皆、ユノ二府ヲ起點トセリ。今、東京ヨリ、諸國ニ通ズル、街道ノ主ナルモノヲ擧グレバ、左ノ如シ。

(い) 東海道ト稱ス。

支路ニ、岐阜街道ト、參宮街道トアリ。

(ろ) 中仙道、又、木曾街道ト云フ。

支路ニ、越後路アリ。

(は) 陸羽街道、又、奥州街道ト云フ。

支路ニ、二道アリ。

(二) 水戸街道ト、甲州街道トノニアリ。
 又、京都ヨリ、諸國へ發スル、主ナル街道ヲ舉ゲレバ、左ノ如シ。
 (い) 東國街道ニシテ、東海、中仙、北國ノ三道ニ、分ル、モノ。
 (ろ) 西國街道ニシテ、播磨路ト、丹波路ト、大和路トノ、三方ニ分ル、モノ。

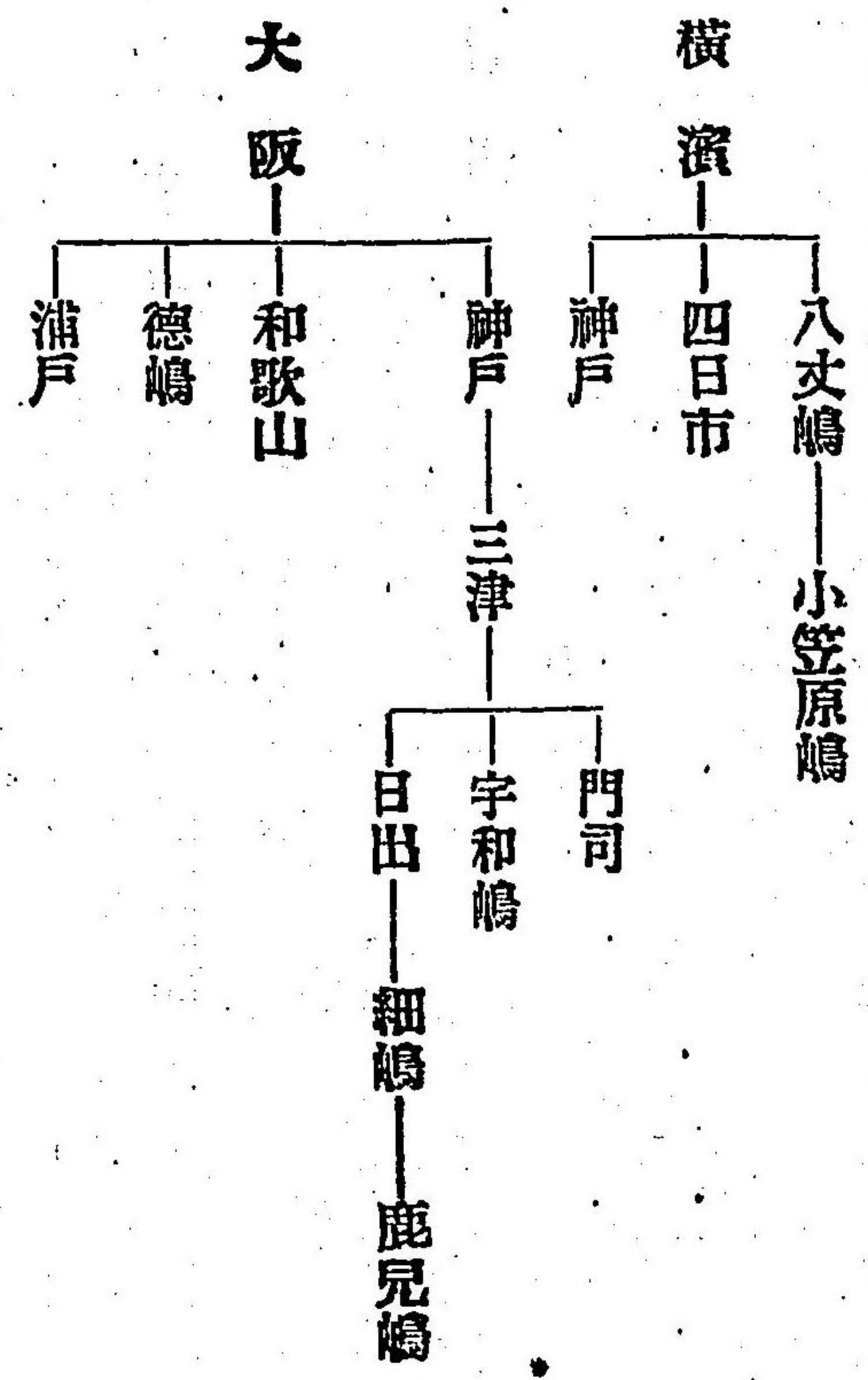
(三) 本州嶋ニ於ケル鐵道ノ主ナルモノ如何

答 既成線路ノ中、最、長キモノハ、東京ヨリ、西方、安藝ノ廣嶋ニ達シ、東方、陸奥ノ青森ニ至ル、一線ニシテ、此ノ線路ノ中、神戸以西チ、山陽鐵道ト稱シ、東京以東チ、東北道鐵道ト云ヒ、東京ト、神戸トノ間チ、東海道鐵道ト云フ。東京ヨリ、碓氷隧道ヲ經テ、越後ノ直江津ニ至ルモノチ、中仙道鐵道ト云フ、ユノ線路中、上野ノ高崎ヨリ分レ、前橋ヲ經テ、下野ノ小山ニ達スルモノチ、両毛鐵道ト云ヒ、小山ヨリ、常陸ノ水戸ニ達スルモノチ、水戸鐵道ト云フ。越前ノ金ヶ崎ヨリ起リ、近江ノ米原ニテ、東海道線路ニ合シテ、神戸、及、名古屋ニ通スル一線アリ。ユノ外ニ、大阪、阪堺、播但、攝津、浪速、奈良、南和、太田、初瀬、佐野、青梅、川越、參宮、總武、房總、甲武等ノ鐵道線路アリ。

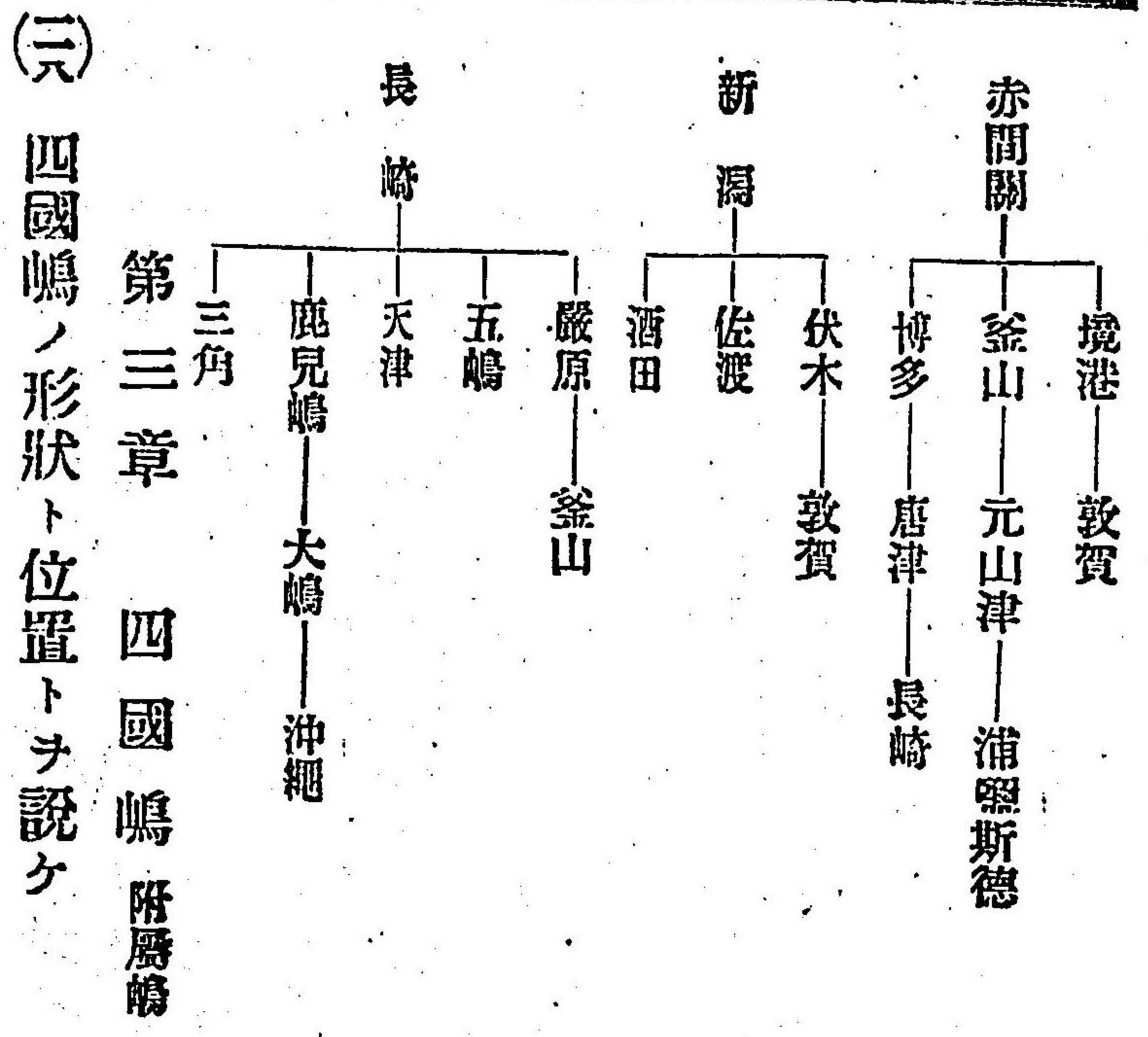
本州嶋ヲ縦斷セル鐵道ヲ問フ

(三) 本州嶋ニ於ケル主ナル航路ヲ問フ

答 主幹航路ニアリ一ハ、横濱ヨリ、神戸、赤間ヶ關ヲ經テ、長崎ニ達スルモノニシテ、ユノ航路、七百十七哩アリ。一ハ、横濱ヨリ、萩濱ト、函館トヲ經テ、小樽ニ達スルモノニシテ、ユノ航路、七百五十四哩アリ。其ノ他、各要地ト、各要港トノ間ニ存スル航路夥シ、今、左ニ、二三ヲ摘載セン。



朝鮮ノ釜山
ト元山津ト
ト元山船ハ何
キレヨリスベ
キヤ



四國嶋ノ位
置ト區別ト
ヲ示セ

答 四國嶋ハ、其ノ形、恰、蝙蝠ノ兩翼チ、張ルガ如ク、本州嶋ノ西南ニアリテ南ハ、太平洋ニ面シ、北ハ、瀬戸ノ内海ヲ擁シテ、山陽道ト相對シ、西ハ、九州嶋ト、海ヲ隔テ、相向フ。

(三) 四國嶋ヲ幾道ニ分ツカ

答 一道ニシテ、南海道ト稱ス、本州嶋ノ南端ニ斗出セル、伊紀ノ一國ト、海中ノ一小嶋ナル淡路嶋トヲ合シテ、一道トス。

(三) 四國嶋ノ區劃如何

答 紀伊一國ハ、和歌山縣ト、三重縣トニテ分轄シ、淡路嶋ハ、兵庫縣ニ屬シ、餘ノ四國ハ、四縣ニテ統轄セリ。

(三) 四國嶋中ニ於ケル縣名ト所在地ト管轄區域トヲ示セ

答 德島縣ハ、阿波國、徳嶋市ニアリテ、阿波國ヲ統轄ス。讃岐國、高松市ニアリテ、讃岐國ヲ統治スルハ、香川縣ナリ。愛媛縣ハ、伊豫國、松山市ニアリテ、伊豫國ヲ統轄ス。高知縣ハ、土佐國、高知市ニアリテ、土佐國ヲ管轄ス。

(三) 四國嶋ノ地勢ヲ畧述セヨ

答 中央ハ、山脈、東西ニ連亘シ、諸川、ユレヨリ出デ、四方ニ流レ、海岸ハ概、平坦ニシテ、瀬戸内海ニハ、無數ノ嶋嶼アリ。

(三) 四國嶼中ノ主ナル山岳ヲ列擧セヨ

答 伊豫ノ石槌山ハ、火山ニシテ、瓶森山ト相對峙シ、四國嶼第一ノ高山トス。阿波ノ西南ニ、劍山アリ。阿波、讃岐ノ境ニ、雲邊寺山アリ。讃岐ニ、象頭山、及、八栗山アリ。土佐ト、伊豫トノ境上ニ、三瀧山アリ。

(三) 四國嶼ニ於ケル原野ノ大ナルモノヲ擧ゲヨ

答 四國嶼ニハ、原野ノ大ナルモノナシ、東北部ノ一般ハ、廣濶ナル低地ナリ、ユレテ、第一ノ平野トス、名産ナル藍ノ主産地タリ。

(三) 四國嶼中ニ於ケル河川ノ主ナルモノヲ問フ

答 渡川(三十七里三十三町)ハ、源チ、伊豫ノ中央ニ發シ、土佐ニ入り、海ニ注グ。吉野川(三十七里十五町)ハ、一ニ、四國三郎ト云フ、瓶森山ニ發源シ、東流シテ、阿波ヲ貫キテ、海ニ朝ス。那賀川ハ、阿波ト、土佐トノ境ニ發源シ、阿波ノ南部ヲ流レテ、海ニ注グ。物部川ハ、源チ、阿波ノ界ニ發シ、土佐ノ東邊ヲ流

レテ、土佐灣ニ入ル。仁淀川ハ、伊豫ヨリ來リ、土佐ニ入り、中部ヲ流レテ、土佐灣ニ注グ。

(三) 四國嶼ニ於ケル湖沼ノ大ナルモノヲ問フ

答 北條池ハ、四國嶼、第一ニシテ、讃岐ニアリ。

(三) 四國嶼ニ屬スル灣ト灘トヲ問フ

答 土佐灣ハ、土佐ノ南ニアリ。伊豫灣ハ、伊豫ノ西方ニアリ。四國嶼ノ南海岸ニアルモノチ、土佐沖ト云ヒ、北岸ニアルモノチ、懸灘、硫黃灘ト云フ。

(三) 四國嶼ニ屬スル崎岬ノ主ナルモノヲ問フ

答 阿波ニ、蒲生田岬アリ。土佐ニ、室戸岬、蹉陀岬(足摺岬トモ云フ)アリ。伊豫ニ、佐田岬、梶取岬アリ。讃岐ニ、箱崎岬アリ。

(三) 四國嶼ニ屬スル嶋嶼ノ大ナルモノヲ問フ

答 讃岐ト、伊豫トノ海上ニ、多ク星散ス、其ノ最、大ナルモノチ、小豆嶋トス。豊嶋、ユレニ屬ス、小豆嶋ニ次グモノチ、伊豫ノ大三嶋、伯方嶋、勿那嶋、奥居嶋等トス。

(三) 北海道ニ於ケル要港ヲ問フ

答 淡路嶋ニ、由良、福良ノ二港アリ。阿波ノ撫養港ハ、淡路ノ福良港ト、相對ス。讚岐ニ、丸龜、多度津ノ二港アリ、共ニ、船舶ノ出入多シ。宇和嶋、今治、三津ク濱ノ三港ハ、伊豫ニアリ、宇和嶋ハ、風波、甚、穩ナルヲ以テ、碇船ニ宜シ。高知ノ要津ハ、土佐ノ浦戸港ナリ。

(三) 四國嶋ニテ尤有名ナル鑛山ハ

答 伊豫ノ別子銅山、尤、名アルモノトス。

(三) 四國嶋ノ鑛泉ハ如何

答 鑛泉ノ湧出スル地、凡、九ヶ所ニシテ、伊豫ノ道後ハ、硫黃泉ヲ以テ、著名ナリ。

(三) 北海道ノ地味如何

答 江河ノ近傍ト、沿海ノ地方トハ、概、肥沃ナリ、禾穀ノ耕種ニ適ス。

(三) 四國嶋ノ氣候ヲ概記セヨ

答 山脈ノ南ト、北トニヨリテ、多少ノ差違アレドモ、概、温暖ナリ。土佐ノ南

四國嶋ニテ有名ナル鑛山ト鑛泉トヲ問フ

方、沿海ナル高知ノ如キハ、頗、温暖ニシテ、雨量多シ。

(三) 四國嶋ニテ有名ナル都市ヲ問フ

答 阿波ノ徳嶋ハ、四國嶋、第一ノ都市ニシテ、吉野川ノ河口ニ位シ、人口、六萬一千一百五十人アリ、通商、甚、盛ナリ。土佐ノ高知(三萬七千二百十二人)ハ、土佐灣頭ニアリ。讚岐ノ高松(三萬四千六百七十二人)ハ、海岸ニアリテ、内海ヲ航スル船舶、多クユノ地ニ寄泊ス。伊豫ノ松山(三萬四千五百二十九人)ハ、國ノ西北端ニアリテ、市街賑シ。ユノ他、讚岐ニ丸龜(一萬九千三百八十六人)、阿波ニ撫養町(一萬七千七百三十七人)アリ。

(三) 北海道住民ノ生業如何

答 各國ノ氣候ニ、大差ナキヲ以テ、生業モ、亦、相、似タリ。山間ノ住民ハ、樵業採礦ニ從フモノアリ。平地ノ人ハ、農耕、或、商、工ヲ事トス。沿海居民ノ生業ハ、漁業ト、製鹽トナリ。

(三) 北海道ノ農産物ハ如何

答 米ハ、讚岐ト、伊豫トナ、最、多シトス。麥ハ、讚岐、伊豫、阿波ノ三國、

巨額ナリ。製茶ハ、土佐ヲ、第一トシ、伊豫、ユレニ次ケ。綿花ハ、讃岐ヨリ、出ツルモノ多シ。藍ハ、阿波ノ特産ニシテ、海内無双ト稱ス、讃岐モ、亦、産出少カラズ。煙草ハ、阿波ヲ、第一トシ、伊豫ヲ第二トス。讃岐ノ甘蔗ハ、我が國ノ第一位ヲ占ム。甘藷ハ、伊豫ヲ第一トス。牛ハ、伊豫ト、讃岐トニ多シ。馬ハ、土佐、伊豫ノ二國、名アリ。

(三) 四國嶋ノ水産物ハ如何

答 土佐ハ、鯨、甚、盛ニシテ、鰹節、及、珊瑚モ、亦、著名ナリ。讃岐ト、阿波ト、伊豫トハ、製鹽多ク、阿波ノ齋田、最、名アリ。

(三) 四國嶋ニ於ケル山林如何

答 著名ノ大山林ナキモ、良材ヲ出スノ地ナキニアラス、土佐ノ樺ハ、稱美セザル。

(四) 南海道ノ鑛産概況ヲ述ベヨ

答 伊豫ト、土佐トノ銅、第一ニシテ、各國、皆、石材ノ産出アリ。

(四) 南海道ニ於ケル製造品ノ重ナルモノ二三ヲ記セ

答 淡路ノ伊賀野焼、阿波ノ織織、讃岐ノ保多縞、伊豫ノ松山縞、土佐ノ半紙等ナリ。

(四) 南海道ニ於ケル道路ヲ説ケ

答 淡路嶋ハ、地域狭ク、山多クシテ、陸路不便ナルモ、水路ハ、自由ナリ。南街道トハ、阿波ノ徳嶋ヨリ、南西ニ進ミ、土佐ニ入り、高知ヲ經テ、伊豫ノ宇和嶋ニ達スルモノヲ云フ。伊豫ノ宇和嶋ヨリ、松山ヲ過ギテ、東北ニ進ミ、讃岐ニ入り、多度津、高松ヲ經テ、徳嶋ニ到ルモノヲ、北街道ト云フ。一般ニ、陸路不便ニシテ、海路ノ便利ニ富ム。

(三) 四國嶋ニ於ケル鐵路ノ概況

答 讃岐ノ丸龜ト、琴平トノ間。伊豫ノ高濱ヨリ、平井河原マデト。立花ヨリ、森松マデト。松山ヨリ、郡中マデト。道後御寶町ヨリ、古町マデト。五短線アリ。

(四) 四國嶋ニ於ケル航路ノ概況

答 攝津ノ大阪ヨリ、徳嶋、高松、多度津、今治、三津ヶ濱、宇和嶋、高知等ノ

諸港ニ、來往スル航路數條アリ。

第四章 九州嶋 附屬嶋

(望) 九州嶋ノ形狀ト位置トヲ問フ

答 九州嶋ハ、其ノ形、猿猴ノ立チテ、舞フガ如ク、本州嶋ト、四國嶋トノ西南ニアリテ、東南ハ、太平洋ニ面シ、西方ハ、支那海ニ臨ミ、北方ハ、日本海ニ瀕ス。

(二) 九州嶋ノ區劃如何

答 九州嶋ハ、屬嶋ト、共ニ、ユレチ分割シテ、十二國トナシ、八 ヲムキテ、統治セリ。

(三) 九州嶋中ノ縣名及所在管轄區域ヲ示セ

答 長崎縣ハ、肥前國、長崎市ニアリテ、肥前ノ内一市六郡ト、壹岐ト、對馬トヲ統治ス。筑前國、福岡市ニアルハ、福岡縣ニシテ、筑前ト、筑後ト、豊前ノ内六郡トヲ管治ス。豊前ノ内二郡ト、豊後トヲ管轄セルハ、大分縣ニシテ、豊後國、大分町ニアリ。佐賀縣ハ、肥前ノ内一市十郡ヲ統轄シ、縣廳ハ、肥前國、佐賀市

九州嶋ノ形狀ト位置トハ、地圖トナシ

九州島所在ノ縣名ト主ナル島トヲ示ス

(一) 九州嶋ノ地勢ヲ畧說セヨ

答 九州嶋ノ沿岸ハ、出入屈曲極メテ多ク、特ニ、西海岸ヨリ、南海岸ニカケテハ、水陸ノ交界、犬牙錯雜シ、無數ノ嶋嶼、近海ニ星散基布ス、内地ハ、北部ノミ、平地ニシテ、中央ハ、山脈、南ヨリ北ニ連リ、支脈、左右ニ出デ、嶮峻ノ地多ク、深谷、幽谷、亦、多シトス。

(二) 九州嶋中ノ主ナル山岳ヲ列舉セヨ

答 豊前ノ西南隅ニハ、英彦山、屹立セリ。豊後ノ西南境ニ、祖母嶽アリ。肥前ノ東部ニハ、多良岳並ニ、南端、崎原ノ中央ニハ、温泉岳アリ。肥後ノ阿蘇山ハ、五峰、雲際ニ屹立シ、其ノ最、秀ツルモノヲ、高岳ト云フ。日向ノ霧嶋山ハ、大隅ニ跨リ。櫻嶋岳ハ、大隅國、櫻嶋ノ中央ニ屹立セリ。開聞岳ハ、薩摩ニアリ。

屋久嶋ニハ、八重岳アリ。前記、諸山ノ中、有名ナル火山ハ、温泉岳、阿蘇山、霧嶋山、櫻嶋岳ノ四座ナリ。

(三) 九州嶋中主要ナル平野ヲ問フ

答 肥、筑、豊、諸國ノ海岸ハ、概、平地ニシテ、肥沃ナリ、トリツケ、筑前ノ平野ハ、大ニシテ、筑後、肥前ノ二國ニ亘リ。其ノ他、日向、大隅等ニモ、亦、平原ノ野アリ。

(三) 九州嶋中ノ有名ナル河流ヲ問フ

答 筑後川(二十七里二十九町)ハ、又、千年川ト云テ、九州嶋、第一ノ大河ニシテ、筑紫二郎稱アリ、ノ豊後ト、肥後トノ山間ニ發源シ、筑後ノ北邊ヲ回流シテ、海ニ注グ。大淀川(二十五里)ハ、日向ノ西境ヨリ發シ、東流シテ、日向海ニ入ル。球磨川(二十里十五町)ハ、肥後ノ東境ニ發スル、有名ノ急流ナリ。川内川ハ、源ヲ、日向ト、大隅トノ山間ヨリ發シ、薩摩ヲ西流シテ、海ニ朝宗ス。以上ニ次ギテ、著名ナルモノハ、筑前ノ遠賀川、筑後ノ矢部川、豊前ノ山國川、豊後ノ大野川、肥前ノ武雄川、肥後ノ菊池川等ナリ。

九州嶋ノ平野ト著名ナル河水トナリ

九州嶋ノ湖沼ト有名ナル湖沼トナリ

(三) 九州嶋ニ於ケル湖沼ノ大ナルモノヲ問フ

答 九州嶋ニハ、十三個ノ湖沼アレドモ、皆、小ニシテ、周回、三里以上ノモノ、僅ニ、二湖、其ノ一チ、池田湖(周回四里二十九町)トス。薩摩半嶋ノ南部ニアリ、水、頗、深シ。ユレニ次グモノチ、筑前ノ北部ニアル。鴨生田池トス。

(三) 九州嶋ニ屬スル灣ト灘トノ著名ナルモノヲ記セ

答 筑紫灣ハ、又、有明海ト云フ、肥前、筑後、肥後ノ間ニアル、大灣ナリ。薩摩ト、大隅トノ間ニアル内海チ、鹿兒嶋灣ト云フ。大隅ト、日向トノ岬角、相望ム、其ノ間チ、志布志灣ト云フ。大村灣ハ、又、鯛浦ト稱ス、肥前ノ西邊ニアリ。大分灣ハ、豊後ノ東北ニアリ。肥前ノ西北端ニ、伊萬里灣アリ。博多灣ハ、筑前ノ西邊ニアリ。九州嶋ノ北ニ、玄海灘アリ、西ニ、天草灘アリ、東南ニ、日向灘アリ、南ニ、七嶋灘アリ。

(三) 九州嶋ニ屬スル有名ナル岬崎ニ二三ヲ舉ゲヨ

答 豊後ノ地藏岬、日向ノ都井岬、大隅ノ佐多岬、薩摩ノ野間岬、肥前ノ野母岬等チ、著名ナルモノトス。

九州嶋所屬ノ岬崎ト著名ナル岬崎ヲ以テ示セ

(一五) 九州嶋所屬ノ嶋嶼如何

答 豊岐ト、對馬トノ二國ヲ除キテ、肥前ノ西方海上ニ、平戸嶋アリ、中通、福江、宇久、奈留、久賀、コレヲ五嶋ト稱ス。肥前ト、肥後トノ間ニ、天草嶋アリ。鹿兒嶋灣内ニ、櫻嶋アリ。南海上ニ、種子、屋久ノ兩嶋アリ、其ノ南方ニ、大嶋、及、徳ノ嶋アリ。薩摩ノ西南海中ニハ、琉球諸嶋アリ、大小、五十五ノ嶋嶼、斜ニ連ル、沖繩嶋、最、大ナリ。

(一六) 西海道中ノ著名ナル要港ヲ問フ

答 港津ノ著名ナルモノハ、長崎ト、博多トヲ最トス、長崎ハ、我が邦、五港ノ一ニシテ、肥前ノ南部ニアリ、兵陵、三面ヲ繞リテ、一長灣ヲナス、灣内、風浪穏ニシテ、碇泊ニ宜シ、コレニ次グモノヲ、筑前ノ西濱ナル、博多港トス、亦々、頗、繁盛ノ港津ナリ。筑後ニ、若津港アリ。豊前ニ、門司ト、小倉トノ二港アリ。肥前ニ、佐世保、嶋原、口ノ津、唐津、名護屋ノ數港アリ、佐世保ハ、近來、海軍鎮守府ヲ設ケテ、軍港ニ充ツ。豊後ニ、佐賀關港アリ。肥後ニ、三角港アリ。薩摩ニ、鹿兒嶋ト、山川トノ二港アリ、鹿兒嶋港ハ、九州嶋南部ノ要港トス。對

九州嶋所屬ノ嶋嶼ト要港トヲ示セ

馬ニ、嚴原港アリ。琉球ノ沖繩本嶋ニ、那覇、運天ノ二港アリ。

(一七) 九州嶋ニ於ケル著名ノ鑛山ハ

答 肥前ノ高嶋ト、筑後ノ三池ト、豊前ノ田川トハ、最、著名ナル石炭坑ニシテ、産出、甚、多シト云フ。大隅ト、薩摩トニ、金山アリ。

(一八) 九州嶋ニ於ケル著名ノ鑛泉ハ

答 筑前ノ武藏、豊後ノ別府、濱脇、肥前ノ柄崎、嬉野、古湯、小濱、肥後ノ山鹿、大隅ノ硫黃谷、薩摩ノ湯浦等ノ鑛泉ヲ、著名ナルモノトス。

(一九) 九州嶋ノ地味ノ概況

答 筑後川以西ノ平野、最、肥沃ナリ、コレニ次グモノヲ、有名ナル、肥後米ノ産地ナル、肥後ノ平地トス。其ノ他ノ平野モ、概シテ、耕作ニ適セリ。

(二〇) 西海道ノ氣候如何

答 九州嶋ハ、我が國ノ南位ニアルヲ以テ、概、温暖ナレドモ、北部諸州ハ、南ニ、山ヲ負ヒ、北ニ、海ヲ受クルガ故ニ、冬期ハ、寒威、稍、強ク、降雪二三寸ニ達スルコトアリ、南スルニ從ヒ、益、温暖ヲ加ヘ、薩摩、大隅地方ハ、嚴冬ト

九州嶋ノ地味ヲ述ベテ著名ナル鑛泉ト所在ヲ示セ

雖、山間ノ外ハ、降雪、甚、稀ナリ、尙、進ミテ、琉球諸嶋ニ至レバ、炎熱ニシテ、周歲、霜雪ヲ見ズト云フ。

(三) 西海道中ニ於ケル都市ヲ問フ

答 肥後ノ熊本(七萬一千二十二)ハ、白川ノ北岸ニアリテ、市街殷賑ナリ。肥前ノ長崎(六萬七千四百八十一)ハ、内外ノ貨物輻輳シテ、市街、頗、繁盛ナリ。筑前ノ福岡(五萬八千二百十八)ハ、博多灣ニ臨ミ、港内ハ、船舶、常ニ淀泊ス。薩摩ノ鹿兒嶋(五萬五千四百九十五)ハ、鹿兒嶋灣ノ西岸ニ位セリ。肥前ノ佐賀(二萬八千九百五十五)ハ、國ノ南部ニアリ。筑後ノ久留米(二萬六千九百六十二)ハ、國ノ西北部ニアリ。以上ニ次グモノチ、豊前ノ小倉(一萬八千八百二十六)ハ、肥前ノ佐世保(一萬六千一百三十四)ハ、豊後ノ大分、日向ノ宮崎、沖繩ノ那覇等トス。

(三) 西海道各地住民ノ生業ノ概況ヲ記述セヨ

答 内部ノ人民ハ、多ク、農業ニ從事シ、間、採炭ヲ業トスルモノアリ、海岸ノ住民ハ、漁業ト、農耕トチ、兼ヌルモノ多シ、或、農耕ト、漁業ト、紡績トチ兼チ、或、農耕ト、漁業ト、採炭トチ、兼チ營ムモノアリ、商業ノ、最、盛ナルハ、長崎、鹿兒嶋、熊本、博多等ニシテ、コノ地方ノ人民ハ、商、工者、頗、多シ。對馬ハ、地味、瘠薄ニシテ、耕耘ニ適セス、居民ハ、概、漁業ヲ事務トセリ。

(三) 西海道ニ於ケル農産物ノ主ナルモノヲ記セ

答 米ハ、肥前ト、肥後ト、最、多ク、筑前ト、筑後ト、コレニ次グ。麥ハ、肥後、肥前、第一ニシテ、豊後、コレニ次グ。製茶ハ、筑後チ、魁トシテ、日向ノ産出、最、巨額ニシテ、肥前、筑前、コレニ次グ。烟草ハ、豊後チ、第一等トシ、大隅、薩摩、肥前チ次トス。大豆ハ、肥後、肥前チ推ス。小豆ハ、肥後ニ多シ。甘蔗ハ、大隅ノ産出、第一ニシテ、肥後、肥前、コレニ次グ。甘藷ハ、肥前、肥後、沖繩チ、全國、第一ノ産地トシ、日向、其ノ次ナリ。牛ハ、豊後、肥前、肥後ニ多シ。馬ハ、肥後、日向ニ多シ。

(三) 西海道中ノ水産物ノ重ナルモノヲ擧ゲヨ

答 水産物ハ、各國、各州、ユニアラザルハナシ、中ニ就キテ、豊後ノ海邊、漁

西海道ノ農産物トシテ、五種ナリ

西海道ノ氣候ヨリ住民ノ生業ニ及ボセ

業、最、盛ナリ、而シテ、人口ニ、膾炙セルモノハ、肥前ノ鰯、海鼠、五嶋ノ鯨、薩摩ノ鱈節等、ユレナリ。

(三) 西海道中ノ林産如何

答 西海道中ニハ、著名ノ大山林ナシト雖、筑前ノ樟、松、杉、筑後ノ杉、樺、肥前ノ松、肥後ノ杉、檜、樺、櫻、椴等ヲ、良材トス。

(三) 西海道中ノ重ナル鑛産ヲ問フ

答 大隅ト、薩摩トノ金、銀、肥前ト、筑前ト、筑後トノ石炭ハ、其ノ名、共ニ、高シ、本道ノ鑛産ハ、金、銀、石炭、陶土ヲ最トシ、殊ニ、石炭ハ、日本全國、第二ト下ラサルベシ。

(三) 西海道中ノ主ナル製造品ヲ列舉セヨ

答 筑前ノ博多織。筑後ノ生蠟、久留米紵、豊前ノ小倉織。豊後絞。肥前ノ有田燒。日向ノ半切紙、樟腦。薩摩紵、大嶋紵、薩摩燒、燒酎、七嶋筵。琉球紵、芭蕉布、泡盛、朱塗漆器等ヲ主ナル製産物トス。

(三) 西海道中ノ主ナル道路ヲ問フ

答 九州嶋ニ於テハ、街路ヲ、東、中、西ノ三大部ニ分テ、皆、豊前ノ小倉ヲ起點トス。東街道トハ、東海岸ニ沿ヒ、豊前ノ中津、豊後ノ大分、日向ノ延岡、宮崎、大隅ノ國府、加治木ヲ過ギテ、薩摩ノ鹿兒嶋ニ到ルモノ。中街道トハ、東、西、兩道ノ中間ニアリ、即、筑前ノ黒崎、筑後ノ久留米、肥後ノ熊本、薩摩ノ阿久根ヲ經テ、鹿兒嶋ニ達スルモノ。西街道トハ、肥前ノ福岡ヲ經テ、肥前ニ入り、佐賀ヲ過ギテ、長崎ニ達スルモノ。壹岐、對馬、沖繩等ノ街路ハ、記スベキモノナシ。

(三) 西海道中ノ主ナル鐵路ヲ問フ

答 門司ヨリ、三角。鳥栖ヨリ、長崎。有田ヨリ、佐世保。宇土ヨリ、八代。小倉ヨリ、行橋ノ五短線ヲ、九州鐵道ト云フ。若松ヨリ、金田。直方ヨリ、飯塚。小竹ヨリ、幸袋。飯塚ヨリ、臼井ノ四線路ヲ、筑豊鐵道ト云フ。四日市ヨリ、伊田ニ到ル、一線ヲ豊州鐵道ト云フ。

(三) 西海道ニ屬スル主ナル航路ヲ問フ

答 大阪ヨリ、豊後ノ別府、大分、佐賀關、筑前ノ博多、肥前ノ唐津、伊萬里、

西海道ノ林産ト鑛産トヲ問フ

西海道ニ於ケル製造品ノ概況ヲ及ニ關シテ交通ノ便ト云フ

長崎、五嶋、肥後ノ三角、日向ノ細嶋、延岡、薩摩ノ鹿兒嶋、大嶋ノ名瀬、琉球ノ那覇等ニ、航通スル數條ノ針路アリ。

第五章 臺灣嶋

(一) 臺灣嶋ノ形狀及位置ヲ問フ

答 臺灣嶋ハ、南北ニ長ク、東西ニ短ク、其ノ形、恰、海面ニ泛ヘル海鼠ノ如シ、北ハ、先嶋列嶋ニ隣接シ、東ハ、渺茫ナル太平洋ニ臨ミ、南ハ、海洋ヲ隔テ、西班牙領ノひりつびん群嶋ニ對シ、西ハ、臺灣海峡ヲ隔テ、清國ノ福建省ト相對ス。

(二) 臺灣嶋ノ廣袤ト面積トヲ問フ

答 南北ノ、最、長キ所、九十五里ニシテ、東西ノ、最、廣キ所ハ、三十三里ナリ、面積ハ、二千五百三十二方里ナリ。

(三) 臺灣嶋ノ區劃ヲ問フ

答 臺灣嶋ニハ、一ノ總督府ヲ置キ、三縣、一嶋廳、ユレニ隸屬シテ、全嶋ヲ統治ス

臺灣嶋ノ廣袤ト面積トヲ問フ

臺灣嶋ノ區劃ハ如何

臺北縣、

淡水支廳、

基隆支廳、

新竹支廳、

宜蘭支廳、

臺中縣、

鹿港支廳、

苗栗支廳、

雲林支廳、

埔里社支廳、

臺南縣、

嘉義支廳、

鳳山支廳、

恒春支廳、

臺東支廳、

澎湖嶼、

(一) 臺灣嶋ノ地勢ヲ畧説セヨ

答 一帯ノ山脈、嶋ノ中央ヲ、南北ニ貫キテ、地勢、自、東ト、西トノ兩部ニ分
レ、東部ハ、到ル處、峻嶺峨々トシテ、深林鬱蒼タリ、西部ハ、土地、平坦ニシ
テ、野、肥エタリ。

(二) 臺灣嶋ニ於ケル名高キ山岳ヲ問フ

答 全嶋ノ大部ハ、高地ナルヲ以テ、高山、峻岳少シトセズ、中ニ就キテ、其ノ、
最、高キモノハ、大龜佛山、即、もりそん山(一萬二千八百五十尺)ニシテ、東部
臺灣ノ中央ニ峙立ス、ユレニ亞グモノヲ、祐乃武山、即、しるぼゐ山(一萬一千
三百尺)トス、東部臺灣ノ北方ニアリ。ユノ外、とつと山脈ト、たんどら山脈ト
アリ。紗帽山(三千六百五十尺)ノ如キハ、高サ、三千二百尺ノ處ヨリ、硫黃瀝烟
ヲ噴出ス、該地方ニハ、六ヶ所ノ温泉アリ。基隆ノ南方ニアリテ、多ク、石炭ヲ
産スル山ヲ、三貂山ト云フ。基隆港ノ背後ヲ繞レル、山岳中ノ高峻ナルモノヲ、

臺灣嶋ノ地勢ヲ畧説セヨ
澎湖嶼ノ地勢ヲ畧説セヨ

臺灣嶋ニ於ケル名高キ山岳ヲ問フ

大鷄籠山ト云フ。

(一) 臺灣嶋ノ河流ノ大ナルモノヲ問フ

答 本嶋ハ、其ノ地形、狹長ニシテ、山脈ガ、南北ニ串通スルヲ以テ、江河ニ流
域ノ長大ナルモノナシ、其ノ中、稍、大ナルモノヲ、淡水河トス、中央ノ山脈ニ、
發源シ、太姑陷河ト、基隆河トヲ併セテ、淡水港ヨリ海ニ注グ、延長、殆、三十
里ニシテ、其ノ本流ヲ、滬尾河ト云フ。大肚溪ハ、中央ノ山脈ニ發源シ、臺灣ト、
彰化トヲ經テ、鹿港ヨリ、海ニ放注ス。其ノ他、中央、脊骨部ノ山脈ヨリ、流下
シテ、東西ノ海ニ朝宗スル小川ハ、數限リナク、廣野ヲ、貫通スルヲ以テ、大ニ、
土地ヲシテ、膏腴ナラシム、其ノ名稱ヲ擧グレバ、曾水、急水、八漿、寶斗、大
甲、吞霄、後瓏、三貂、大東等ノ如シ。

(二) 臺灣嶋ニ於ケル湖沼ノ大ナルモノ二三ヲ記セ

答 湖水ノ、最、大ナルモノヲ、水社湖トス、本嶋ノ中央ニアリ。古家湖ハ、大
姑陷川ノ水源ナリ。其ノ他、大香湖、羅屋湖等トス。

(三) 臺灣嶋ニ於ケル港灣ノ重ナルモノヲ問フ

臺灣島ニテ
太平洋岸ニ
關スル所ニ
關スル所ニ
關スル所ニ
關スル所ニ

答 本嶋ノ海岸線ハ、屈曲、極メテ少ク、又ハ、斷崖、絕壁ナルヲ以テ、良港、佳
港ニ乏シ。

・太平洋

加禮遠港、蘇澳港ハ、東部臺灣ノ一良港ナリ、山嘴、南北ヨリ、斗出シテ、彎
形ヲナス。奇萊港、緬坡蘭港、黑石港、拔搖港、滑勝東港。

南支那海

南海、肚寮港ト、風港トハ、寄泊スルニ足ルト雖、一朝、風浪ノ起ルコトアラ
バ、危険甚シ。琅璫灣、東港、打狗港ハ、一名ヲ、旗後ト云フ、臺灣西部ノ良
港ナレドモ、港内、水淺クシテ、大船ヲ泊スルニ便ナラズ、浚渫ノ工ヲ經バ、東
洋第一ノ佳港トナルベシ。

臺灣海峽

國姓港、安平港 定繫地ハ、海岸ヲ距ル、一里ニアリ、港内ハ、水淺ク、砂洲
多シ、殊ニ、西南定時風ノトキハ、安全ナラズ。笨港、鹿港ハ、嶋ノ中央ニア
ル要港ナレドモ、大船ヲ、泊スルニ足ラズ。大安港、香山港、竹塹港、淡水港

臺灣ニ於ケ
ル海峽ニ關
スル所ニ關
スル所ニ關
スル所ニ關
スル所ニ關

臺灣島ニ所
屬セル嶋嶼
ト半嶋トヲ
指シテ示セ

ハ、一二、滬尾街、又ハ、八里坌ト云フ、淡水河口ニアリ、港内、水淺クシテ
大船ヲ泊スベカラズ、特ニ、西北風ノ吹キ荒ムトキハ、港ノ用ヲナサズ。
東支那海
馬鎮港、基隆港ノ三面ハ、山巒ヲ以テ、コレヲ圍ミ、海水ノ灣入スルコト、二
里、港内、水深クシテ、大艦ヲ泊スルニ足ル、然レドモ、コノ港ハ、東北風ヲ
防グニ適セズ。烏石港。

(一七)

臺灣嶋ニ於ケル海峽ト半嶋ト岬角トノ主ナルモノヲ問フ

答 臺灣海峽トハ、支那大陸ト、臺灣嶋トノ間ニアル、海洋ノ一部ニシテ、其ノ
幅ハ、一百六十哩ニ過ギズ。澎湖水道トハ、澎湖群嶋ト、臺灣嶋トノ間ニアル海
峽ヲ云フナリ。本嶋ハ、極南ニ、半嶋形ヲ呈スル、一地方アリ、コレヲ、恒春半
嶋ト云フ。岬角ヲ、極北ヨリ、順次ニ、舉グレバ、富基岬、馬鎮岬、三貂角、と
ひ岬、南岬、南西岬、海口鼻、香山岬、鳳山岬、白沙角、南嵌角、麟山角等トス。

(一八)

臺灣嶋ニ附屬セル嶋嶼ノ主ナルモノヲ舉ゲヨ

答 澎湖群嶋ハ、支那大陸ト、臺灣嶋トノ中間ニアリテ、澎湖、白沙、漁翁ノ三

大崎、相、拖擁シテ、一大良灣ヲナス、港内、水深クシテ、且、廣濶ナリ、灣内ハ、分レテ、媽宮港、澎湖港等ヲ形成セリ、大小ノ嶋嶼、或、二十一ナリト云ヒ或、五十二ナリト云フ、其ノ中、名アルモノハ、北ニ、大烈嶋、南ニ、八罩嶋、倉嶋、倭船嶋等ナリ。東港ノ西南ニ、小琉球嶋アリ。紅頭嶋ハ、南岬ノ東ニアリテ大小二嶋ナリ。臺東ノ海岸ヲ距ルコト、三四十湮ノ處ニ、一嶋アリ、ユレテ、火燒嶋ト名ク。宜蘭ノ東北ニ、小龜山アリ。鷄籠嶋、并ニ、西樓山嶋(西洋人、ユレテ、椰子嶋ト云フ)ハ、基隆港ノ灣口ニアリ。

(二) 臺灣嶋ニ於ケル鑛山ノ重ナルモノヲ問フ

答 本嶋ノ炭礦ニ富メルコトハ、最、夥シキモノニシテ、到ル處トシテ、炭脈ヲザルハナシ、石炭坑ハ、基隆ト、暖々街トノ近傍ニ、七十餘坑ト、錫口ト、艋舺山トノ附近ニ、三十坑アリ。基隆附近ニアル所ノ、砂金採取地ノミヲ擧グルモ左ノ如シ。

金瓜石山、九份山、大粗坑山、小粗坑山、大竿林山、瑞芳、員山仔、龍潭堵、三瓜仔、笠石、鯨魚坑、大寮社、四脚亭、粗坑口、暖々、八堵、七堵、六堵、五堵

砂金採取地ノ重ナルモノヲ擧ル

水邊脚。

硫黃山ハ、北部ノ各地ニ多シ。中央部ノ高山間ニ、金、銀、銅坑アリ。打狗、及、おうらんノ近傍ニ、石油坑アリ。

(三) 臺灣嶋ニ於ケル鑛泉ヲ問フ

答 臺北縣管内ニ於ケル、數條ノ山脈ハ、皆、火山質ヲ帶フ、其ノ最、著名ナルモノヲ、紗帽山ト云フ、其ノ附近ノ地方ニハ、六ヶ所ノ温泉アリテ、湧出スルトキハ、響、數里ノ外ニ、遠スト云フ。

(四) 臺灣嶋ノ地味如何

答 土壤、一般ニ肥沃ニシテ、稼穡ヲ施スニ、適セザルノ地ナキガ如シ、本嶋北部ノ諸丘陵ニ、繁茂セル茶樹ハ、元來、支那、福建省ノ寒地、瘠上ヨリ、移植セシモノナリ、然ルニ、其ノ純良ナル茶葉ナルコト、何ノノ産モ、比スルコトヲ得ズ、又、開拓セザルノ地ハ、樹木、鬱々蒼々トシテ繁茂シ、天然ノ森林ヲナス、從ヒテ、赭土不毛ノ地ヲ見ルコト、極メテ稀ナルヲ以テ、土壤ノ良好ナルコト、推シテ知ルベシ。

臺灣嶋ノ地味如何ノ現況

(二五) 臺灣嶋ノ氣候ヲ詳述セヨ

答 夏季ハ、炎熱甚シク、時ニ、華氏、百度以上ニ達スルコトアレドモ、八月ノ最高温度ハ、通例、九十七八度ニアリ、朝夕ハ、概、八十五六度ニシテ、常ニ、諸山ヨリ絶エズ、清涼ノ風ヲ吹キ降シテ、暑熱ヲ減殺スルガ故ニ、夜中ハ、殊ニ、爽快ヲ覺ユ、而シテ、室内、又ハ、樹陰ノ處ハ、晝間、華氏ノ九十度ニ昇ルコト稀ニシテ、夜間ハ、概、八十五六度以下ナリ。冬季ハ、寒氣、酷烈ナラズ、高山ノ頂上ニ、屢、雪ヲ冠スルコトアルモ、通常温度ハ、四十度、乃至、七十五六度トス、故ニ、一棉衣ヲ以テ、過スベク、血氣、盛ナルモノニ至リテハ、或、裕ニテ冬季ヲ送ルモノアリ。春夏ノ二季ハ、雨少ク、早多シ、秋冬ニ至レバ、霖雨、時々至リテ、陰霽定ラズ、烟ノ如ク、霧ノ如ク、一去一來、連旬、止マサルコトアリ。一年間、概シテ、天氣ハ、快晴ノ日多シト雖、東北風ノ起ルトキハ、砂塵、大ニ飛揚シテ、屋内、道路ノ如キ觀テ、呈スルコトアリ、且、東岸一帯ハ、嶮岨ニシテ、常ニ、東北ノ定期風ハ、暴威ヲ、逞シクセリ、定期風ノ強キハ、一ケ年中、八ケ月間ナリトス。北部ノ雨量ハ、三千みりめを越ス以上ニシテ、南部ノ雨量ハ

臺灣嶋ノ定期風トナリテ詳記セヨ

一千五百みりめを越ス以下ナリ、一年間、降雨ノ量ハ、平均、凡、二千みりめを越ス外ニ過ギズ。

(二六) 臺灣嶋所屬ノ都會ヲ記セ

答 臺北ハ、臺灣總督府ノアル所ニシテ、四面、繞ラスニ山ヲ以テシ、風光明媚ナリ、城壁ノ周圍、大約、一里、東、西、南、北、各、複門ヲ設ク、市街ノ西端ニ、一條ノ河流アリ、淡水ニ通ズ。大稻埕ハ、北門外ニアリテ、其ノ區域、頗、廣大ナリ。西門ヲ出ツレバ、艋舺アリ。臺北ハ、物産ノ集散地ニシテ、全嶋ノ首府トナスニ足ル。淡水ハ、臺北ト、相待テテ、商業、繁盛ノ地ナリ、税關アリ、海口ニハ、小船數十隻碇泊シテ、帆樑林立セリ、輸出入品ノ關門タリ。基隆ハ、山水清秀、風光佳絶ナリ、其ノ市街ハ、港ノ南端ニシテ、亦、税關アリ。宜蘭ハ、舊、土蕃ノ地ナリシガ、近時、開拓シテ、一都邑ヲナスニ至レリ、コレヨリ、西南ノ諸山ハ、土蕃ノ巢窟ナルヲ以テ、二十餘ヶ所ノ寨柵ヲ構フ。新竹ハ、土地、肥沃ニシテ、南ハ、大甲溪ヲ劃シテ、彰化ニ界シ、北ハ、頭重溪

臺灣嶋ノ北極ニ至ル都市ノ景ヲ記セ

ト、土牛溝トテ隔テ、淡水ニ接シ、大山ヲ負ヒ、海ニ臨ミ、臺北ノ南方、凡、二十里ニアリ。

臺灣ハ、本嶋ノ中央ニアリ、曩ニ、清國政府、ユノ地ニ、首府ヲ置キタレドモ、創設後、僅ニ、數年ニシテ、臺北ニ移シタルヲ以テ、市街繁盛ナラズ。

彰化ハ、臺灣ノ西方、鹿港ノ上流ニ方リ、大肚溪ノ畔ニアリ、土地、平坦ニシテ耕作ニ、便ナル地方ナリ。

嘉義ハ、臺灣、南北ニ通ズル要區タリ、其ノ西海岸ニハ、三四ノ小港アリテ、最南ニアルモノヲ、井仔脚港トス、夫ヨリ、鹽水港、布袋嘴港、猴樹港、笨港等ナリ、笨港ハ、一名ヲ、下湖口ト云フ、物産ハ、甘蔗ヲ第一トス。

臺南ハ、本嶋ノ西南部ニアリ、西南ハ、海ニ面シ、東、南、北ノ三面ハ、沙磧ノ地多クシテ、沃土少ク、地勢、甚、廣濶ナリ。

安平ハ、臺南ノ西方、約一里程ノ海岸ニアリ、税關アリ、臺南ニ、通ズル要衝トス、ユノ地ハ、常ニ、波浪高ク、夏秋ノ間ニ至レバ、最、風烈シクシテ、船舶ノ定繫ニ危險ナリ。

鳳山ハ、臺南ヲ距ルコト、南ノ方、十四里ニアリ、米穀ヲ、産スル有名ナル地ナリ、良港アリ、東港ト云フ。

打狗ニハ、二三ノ洋行、及、電信局、海關、英佛ノ領事館等アリ、地ハ、臺南ノ南鳳山ノ西ナリ。

恒春ハ、本嶋ノ極南ニ位シ、北ハ、萃芒溪ヲ劃シテ、鳳山ニ接シ、東西、南ノ三面ハ、皆、海ニ瀕ス、山多ク、田野少シ、爲ニ、生計、富裕ナラザルモ、近傍ノ山ハ、僅ニ、茶葉、及、棉花、雜穀ヲ植ウベシ。

媽宮ハ、澎湖嶋ノ所在地ニシテ、媽宮港ニ臨ム、ユノ地ノ商業ハ、鹽魚、落花生、豕、鶏、及、鶏卵ノ類ヲ臺灣ニ輸送シ、米穀、甘藷、菓物、其ノ他ノ必要品ト交換ヲナスニアリ。

(二) 臺灣嶋居民ノ生業ハ如何

答 支那本部ヨリ、移住セシ人民ノ男子ハ、耕作ヲ業トシ、婦女子ハ、刺繡、裁縫ヲ事トセリ。臺南地方、海邊ニ接セル部分ノ婦人ニアリテハ、多ク、魚網ヲ編ミ、或、麻絲ヲ捻ルヲ以テ、重ナル職業トス。生蕃モ、農業ト、獵獸、捕魚トチ

以テ、生計ヲ營メリ。ではん種族ノ中ニハ、銀工、或、鐵工ヲナスモノアリ。紅頭
嶼ノ番族ハ、多ク、穴居シテ、農事ヲ知ラズ、唯、僅ニ、雜糧ヲ作り、魚ヲ捕へ
或、鶏、羊、豚ヲ養ヒテ、其ノ生計ヲ營ムノミ。平埔番ハ、一般、農事ニ勉勵セリ。

(五) 臺灣嶋ニ於ケル農産ニ就キテ概説セヨ

答 稻米ハ、毎年、四月ヨリ、十一月ニ至リ、二度ノ收穫ヲ、得ヘシ、陸稻ハ、灌
漑、不便ノ山地ニ生シ、通常ノ降雨ヲ以テ、發育ス。甘藷モ、亦、米ノ如ク、二回
ノ收穫アリ。小麥、黍、高稷、玉蜀黍、蕎麥等ハ、春夏ノ間、到ル處トシテ、田畑ニ
蕃殖セザルハナシ。芋屬ニ六種アリ、二種ハ、水中ニ生シ、四種ハ、陸上ニ生ズ
水中ニ生ズルモノハ、檳榔心芋ト、赤芋トナリ、乾燥ノ地ニ生ズルモノハ、狗蹄
芋、白芋、麩芋、赤竹芋ノ四種ナリ。其ノ他、野山藥、山草薺、竹筴、蓮根、落
花生、薑、葱、韭、甘藍、蒨葎草、地高、蕪菁、蒜、豌豆、蠶豆、からんだから
し等ハ、悉、本嶋ニ播生スル所ノ菜蔬ナリ。西瓜、冬瓜、胡瓜、茄子ノ類生殖シ
長大ニシテ、四季絶エズト云フ。菓實ニハ、楊梅、甘蔗、蕃石榴、波羅密、芒果
橙、桃、君遷子(まめがき)、鳳梨(あななす)、洋李、柚子、椪梓、及、露兜樹等、蕃

臺灣嶋ノ植
物ニツキテ
詳記セヨ

殖セリ。織料植物ニハ、苧麻、黃麻、鳳梨、甘蔗、棕櫚、燈心草、紙、桑、ある
バにあむていか、露兜樹、稻藁、麥稈、竹、籐、葛、呂宋麻、梧桐等アリ。製油
植物ニハ、大豆、蠶蠶、胡麻、落花生、烏臼、茶、樟樹、蓖麻等アリ。商業的植
物ニハ、烟草、通脫木、つるそば、おほけたで、姜黃、染料薯蕷、肉桂、龍眼、榔
子等アリ。

特殊ノ農産物

茶、製茶ニ二種アリ、烏龍茶ト、色種茶ト、コレナリ。茶樹ニハ、肥料ヲ施サズ
急斜地ニアラザレバ、水牛ニ、犁ヲ牽カシメテ、中耕ヲ行ヒ、除草スト云フ。茶
樹ノ種類ニハ三種アリ、一ナ軟枝青心、二ナ、軟枝紅心、三ナ硬枝烏龍ト云フ。
茶葉ヲ摘ムノ時期ハ、大陰曆ノ三月ヨリ、十月ニ至ルマデトス、コレ婦女子ノ仕
事ナリ。製造法ニ二種アリ、粗製ト、再製トコレナリ。重ナル産茶地ハ、基隆河
及、大姑陷河ノ左右兩岸ニ於ケル平地ノ一部、或、其ノ他ノ陸地、并ニ、山腹ニ
シテ、即、三角湧、擺接、大姑陷、橫溪、中壠等ナリ、最良地ヲ、群頭撫山トス。
樟腦、樟腦ハ、本嶋ニ於ケル、最、望アル事業ナリ、土人ノ言ニコレバ、鄭成功

茶ト樟腦ニ
ツキテ詳ニ
説明セヨ

ノ臺灣ニヨリシトキ、日本ヨリ、其ノ製法ヲ、傳ヘタルヲ、嚆矢トスト。重ナル産地ハ、東部、即、蕃地ノ森林トス、大科炭、苗栗、雲林、恒春、宜蘭等ノ各地ニ多シ。樟腦製造所ハ、一軒ニテ、鹽、五六十ヲ備フルヲ、普通トス。最盛ナルハ百、乃至、二百ノ鹽ヲ備フト云フ。

砂糖、主産地ハ、臺南ヲ、中心トシ、南ハ、恒春、北ハ、嘉義、彰化ニ至ル、一帯ノ地方ニシテ、中ニ就キテ、臺南、鳳山附近ヲ、最トス。甘蔗ニ二種アリ、一ヲ赤蔗ト云ヒ、一ヲ白蔗ト云フ、白蔗ヲ、普通ノモノトス。栽培法ハ、極メテ、簡單ニシテ、先、最初、七八寸ニ截リタル、甘蔗節ヲ、土中ニ挿入シ、少許ノ草ヲ燒キ、其ノ灰ヲ根際ニ散布スル外、更ニ、肥料ヲ施サズ、自然ノ潤雨ヲ仰グノミ。製造法ニヨリテ、安平糖ト、打狗糖トノ兩種トセリ。産額ハ、毎年、五千萬斤ヨリ、七千萬斤ニシテ、其ノ内、三千万斤ハ、神戸、横濱等ニ來ルモノナリ。藍 方言ニ、菁樹ト云フ、幹、及、枝葉ハ、一見、あかしや樹ニ似テ、花ハ、豆花狀ナリ。小菁ト、菁菁トハ、通常ノ畑ニ栽培シ、大菁ハ、山地ニ栽培ス、大陰曆、一二月ノ頃、園圃ヲ耕シ、畝ヲ作り、播種ノ前、多少ノ肥糞ヲ散施ス、第一

砂糖ト藍ト
ニツキテ畧
説セヨ

回ノ收穫ハ、大陰曆、六七月ノ交ニシテ、第二回ノ刈取ハ、九月、十月頃ナリ。其ノ製法ハ、菁汁ヲ、沈澱セシムルニアリ。

(二) 臺灣嶋ニ於ケル主ナル水産物ヲ問フ

答 鱒ノ漁獲、最、多キハ、北部、淡水地方トス。牡蠣ハ、安平、打狗等ノ地方ニ多ク、繁殖ス。北部ノ魚類ハ、松魚、鱒、鱈、鯖、比目魚、烏賊等トス、河魚ニハ、鮒、鯉、泥鰌、鰻鱺等アリ。安平ノ沿海ヨリ、打狗ノ近海ニ於テ、漁獲シタル鱒魚ノ卵子ヲ取り、薄鹽ヲ施シタルモノヲ、魚鱒(からすみ)ト云フ。石花菜ハ、重ニ、基隆近海ニ産セリ。打狗ヨリ、北方、布袋嘴マデノ間ニ、瀬南場、州南場、瀬北場、州北場ト云ヘル、鹽漬アリテ、食鹽ヲ、盛ニ製出ス。澎湖嶋近海ハ、魚族ニ、最、富メリ、其ノ種類ニハ、鯛、黑鯛、鮫、鰻、鱒、鰺、烏賊等ニシテ、其ノ他、枚擧ニ遑アラズ、又、製鹽ニ、最、適長ナル海濱アリ。

(三) 臺灣嶋ニ於ケル林産ノ主要ナルモノヲ問フ

答 全嶋ハ、深林、鬱々蒼々トシテ、願、良材、美果ニ富メリ、樟樹ハ、殊ニ、北部ニ多クシテ、杉ハ、中央部ニ森立ス、山岳ノ半腹ニハ、巨大ノ松ヲ生シ、又

臺灣嶋ノ水
産ト林産ト
ニツキテ詳
説セヨ

野生ノ無花果樹、榕樹、烏木等、森林ヲナセリ。其ノ他、檳榔樹、露兜樹、楓樹等アリ。

(一六) 臺灣嶋ニ於ケル鑛産ノ重ナルモノヲ問フ

答 石炭ヲ、第一トス、金、銀、銅、及、寶石類ヲ産シ、又、海邊ニテ、粗質ノ琥珀ヲ、稀ニ、見出スコトアリ。硫黄ハ、臺灣北部ニ多シ。砂金ノ採取地ハ、八堵ヨリ、三貂峯下ニ至ル、基隆河、一帶ノ地トス。

(一七) 臺灣ニ於ケル禽獸蟲類ヲ問フ

答 深山ニハ、熊、豹、狼、始メトシテ、猿、野猪、兔、栗鼠、臭猫等ノ諸獸、住メリ、山猫ハ、處ニヨリテ、棲息ス、鳥類ニハ、鷓鴣、鶉、鳩、山鶉、鷓、夏鷄、小鴨、鳧等アリ、家畜ノ類ニハ、水牛、騾馬、豕アリ、蟲族ニハ、蟒蛇、蜥蜴、全蠍アリ。

(一八) 臺灣嶋ニ於ケル製作品ヲ問フ

答 野生ノ鳳梨ノ葉、及、芋麻ノ纖維ヲ以テ、織レル粗雜ナル織物、并ニ、粗笨ナル彫木、又ハ、竹皮ヲ以テ、製シタル團扇等ナリ。

淡水ヨリ基隆ニ至ル道路ノ重ナル地名ヲ問フ

(一九) 臺灣嶋ニ於ケル道路ヲ問フ

答 淡水港ヨリ、基隆ヲ經テ、臺北ニ至ル沿道。

滬尾、圭寮山村、灰磠仔庄、南勢崗、小鷄籠、正門村、小机口、仔里啞、萬里加都、金包里、新只頌村、馬鎖嶺、馬鎖港、大母嶺、基隆、江仔裡、七肚、六肚、五肚、水返脚、南江仔、錫口街、臺北。

基隆ヨリ、宜蘭ヲ經テ、蘇澳ニ至ル道路。

鷓龍、金腰蔴、雙頭嶺、嶺下、上双溪、金行、下双溪、遠望坑、草嶺、大里蘭、番茄樓、大溪、要岩、頭圍、二圍、三圍、四圍、宜蘭、加禮遠、蘇澳。

臺北ヨリ、臺南ヲ經テ、打狗ニ至ル道路。

臺北、海山口、龜崙、嶺塘、桃子園、下桃子、坑仔甫、中歷、頭亭溪、楊梅壠、崩坡、大湖口、新車、古車、蘭紅、新竹、香山、中港、烏仔港、到舟頭、後隴、白沙墩、新甫、通霄、苑里、房里、大甲司、牛馬頭、沙鹿、大肚街、彰化、三槐居、寶斗仔、六斗門、刺桐巷、他里務、大埔林、三疊溪、嘉義、水堀頭、下茄荖仔、大茄荖仔、急水、鳳港尾、瑞仔來、看西、船仔頭、臺南、二層行、大

臺灣嶋道路ノ重ナル地名ヲ問フ

湖街、半路竹、阿公店、橋仔頭、南坑仔、加禮頭、鳳山、連嘉頭、打狗。
ユノ三道路ハ、重ナルモノナレドモ、道路ノ悪シキコトハ、暫フルニモノナシ、
一時、軍用道路ノ必要ニ迫ラレ、第二師團ハ、混成工兵中隊ヲシテ、其ノ開鑿ニ
從事セシメ、一ハ、臺南ノ大東門ヨリ、鳳山ニ達シ、一ハ、臺北ニ至ルモノ完成
シテ、平坦ナル、新道路貫通シテ、大ニ、利便ヲ得リ。

(一五) 臺灣嶋ニ於ケル鐵路如何

答 北ノ方、基隆港ヨリ起リテ、臺北ヲ經テ、新竹ニ達ス、ユノ線路ノ中、基隆
ト、臺北トノ間、二十哩ノ一部ハ、山間、豁谷ヲ迂回シ、水返脚ヨリ、臺北マデ、
十三哩ノ間ハ、平野ヲ直進ス、臺北ヨリ、新竹ニ至ル線路ハ、一ノ鐵橋アリ、ユ
ノ三十哩間ハ、平地ノ上ニ砂礫ヲ推積シ、僅ニ、枕木ヲ駢列セシニ過ギズ、軌道
ハ、單線ニシテ、三十六ばん登ノ鋼鐵ヲ用キ、三尺六寸ノ狹軌ナリ、今ヤ、總督
府ニ於テ、假修シ、目下、日々數回ノ運轉ヲナシツ、アリ。ユノ間ノ停車場ハ、
嵌仔口、八堵、水返脚、南港、錫口、臺北、大稻埕橋、新庄、鼻角等ナリ。打狗
ヲ起點トシテ、臺南ニ至リ、臺南ヨリ、安平ニ達スル、輕便鐵道アリ、全線ノ長

臺灣嶋ノ鐵
路ノ航路ト
テ詳記セヨ

サ、三十哩ナリ。

(一六) 臺灣嶋ニ於ケル航路ヲ問フ

答
基隆港 長崎 六百三十七哩
福州 二百三十五哩
上海 一百五十哩
淡水港 福州 一百三十七哩
廈門 二百三十三哩
安平港 長崎 八百七十哩
香港 三百哩
廈門 一百八十哩
上海 六百五十哩
本州嶋、及、九州嶋ト本嶋トノ間ニ、自由航通ノ便開ケテ、益、其ノ利ヲ、增加
スルニ至ラン。

明治廿九年十月三日印刷
明治廿九年十月九日發行

〔日本地理新問答〕
(定價金拾五錢)



編者 岡村增太郎

發行者 大坂市東區備後町四丁目七拾八番邸
吉岡平助

印刷者 大坂市西區土佐堀三丁目三拾八番邸
今村謙吉

大坂市東區心齋橋通備後町角

吉岡本店

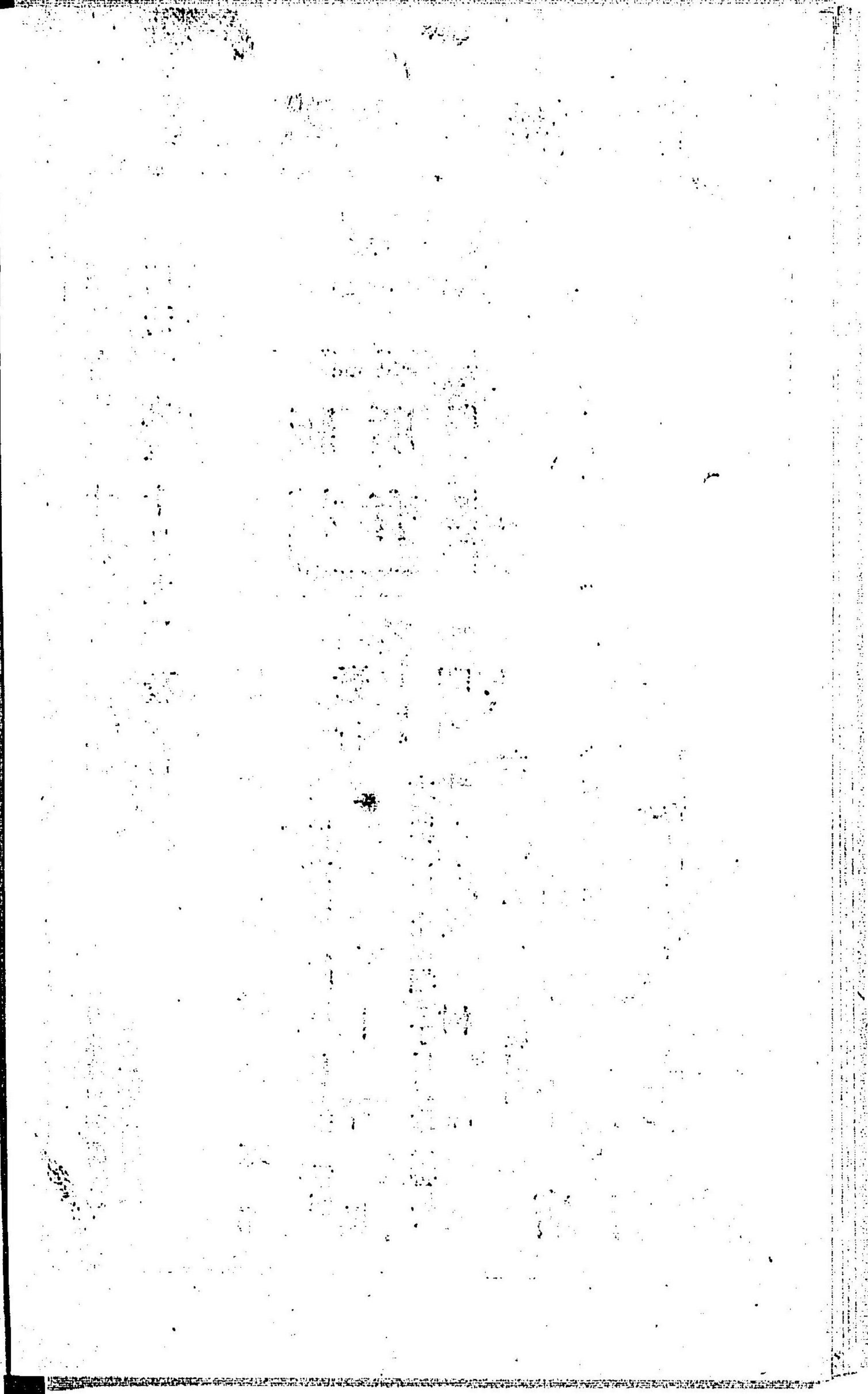
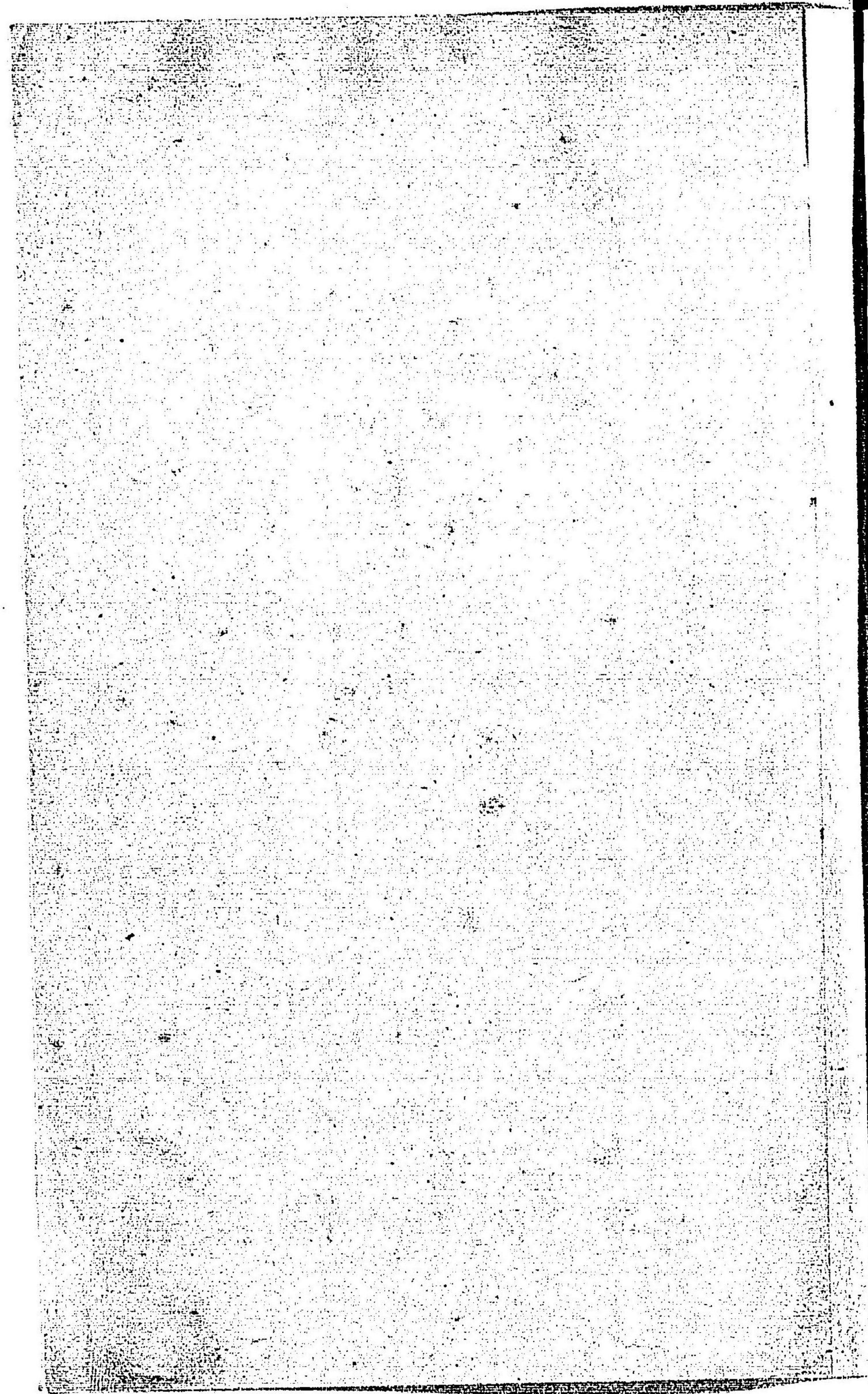
神戶市元町通五丁目二拾三番屋敷

吉岡支店

東京市神田區通新石町二番地

同文館

發賣所



●課外講習之良教師廉價無比
●諸學校受驗ノ好同伴

岡村増太郎編纂



普通教育學科全書

發行時

洋裝美本各一學科完成正價拾五錢郵稅四錢

既

刊

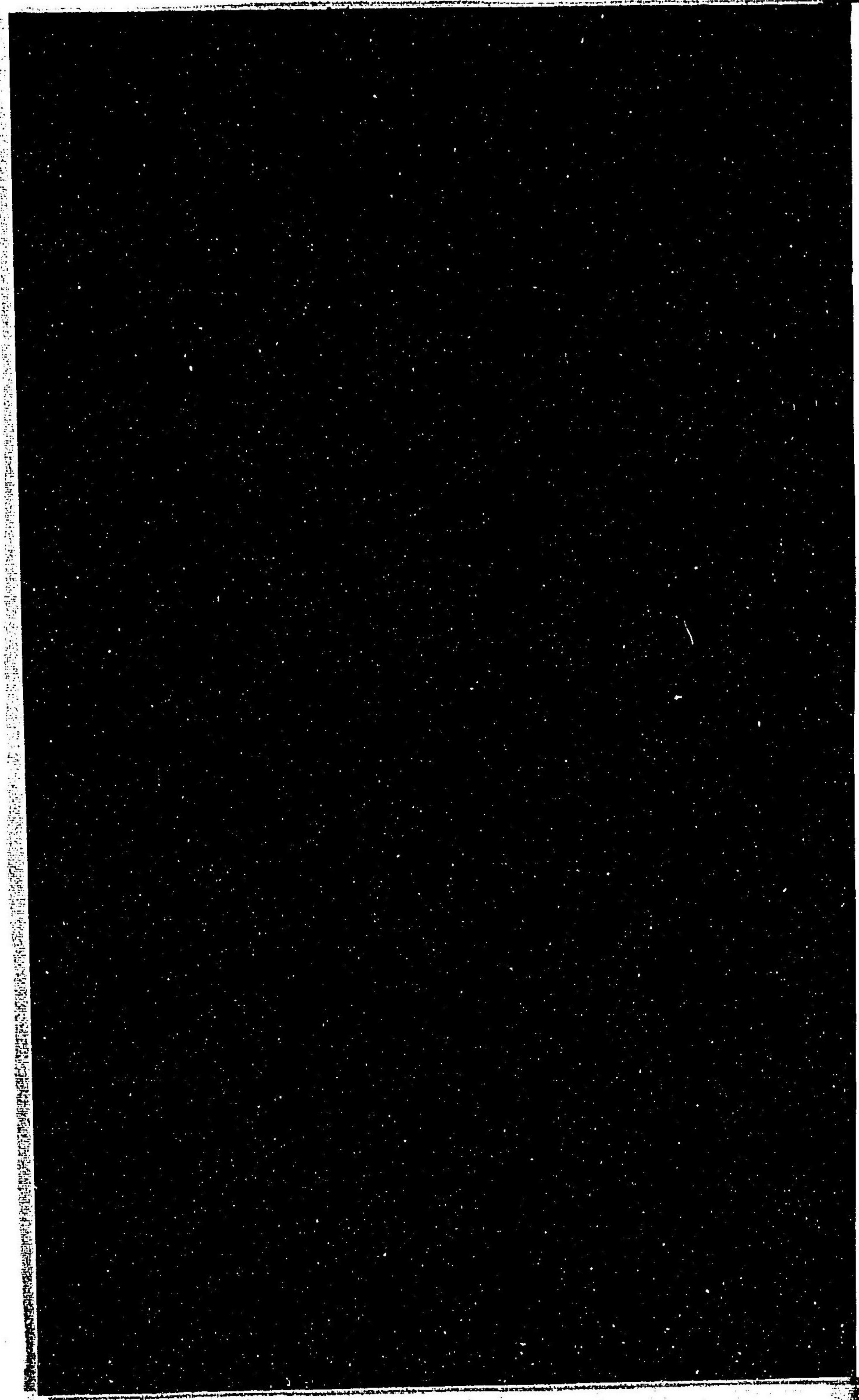
近

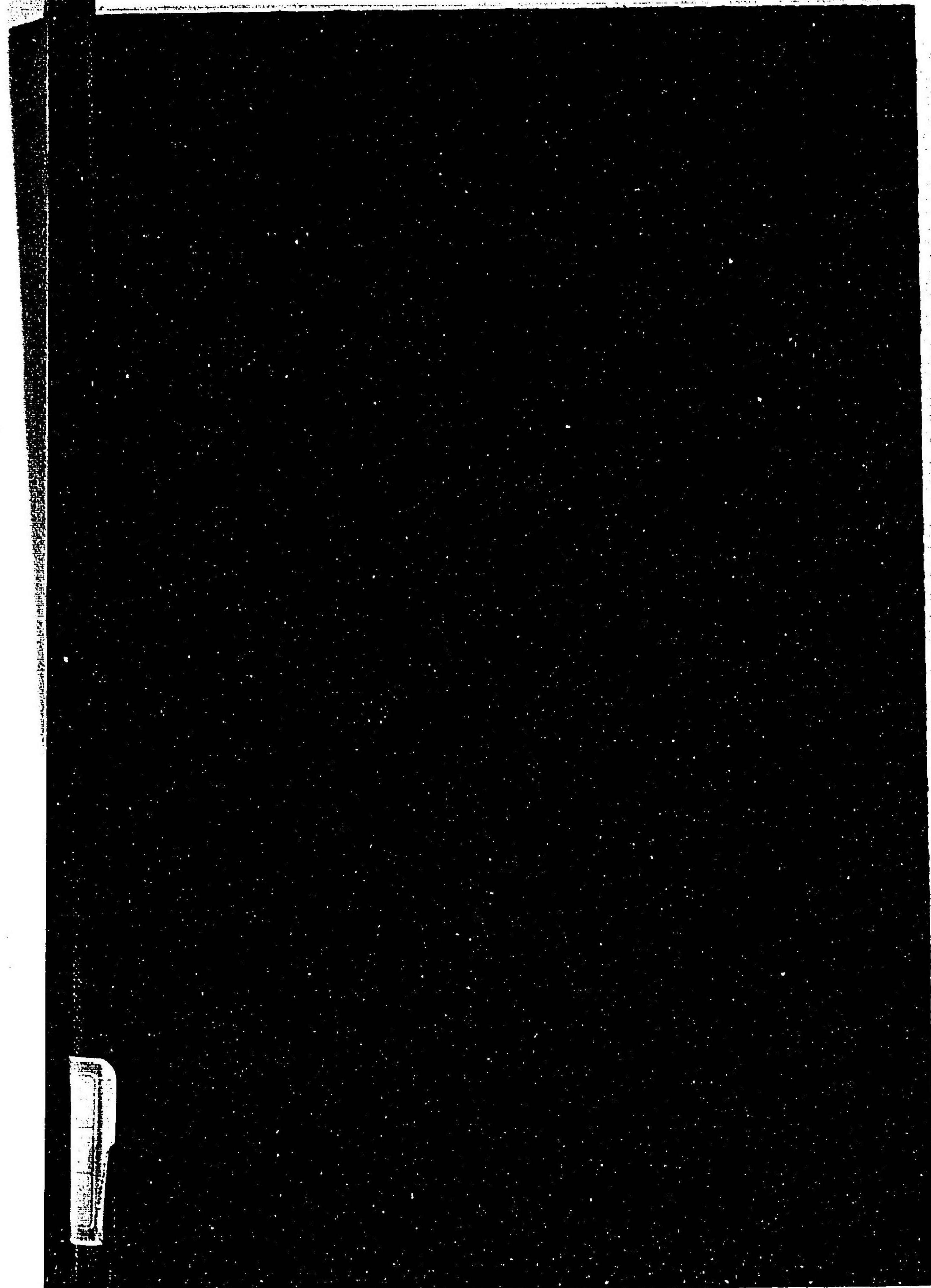
刊

第一 日本地理新問答

第二 萬國地理新問答

礦	植	動	代	算	西	東	日
物	物	物	數	術	洋	洋	本
學	學	學	新	新	史	史	史
新	新	新	問	問	新	新	新
問	問	問	答	答	問	問	問
答	答	答	答	答	答	答	答





Small white tab or label at the bottom left corner of the black area.

特 20

177

日本地理新問答

国立国会図書館

022995-000-1

特20-177

日本地理新問答

岡村 増太郎/編

M29

ADB-0954

